浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)

長　浜　市

建築事務所 BCY'S

株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

図面リスト

番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
意匠	図面リスト		71	改修前 建具リスト（１）	1/50			
1	特記仕様書１	—	72	〃 建具リスト（２）	1/50			
2	特記仕様書２	—	73	〃 建具リスト（３）	1/50			
3	特記仕様書３	—	74	〃 建具リスト（４）	1/50			
4	特記仕様書４	—	75	改修後 １階建具配置図	1/200			
5	工事区分表	—	76	〃 ２階建具配置図	1/200			
6	付近見取図	1/1250	77	〃 建具リスト（１）	1/50			
7	現況配置図	1/300	78	〃 建具リスト（２）	1/50			
8	配置図	1/300	79	〃 建具リスト（３）	1/50			
9	敷地求積図 面積表	1/500	80	〃 建具リスト（４）	1/50			
10	工事ローテーション図	1/1500	81	鋼製建具 建具詳細図（１）	1/3・15			
11	仮設計画図－１	1/300	82	鋼製建具 建具詳細図（２）	1/3・15			
12	仮設計画図－２	1/300	83	鋼製建具 建具詳細図（３）	1/3			
13	仮設計画図－３	1/300	84	鋼製建具 建具詳細図（４）	1/5			
14	本館棟 改修前後 仕上表－１	—	85	部分詳細図－１	1/3・10・20・30			
15	〃 仕上表－２	—	86	部分詳細図－２	1/50			
16	改修前 １階平面図	1/200	87	１・２階サインキープラン	1/200			
17	〃 ２階平面図	1/200	88	サイン詳細図	1/2・3・5・10			
18	〃 屋根伏図	1/200	89	１・２階黒板等キープラン	1/200			
19	改修後 １階平面図	1/200	90	黒板等詳細図－１	1/4･50			
20	〃 ２階平面図	1/200	91	黒板等詳細図－２	1/4･50			
21	〃 屋根伏図	1/200	92	黒板等詳細図－３	1/5・10			
22	改修前 立面図－１	1/150	93	１・２階家具キープラン	1/200			
23	〃 立面図－２	1/150	94	家具詳細図－１	1/2・3・5			
24	改修後 立面図－１、外部仕上表	1/150	95	家具詳細図－２	1/20			
25	〃 立面図－２、外部仕上表	1/150	96	家具詳細図－３	1/20・30			
26	改修前 矩計図－１	1/30	97	家具詳細図－４	1/20			
27	〃 矩計図－２	1/30	98	家具詳細図－５	1/20			
28	〃 矩計図－３	1/30	99	家具詳細図－６	1/20			
29	〃 階段詳細図	1/50	100	家具詳細図－７	1/20			
30	改修後 矩計図－１	1/30	101	家具詳細図－８	1/20			
31	〃 矩計図－２	1/30	102	家具詳細図－９	1/20			
32	〃 矩計図－３	1/30	103	家具詳細図－10	1/20			
33	〃 階段詳細図	1/50	104	外構改修図－１	1/300			
34	改修前 １階平面詳細図－１	1/50	105	外構詳細図－２	1/25・50			
35	〃 １階平面詳細図－２	1/50	106	特別教室棟 仕上表、１・２階平面図、屋根伏図、天井伏図	1/200			
36	〃 １階平面詳細図－３	1/50	107	（外部改修） 改修前 立面図	1/150			
37	〃 ２階平面詳細図－１	1/50	108	改修後 立面図、外部仕上表	1/150			
38	〃 ２階平面詳細図－２	1/50	109	矩計図－１	1/30			
39	〃 ２階平面詳細図－３	1/50	110	矩計図－２、パラペット詳細図	1/20・30			
40	改修後 １階平面詳細図－１	1/50	111	階段詳細図	1/50			
41	〃 １階平面詳細図－２	1/50	112	屋外階段詳細図	1/50			
42	〃 １階平面詳細図－３	1/50	113	渡廊下 平面詳細図、断面詳細図	1/50			
43	〃 ２階平面詳細図－１	1/50	114	便所(3) 平面詳細図、断面詳細図	1/30・50			
44	〃 ２階平面詳細図－２	1/50	115	１・２階建具配置図、建具リスト（１）	1/200			
45	〃 ２階平面詳細図－３	1/50	116	建具リスト（２）	1/200			
46	改修前 展開図－１	1/50	117	本館棟 改修前 移設備品配置図	1/200			
47	〃 展開図－２	1/50	118	改修後 移設備品配置図	1/200			
48	〃 展開図－３	1/50	119	仮設校舎 改修後 移設備品配置図	1/200			
49	〃 展開図－４	1/50	120	改修前後 １階移設備品リスト	—			
50	〃 展開図－５	1/50	121	〃 ２階移設備品リスト	—			
51	〃 展開図－６	1/50	122	参考図 仮設校舎 １階平面図 ２階平面図	—			
52	〃 展開図－７	1/50	123	本館棟 スラブ劣化調査図	1/200			
53	〃 展開図－８	1/50						
54	〃 展開図－９	1/50						
55	改修後 展開図－１	1/50						
56	〃 展開図－２	1/50						
57	〃 展開図－３	1/50						
58	〃 展開図－４	1/50						
59	〃 展開図－５	1/50						
60	〃 展開図－６	1/50						
61	〃 展開図－７	1/50						
62	〃 展開図－８	1/50						
63	〃 展開図－９	1/50						
64	改修前 １階天井伏図	1/200						
65	〃 ２階天井伏図	1/200						
66	改修後 １階天井伏図	1/200						
67	〃 ２階天井伏図	1/200						
68	建具特記仕様書	—						
69	改修前 １階建具配置図	1/200						
70	〃 ２階建具配置図	1/200						

建築工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

工事名称	浅井小学校本館等長寿命化改修工事
工事場所	長浜市当目町５４番他21筆　　　敷地面積　14,929.93㎡
用途規制	第１種低層　第２種低層　第１種中高層　第２種中高層　第１種住居　第２種住居 準住居　近隣商業　商業　準工業　工業　工業専用　［指定なし］
防火規制	防火地域　準防火地域　法22条指定区域　［指定なし］
その他の規制	風致地区　自然公園　宅造規制区域　市街化区域　市街化調整区域　［都市計画区域内(区域区分非設定)］
工事期間・限	日間　　令和　　年　　月　　日　限
工事種目	改修工事

NO	名称	工種	構造	床面積（㎡） 1階	2階				延べ面積	備考
1.	長寿命化改修工事	改修	RC造・S造	1,042.24	899.70				1,941.94㎡	
2.	外部改修工事	改修	S造	468.16	371.80				839.96㎡	
3.	外構工事	改修							一式	

概要説明　本工事は、長寿命化改修工事（既存建物改修及び外構改修）及び外部改修工事を行うものである。

別途工事　仮設校舎リース工事、電気設備工事、機械設備工事

Ⅱ 建築工事仕様

1　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 最新版」（以下「標仕」という）および「公共建築改修工事標準仕様書 最新版」（以下「改修標仕」という）による。
（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「建築工事監理指針」および「建築改修工事監理指針 最新版」を参考とする。）
また、解体・撤去に関しては、「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」（以下「共仕」という）「建築工事安全施工技術指針」、「建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）」、「建設副産物適正処理推進要綱」による。

2　特記仕様　1　項目は番号に ○ 印のついたものを適用する。
2　特記事項は ⊙ 印のついたものを適用する。
⊙ 印のない場合は ※ 印のあるものを適用する。
⊙ 印と ※ 印のある場合はともに適用する。

3　特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該表、当該図を示す。

章	項目	特記事項

① 一般共通事項

① 施工基準
本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、質問回答書、現場説明書、本特記仕様書を含む図面、標仕及び改修標仕により完全に施工する。
上記相互間に相違のある場合の優先順位は、記載の順序とする。 [1.1.1]

② 工事実績情報の登録（CORINS）
請負金額が500万円以上の場合は、契約(変更)、完成時のそれぞれ10日以内に登録すること。 [1.1.4]

③ 提出図書
※施工計画書　提出部数　※1部 [1.2.2]
・施工図　提出部数　※1部 [1.2.3]
・完成図　提出部数　※２部（Ａ３版縮小製本及び電子媒体） [1.9.2]
・保全に関する資料　提出部数　※２部　・　部 [1.9.3]

④ 施工体制
受注者等は、公共工事入札契約適正化法に基づき施工体制台帳の写しを提出すること。
また、市担当者から施工体制の点検を求められたら対応し、指摘がある場合は是正すること。 [1.3.1]

⑤ 技術管理
受注者等は、建設業法に定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し技術管理にあたらせること。 [1.3.2]

6 施工条件
次に指定する工程・作業は指定の日時に行うこと。 [1.3.5]

工程・作業	指定日時

⑦ 地元説明会
受注者等は、施工に先立ち地元自治会、近隣住人等に工事施工内容の説明を行うこと。 [1.3.7]

8 近隣家屋の調査
受注者等は、工事の着手前および完了後に、図示部分の近隣家屋調査を実施し、工事に起因する損傷等の有無を確認すること。万一、損傷等が生じた場合は請負人の責任において現状に復旧すること。また、受注者が自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋工作物等についても調査を行うこと。 [1.3.7]

⑨ 総括安全衛生管理義務者
労働安全衛生法第３０条第２項の総括安全衛生管理義務者には、（※建築工事　・電気設備工事・　機械設備工事）の受注者等を指名する。 [1.3.7]

⑩ 安全対策
各種関係法令に基づき、常に工事の安全に留意し、施工に伴う災害及び事故の防止に努め、施工の各段階において、騒音、振動、粉じん、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺の環境保全を図り工事全般の対策を講ずること。
また、施設運営にも担当者と協議を行い支障のないよう努めること。 [1.3.7～10]

⑪ 公害対策
工事着手前に付近の状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壌汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事竣工まで万全の対策を講ずること。 [1.3.11]

⑫ 産業廃棄物の処理
受注者等は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承諾を受けること。
(1) 本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）を厳守し、分別解体及び再資源化等実施すること。
(2)「資源の有効な利用の促進に関する法律」（リサイクル法）及び建設副産物適正処理推進要綱を厳守し、建設副産物の発生抑制および再利用の促進に努めること。また再生資源利用〔促進〕計画書および同実施書を作成し速やかに報告のこと。
(3) 請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を厳守し、同法第１２条の３によるマニフェストシステムにより的確に実施すること。 [1.3.12]

13 発生材の処理等
※構外搬出適切処理　・指定（　　　） [1.3.12]

⑭ 石綿含有建材の事前調査制度
※大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する法令等に基づき実施すること。また、調査結果を石綿事前調査結果報告システム等を使用し報告を行うこと。
1. 調査範囲、既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与等は、下記による。
調査範囲　⊙当該施工範囲　・図示
貸与書類　⊙建設当初図面　⊙石綿調査報告書
分析方法　⊙JIS に規定されている定性分析方法にて行うこと。
・JIS に規定されている定性分析を行った上定量分析を行うこと。
採取検体　・　1ヶ所　⊙ 10 ヶ所 [1.5.1]

⑮ 技能士 [1.7.2]

適用工事種別	作業種別
仮設工事	・とび
防水工事	・アスファルト防水　・改質アスファルトシートトーチ工法
	・アクリルゴム系塗膜防水・ウレタンゴム系塗膜防水
	⊙塩化ビニル系シート防水・合成ゴム系シート防水
	・セメント系防水　・FRP防水　・シーリング防水
タイル工事	・タイル張り
木工事	・大工
屋根及びとい工事	・内外装板金　・スレート工事
金属工事	・鋼製下地　・内外装板金
左官工事	・左官
塗装工事	・建築塗装
内装工事	・プラスチック系床仕上げ　・カーペット系床仕上げ　・ボード仕上げ　・壁装

⑯ 一工程報告
一工程施工報告書の提出　・不要
⊙解体　⊙防水改修　⊙外壁改修　・耐震改修
・各工程毎 [1.7.4]

⑰ 化学物質の濃度
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度をパッシブ法にて測定し、報告すること。
また、基準値を満たさない場合は、対策を講じたのち再測定を行うこと。
測定箇所　・　箇所　⊙図示（改修全居室） [1.7.9]

⑱ 取扱説明書の作成
竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。
（部数、詳細については、監督職員の指示による。） [1.9.3]

⑲ 現場代理人等管理義務者
イ「長浜市現場代理人の常駐に関する運用基準」に従い、現場代理人を決定し届け出ること。
ロ　現場代理人は、受注者等との直接的な雇用関係を証するもの（健康保険証の写し等）を「現場代理人等届」に添付すること。また、「現場代理人等変更届」も同様とする。
ハ　主任（監理）技術者も同様の確認を受けなければならない。
ニ　現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。

⑳ 工事写真

区分	撮影箇所	提出部数	備考
着工前、完成	・3　※6　・15　・30	2	同じ位置で撮影すること。
工事中		2	必要に応じ撮影する
定期提出	代表的な出来高の部分	2	工事月報用

工事写真の撮影要領は、「工事写真撮影ガイドブック・建築工事編」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。

㉑ 竣工写真
竣工写真はキャビネ版カラープリントによる写真を製本し、また、画像データを電子媒体で各１部提出すること。 (1.7.3)

㉒ 下請業者等の選定
各種下請業者、製造所等市内で供給出来るものについては、極力市内業者を選定すること。

㉓ 保険等
受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事組立保険等を工事目的物に付すとともに、第三者等への損害についても補償する保険に加入すること。
また、本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

㉔ 設計図の製本
工事着手前に製本を作成し、監督職員に提出のこと。 ⊙ A3サイズ　４部
⊙ A1サイズ　１部

㉕ 軽微な変更
設計図書に明記なくとも機能上、構造上当然必要と認められる軽微な変更および追加工事においては、請負金額の増減対象としない。

㉖ 不当介入に関する通報制度
1.受注者等は暴力団員等による不当介入(不当な要求又は業務の妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。
2.受注者等は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書により、監督職員に報告するものとする。また、受注者等は、以下のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、十分に指導を行うものとする。
3.受注者等は暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

㉗ 特殊な材料の工法
標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

㉘ 各種検査合格書等
各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書又は保証書およびその写し各１部を提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者・施工下請業者・材料製造所の連名書とする。

㉙ 設備工事との取合
各設備工事によるコンクリート部分の梁、壁、床の貫通補強及び仕上げ部分、軽量鉄骨天井下地、同壁下地の開口補強は建築工事とする。

㉚ ｼﾝﾅｰ等の保管
シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止するとともに、保管数量についても、作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。

㉛ 火気の管理
喫煙等については一定の場所を指定し、火元責任者を配すること。

㉜ 過積載防止の措置
受注者等は過積載等の違法運行防止を図るため、道路交通法を遵守する旨を記載した施工計画書を提出すること。

㉝ 騒音振動の防止
受注者等は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程（平成13年国土交通省告示第487号）」に基づき指定された建設機械（'97ラベル）を使用すること。

㉞ 設計ＧＬ
※ 図示　・監督職員が現場にて決定する。

㉟ 不法無線局の排除
受注者等は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとし、工事現場において、不法無線局を搭載していると疑わしい車両を発見したときは、速やかに監督職員にその旨報告すること。

㊱ ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ
バリアフリー化にあたっては、「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」を遵守すること。

㊲ 別途工事との連絡協議
受注者等は、別途施工する電気・機械設備工事の業者間で互いに連絡を取り、定期的に協議を行い、工事施工上の調整を図ること。また、工事区分の取り合いについて図示がある場合においても、施工時に必要に応じて協議を行い連絡を密にすること。

㊳ 申請等
本工事における官公庁の各検査および完了にかかる消防法等、すべての法的検査は受注者等にて行うものとする。また、その費用（手数料共）は一切受注負担とする。

㊴ 長浜市週休2日取組指定工事の実施
本工事は、発注者が工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完了日（工事請負契約の履行した通知である工事完了届書を提出した日）までのうち、非対象期間を除いた期間において全ての月で４週８休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態に取り組むことを指定する週休2日取組指定型工事である。
費用の計上等の運用にあたっては、「長浜市週休2日取組指定型工事実施要領(建築系工事版)」により行う。
※ 適用する（月単位の週休2日）・ 適用しない

㊵ 建築材料等
建築材料等は、極力県内産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。
ただし、同等品以上とする場合は監督職員の承諾を受けること。
工事で使用する各種塗料類、接着剤類、その他の材料のホルムアルデヒド放散量はＦ☆☆☆☆とする。
あわせて、その他室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策として、その原因となる物質の含有量が低濃度である材料を極力選定する。（標仕を参考とすること。） (1.4.1)
工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとすること。 (1.4.1)

㊶ 材料の検査に伴う試験
試験は、原則として公的試験場で行うものとし、その場所の決定にあたっては監督職員の承諾を受けること。

㊷ 長浜市各課協議
落札業者は工事に先立ち、長浜市の各課に対し協議を行い、適切に対応すること。
1). 環境政策課　・使用する重機等（騒音及び振動等）について協議すること。

㊸ 仮設間仕切
・平面図による

㊹ 工事期間等
東側階段室の改修工事については、長期休み期間中に行うこと。

② 仮設工事

① 監督員事務所
監督員事務所の規模　（ ・ １０㎡ ⊙ ２０㎡ ・ ３５㎡ ・ ６５㎡ ・ １００㎡）程度
備　品　机、いす、書棚、黒板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、安全帯、衣類ロッカー
請負人加入電話の子機、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。 (2.3.1)

② 仮囲い
図示による他鉄板塀、金網塀、板塀等の仮設計画を立案し、監督職員と協議すること。

③ 工事用水
構内既存の施設　⊙利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ）・ 利用できない (2.3.1)

④ 工事用電力
構内既存の施設　・利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ）⊙利用できない

⑤ シート養生
必要に応じて室内外の壁、天井、床等シートで養生する。
溶接作業を行う場所については、防災シートを使用し、防火対策を講ずる。
外部足場の養生ネット　・ メッシュシート　⊙ 防音シート（建物四周）

⑥ 足場
足場を設ける場合には、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置すること。

⑦ 侵入防止
工事エリア内に生徒が容易に入れないように対策を講じること。
足場の入り口から生徒が容易に上がれないように対策を講じること。 (2.2.4)

③ 土工事

① 埋戻しおよび盛土
種　別　・Ａ種　※ Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　不足分は良質土搬入する。

② 建設発生土の処理
・構内指示場所敷きならし　・構外指示場所敷きならし　※ 構外搬出適切処理 (3.2.3)

3 山留め
・自立鋼矢板　・切梁腹起鋼矢板　・松矢板 (3.2.5)
(3.3.1)

④ 地業工事

1 試験掘削
杭の本数　※ 最初の１本　・図示　カ所
支持力の算定方法　※ 平成13年７月２日国土交通省告示1113号による。 (4.2.2)

2 試験杭
杭の本数　※ 最初の１本　・図示　カ所　・寸法　m (4.2.2)

3 載荷試験
・杭載荷試験　カ所　長期設計支持力　ｋＮ／本 (4.2.3)
・地盤載荷試験　カ所　長期設計支持力　ｋＮ／㎡ (4.2.4)

4 既製コンクリート杭

杭の種類	規格・材質
※遠心力高強度プレストレストコンクリート杭	※ＪＩＳ　A5373　（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種） ・建築基準法の認定品
・	

長期設計支持力　ｋＮ／本 (4.3.2)
施工法　※ ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法 (4.3.3～5)
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ　※ 1.5 m　・　m
支持地盤への根入深さ　※構造図による
・ 打込み工法
施工法の種類：
打込杭の推定支持力の算定方法　※構造特記による
・ 特定埋込杭工法
施工法の種類：　※構造特記による
杭先端の形状　・開放型　・半開放型　※ 閉そく型（・ペンシル型　※ 平坦型）
杭頭の処理　※ ダイアモンドカッター　・油圧カッター　・手ばつり
杭の精度　水平方向の位置ずれ　※杭径の1/4かつ100mm以内　・　mm以内
ずれが上記を超えた場合は、監督員の指示により補強を行うこと。 (4.3.7)
杭の継手　※アーク溶接継手　・無溶接継手（工法：　　）
杭周固定液　・使用する　・使用しない (4.3.6)

5 鋼杭
工法　・ 打込み工法
施工法の種類：
打込杭の推定支持力の算定方法　※構造特記による (4.4.3,4)
・ 特定埋込杭工法
※構造特記による
鋼杭の種類　・鋼管杭（記号：　）・Ｈ形鋼杭（記号：　）
杭先端の形状　※ 開放型　・
杭の継手　※JIS A 5525 による　・ (4.4.2)
杭頭の処理　・ (4.4.5)

6 場所打ちｺﾝｸﾘｰﾄ杭
※ 構造特記による (4.5.3)
鉄筋　帯筋組立の形及び割付け　※標仕（各部配筋参考図2.2④丸形(ロ)）による　・図示
最小かぶり厚さ　※100mm　・　mm
コンクリート種別　・Ａ種　・Ｂ種
コンクリートの設計基準強度　Ｎ／mm2
掘削工法　・ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ工法　・ﾘﾊﾞｰｽ工法　・ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法　・ (4.5.4)
構造体ｺﾝｸﾘｰﾄ強度と供試体の強度の差を考慮した割増し　・行う（　N/mm2）　※行わない
杭の精度　水平方向の位置ずれ　※100mm以内　・　mm以内

7 杭頭補強
補強の方法　・Ａ 形　・Ｂ 形　※ 図 示 (別図1.1)

⑧ 砕石
※ ＲＣ－４０　・ (4.6.2)

⑨ 床下防湿層
ポリエチレン系シート敷　厚さ 0.15mm以上　重ね・のみ込み寸法 250mm以上 (4.6.2),(4.6.5)

⑩ 土間下断熱材
特記仕様書（２）内装工事の「断熱材」による

11 基礎支持地盤の確認
根切完了後、監督職員の承諾を得て施工する。また支持地盤で設計支持力が得られないと見込まれる場合は、監督職員と打合せのうえ、適切な処置を取ること。 (3.2.1)

12 地盤改良
※六価クロム溶出試験を行う。

5 鉄筋工事

① 鉄筋の種類
※ 異形鉄筋（ＪＩＳ Ｇ３１１２） (5.2.1)
⊗ＳＤ ２９５Ａ　⊙D10　⊙D13　・D16　・D19
・ＳＤ ３４５　・D19　・D22　・D25　・D29
・　・D10　・D13　・D16
・ 建築基準法第３７条の規定に基づき認定を受けた鉄筋

② 溶接金網
編目形状寸法（ ※ 150*150 ⊙ 100*100）　径（ ※ ６ ・ ８） (5.2.2)

③ 加工および組立
・構造特記仕様書に依る。

(5.3.1～4,7)
直接基礎の配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図1.1）による
基礎接合部の補強配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図1.2）による
基礎梁主筋の継手、定着及び余長
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図1.3）による
基礎梁のあばら筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図1.4）による
柱主筋の継手、定着及び余長
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図2.1）による
帯筋組立の形及び割付け
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図2.2）による
柱の打増し補強
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図2.3）による
大梁主筋の継手、定着及び余長
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図3.1）による
あばら筋組立の形及び割付け等
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図3.2）による
梁の打増し補強
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図3.3）による
小梁主筋の継手、定着及び余長
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図3.4）による
片持梁主筋の継手、定着及び余長
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図3.5）による
壁の基準配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図4.1）による
壁の継手及び定着
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図4.2）による
壁の交差部及び端部の配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図4.3）による
壁の開口部補強
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図4.4）による
壁の打増し補強
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図4.5）による
スラブの基準配筋
⊙別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.1）による
スラブ筋の定着及び受け筋
⊙別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.2）による
片持スラブの基準配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.3）による
片持スラブ先端に壁が付く場合の配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.4）による
スラブ開口部補強
⊙別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.5）による
出隅及び入隅部の補強配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.6）による
スラブの打継ぎ補強配筋等
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.7）による
段差のあるスラブの補強配筋
⊙別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.8）による
片持スラブ形階段の基準配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図6.1）による
二辺固定スラブ形階段の基準配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図6.2）による
梁貫通孔の配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図7.1）による
梁貫通孔の補強形式
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図7.2）による
コンクリートブロック帳壁との取合い
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図7.3）による
90°未満の折曲げの内径直径
使用箇所　：あばら筋、帯筋、スパイラル筋
D16以下　※　3d以上　・
D19～25　※　4d以上　・
使用箇所　：上記以外の鉄筋
D16以下　※　4d以上（SD390の場合は5d以上）　・
D19～25　※　6d以上　・
D29～38　※　8d以上　・

④ 鉄筋の継手
⊙重ね継手　・機械式継手　・溶接継手 (5.3.4)
・ガス圧接継手　SD345（径 19 mm 以上）Ｄ19～Ｄ25、 SD390　Ｄ29～Ｄ32
主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手長さ
・図示　※ 40d（軽量コンクリートの場合は50d）と標仕表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値
柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ
・図示　※ 40d（軽量コンクリートの場合は50d）と標仕表5.3.4の重ね継手の長さのうち大きい値

5 圧接完了後の検査
・超音波探傷試験による検査　・引張試験による検査 (5.4.9)

6 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ補強
※ 入れる　・入れない （各部配筋参考図5.7別図 5.11）

訂正	月 日		月 日		月 日	
	・		・		・	
	・		・		・	
	・		・		・	

建築事務所 BCY'S　株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所　一級建築士登録第 204199 号　山本 勝義

FILE No. - - -
工事名　浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE . .
建築工事特記仕様書(1)
SCALE 1:---(A1) 1:---(A3)　A
No. 1/123

⑥ コンクリート工事

・構造特記仕様書に依る。

① コンクリートの強度
普通コンクリート (6.1.4)

+設計基準強度Ｆｃ（Ｎ／mm²）	構造体強度補正値Ｓ	施　工　箇　所
・１８　※２１　・２４	標仕による	スラブ、土間コンクリート
・２７	標仕による	
※１８	標仕による	捨コンクリート、外構

調合管理強度＝Ｆｃ＋Ｓ　※特記無きは鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図による
Ｆｃ　設計基準強度
Ｓ　構造体強度補正値 (表6.4.1)

② ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの類別　※Ⅰ類　・Ⅱ類 (6.1.5)
③ 気乾単位容積質量　普通コンクリート　※ 2.3 t/m³　・ (6.2.3)
④ 荷卸し地点におけるスランプ　※標仕による　・ (6.2.4)
⑤ セメントの種類　※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種 (6.3.2)
・早強ポルトランドセメント
⑥ 骨材　アルカリシリカ反応性による区分　※ Ａ　・ Ｂ (6.3.1)
⑦ 混和材　混和剤の種類　※ＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤 (6.3.1)
8 打継ぎ目地 ひび割れ誘発目地　形状および寸法　※ 標仕9.6.3(a)(1)による　・ (6.6.3),(6.9.2)
位置・ピッチ　監督職員と協議のうえ、施工のこと。
9 打放し仕上げ　外部に面するｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げの打増し厚さ　※ ２０ mm　・ mm (6.9.3)
打放し仕上げの種類　・Ａ 種　※Ｂ 種　・Ｃ 種 (6.9.2)
※ 標仕による　・
⑩ 型枠　せき板の材料 (6.8.3)
11 ｺﾝｸﾘｰﾄ中の塩分測定　躯体打設ごと (6.5.4),(表6.10.1)
12 軽量コンクリート　種別　※１種　・２種 (6.11.1)
設計基準強度（Ｎ／mm²）　・18.5 N/mm2 (6.1.4)
気乾単位容積質量　※1.8 t/m³　・1.65　施工箇所：便所床　かさ上げｺﾝｸﾘｰﾄ (6.11.3)

7 鉄骨工事

・構造特記仕様書に依る。

1 鉄骨の製作所　※ 構造物製作認定工場の認定グレード
（・Ｓ・Ｈ・Ｍ・Ｒ・Ｊ）以上で監督職員の承諾する工場 (7.1.3)
・ 監督職員の承諾する工場
2 施工管理技術者　※ 適用する　・適用しない (7.1.3),(7.1.4)
3 鋼材の種類　材質　・ＳＳ４００　・ＳＳＣ４００　・ＳＴＫ４００　・ＢＣＲ２９５ (7.2.1)
・ＳＭ４９０　・ＳＮＲ４００Ｂ　・ＳＮ４９０Ｂ
規格　※ ＪＩＳ規格　・７.２.１０（ａ）の試験に合格するもの
4 高力ボルトの種類　種類　※ トルシア形高力ボルト（建築基準法認定品）
・ＪＩＳ形高力ボルト　・溶融亜鉛メッキ高力ボルト（建築基準法認定品） (7.2.2)
5 アンカーボルト　構造用アンカーボルト (7.2.4)
材質　※ＳＮＲ４００　・
建方用アンカーボルト
材質　※ＳＳ４００　・
アンカーボルトおよびナットのねじの種類の規格、ねじの等級の規格および仕上げの程度
※標仕による
6 ターンバックル　胴の種類　※ 割枠式　・パイプ式 (7.2.6)
ボルトの種類　※ 羽子板ボルト　・両ねじボルト　・アイボルト
7 工作図　※ ＣＡＤ加工図　・床書き現寸図 (7.3.2)
8 溶接　開先の形状　※図示 (7.6.4)
エンドタブを切除する部分　※図示 (7.6.7)
スカラップの形状　※図示
9 溶接部の試験　・超音波探傷試験（検査は第３者検査会社によるものとし監督職員の承諾を受ける） (7.6.11)
ＡＯＱＬ ※ ４.０%　・ ２.５%
検査水準 ※ 第６水準　・ 第（　）水準　・ 図示による
・ 放射線試験　（１フレーム当たり８ヶ所行う）
10 ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄの溶接　※アークスポット溶接　・隅肉溶接
合成スラブとして使用するﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄの接合 (7.7.8)
※焼き抜き栓溶接　・
11 耐火被覆 (7.9.2)

種　別	材料および工法		材料および工法
・耐火材吹付け	ロックウール	・乾式 ・湿式	建築基準法の指定又は認定を受けたもの
・耐火板張り	・無石綿ケイ酸ｶﾙｼｳﾑ板		建築基準法の指定又は認定を受けたもの
・耐火材巻き付け	・		建築基準法の指定又は認定を受けたもの
・ラス張りモルタル塗り	標仕１５章２節による		所定の耐火性能を有するもの
・			

12 ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ等の設置　種別　・Ａ 種　※Ｂ 種　・Ｃ 種 (7.10.3)(表7.10.1)
13 柱底均しモルタル　工法　※Ａ 種　・Ｂ 種 (7.10.3)(表7.10.1)
14 検査結果の報告　工場加工は、認定工場における自主検査または滋賀県鉄構工業組合の一般検査を受け報告書を提出すること。
15 溶融亜鉛めっき工法 (7.12.3)（表14.2.2）

亜鉛めっきの種別	材　料	適用部位
A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板	渡り廊下
B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	屋外階段
C種	普通ボルト、アンカーボルト	
	最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

素地ごしらえは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。
16 溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合　摩擦面の処理　※ ブラスト処理　・りん酸塩処理 (7.12.4)

⑧ コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

① 空洞コンクリートブロックの種類　種別　・Ａ種（08）　・Ｂ種（12）　※Ｃ種（16）　・Ｃ種防水（16W） (8.2.2)
厚さ（mm）　⊙１００　・１２０　・１５０ (8.2.5)
2 各部の配筋　耐力壁　※ 構造図による (8.3.3)
帳壁・塀　※ 構造図による (8.4.2)
3 ＡＬＣパネル

種　類	厚さ（mm）	耐火性能
外壁用	・５０　・１００	FP060NE-9293
間仕切用	・５０　・１００	
屋根用	・５０　・１００	
床　用	・１００　・１５０	

・外壁パネル工法　種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 (8.4.3)
出隅・入隅目地幅（mm）※ ２０
・間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ工法　種別　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種 (8.4.4)
4 押出成形ｾﾒﾝﾄ板 (8.5.2)
種別　※ノンアスベスト品（ＪＩＳ Ａ ５４４１規格品）
※ 塗装品　・無塗装品　厚さ(mm)：60、75 (8.5.3)
・外壁パネル工法　・Ａ種　・Ｂ種　・デザインパネル　・フラットパネル (8.5.4)
・間仕切壁パネル工法　・Ｂ種　・Ｃ種
パネル製造所：　株式会社ノザワ　アスロック　タスロック AL4740、AL66150　同等品
・施工
1)．耐火構造の技術的基準に適合するとこ。（耐火構造番号は仕上表に記載あり９
2)．層間ふさぎは耐火区画を完成させるために不燃材料にて隙間を充填すること。
3)．取付用下地および開口補強材は十部員名強度のあるものとすること。
4)．取付用下地および開口補強材の部材算定は構造計算を行い、その検討結果を監督職員へ報告すること。
5)．断熱材は現場発泡硬質ウレタンフォーム 厚20mmを施すこと。

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水 (9.2.2),(9.2.3),(表9.2.3～8),(改修標仕表3.3.3～10)

防水層の種類	種　別	施　工　箇　所
・屋根保護防水密着工法	・Ａ－１　・Ａ－２	
・屋根保護防水密着断熱工法	・ＡＩ－１　・ＡＩ－２	
・屋根保護防水絶縁工法	・Ｂ－１　・Ｂ－２	屋上テラス
・屋根保護防水絶縁断熱工法	・ＢＩ－１　・ＢＩ－２	
・屋根露出防水密着工法	・Ｃ－１　・Ｃ－２	
・屋根露出防水絶縁工法	・Ｄ－１　・Ｄ－２	
・屋根露出防水断熱工法	・ＤＩ－１　・ＤＩ－２	
・屋内防水密着工法	・Ｅ－１　・Ｅ－２	

屋根露出防水の仕上塗装塗り　※ 行う（・シルバー　・カラー）　・行わない
アスファルト　※３ 種 (9.2.2)
アスファルトルーフィング　・９４０　※１５００ (9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※ ２５ (9.2.2)
材質　※押出法ポリスチレンフォーム３種ｂスキン層付き
端部押え金物　アルミ製　※ Ｌ－30×15×2.0　・Ｌ－40×10×2.0 (9.2.2)
立上り部の保護　・押出成形ｾﾒﾝﾄ板t=15　・乾式保護材　・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え (9.2.5)

2 改質アスファルトシート防水 (表9.3.1),(改修標仕表3.4.1～3)

防水層の種類	厚　さ	施　工　箇　所
・AS-1　・AS-2		
・AS-3　・AS-4　・AS-5		
・AS-6　・ASI-1　・ASI-2		

3 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水
※ 露出防水 (9.4.2),(9.4.3),(表9.4.1),(改修標仕表3.5.1)

工　法	種　別	シートの種類	シートの厚(mm)	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
接着工法	・S-F1　・SI-F1	加硫ゴム系	※ 1.2　・1.5		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	※ 非歩行
	・S-F2　・SI-F2	塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系	※ 2.0　・1.5			
機械的固定方法	・S-M1　・SI-M1	加硫ゴム系	※ 1.5　・2.0		・ｼﾙﾊﾞｰ　⊙ｶﾗｰ	・軽歩行
	・S-M2　・SI-M2	塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系	※ 1.5　・2.0			
	・S-M3　・SI-M3	熱可塑性ｴﾗｽﾄﾏｰ系	※ 1.2　・			

製造所：アーキヤマデ株式会社　リペットルーフ［非歩行 歩行用］・アンカー固定断熱工法　同等品

4 塗膜防水
※ 露出防水 (9.5.2),(表9.5.1)

種　別	施工箇所
・Ｘ－１　・Ｘ－２	指定色
・Ｙ－１　・Ｙ－２	

Ｙ－２の保護層　※設ける　・設けない
5 ＦＲＰ防水　ＦＲＰ防水　（屋上）
6 施工票　工事完了後に監督職員の指示する場所に取り付ける。
⑦ 責任施工および保証期間　防水工事は責任施工とし、保証期間は次のとおりとする。
・アスファルト防水　１０年間
・改質アスファルトシート防水　１０年間
⊙合成高分子系ルーフィングシート防水　１０年間
⊙塗膜防水　１０年間
・ＦＲＰ防水　１０年間
⑧ シーリング　材料　※ 標仕による (9.7.2)

種　別（記　号）	施工箇所
ＭＳ－２	ｺﾝｸﾘｰﾄと建具

接着性試験　※ 行う（※ 簡易接着性試験　・引張接着性試験）　・行わない (9.6.5)
図中　印箇所に施工　ただし　印なき箇所も必要と思われる所は施工すること。
⑨ 脱気装置　材質：　ステンレス製　設置数量：図面による
10 止水材　塩ﾋﾞ製

⑩ 石工事

① 石材 (表10.2.1　表10.2.2)

施工箇所	名　称	産　地	仕上の種類
階段腰壁笠木	御影石　t=25	中国	本磨き

品質　床用　・１等　※２等　その他　※１等　・２等 (10.2.1)
2 テラゾブロック　種石の種類・大きさ　※大理石の種（12mm以下） (10.2.1)
・花こう岩の種（6mm以下）
磨き仕上げの種類　※本磨き　・水磨き　・粗磨き
3 テラゾタイル　種類　・花こう岩類　・大理石 (10.2.1)
形状・寸法　・300×300　・400×400
磨き仕上げの種類　※本磨き　・水磨き　・粗磨き

⑪ タイル工事

① 材料 (11.2.1)　(11.2.2)

施工箇所	製品名称等	備　考
玄関・昇降口・スロープ	ﾌﾛｱｰﾀｲﾙ　参考品番　ピアッツアOXシリーズ・ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様	
外装タイル		

② 工法　外装タイル　※密着張り (表11.3.2)
内装タイル　※積み上げ張り
③ 伸縮調整目地およびひび割れ誘発目地　※入れる　・入れない
位置　※標仕による　・立面図による (11.1.3)（表11.1.1)
④ 接着力試験　※行わない　⊙ 行う
⑤ タイル製造所　ＩＮＡＸ、ＴＯＴＯ　又は同等品以上 (11.1.4)

⑫ 木工事

1 木材の使用について　間伐材を含め極力県内産を使用すること。
2 木材の断面寸法　支持寸法で板材、造作材は仕上がり寸法、構造材はひき立て寸法とする。
③ 表面仕上げ　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種 (12.1.4)（表12.1.1)
木材の含水率　※ Ａ種　・Ｂ種 (表12.2.1)
造作材の等級　※ Ａ種　・Ｂ種 (表12.2.2)
④ 木材　樹種　構造材：（杉）　造作材：（米ツガ）　下地材：（杉）　⊙ 巾木ﾀﾓ集成材H100 (12.2.1)
※ 標仕表12.2.3による。
⊙代用樹種を適用しない箇所　構造材（　　）
造作材（長浜市内産桧台形集成材（びわこ材認証品））
木製ルーバー、集成材、フローリング
5 集成材 (12.2.2)

・構造用集成材

樹　種	強度等級	材面の品質	接着性能	厚さ（mm）	施工箇所
		※ ２種　・			
		※ ２種　・			

・構造用単板積層材

樹　種	溶接性能	曲げ性能	厚さ（mm）	施工箇所

・構造用集成材

樹　種	見付け材面品質	厚さ（mm）	施工箇所
	※ １等　・		
	※ １等　・		

・化粧ばり造作用集成材

芯材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板厚	見付け材面の品質	厚さ（mm）	施工箇所
			※ １等　・		
			※ １等　・		

・構造用単板積層集成材

表面の品質	防虫処理	厚さ（mm）	施工箇所
※天然木化粧加工　・			

・集成材H100
6 床張り用合板　・合板　厚さ（mm）　・5.5　・12　接着の程度　※ ２等　表面の品質　※ ２等 (12.2.3)
樹種および施工箇所：
・ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ　厚さ（mm）　※ 15　・接着の程度　※ 13Pタイプまたは13Mタイプ
樹種および施工箇所：
7 防腐処理　木材保存剤は、人体への安全性および環境への影響に配慮した表面処理用木材保存剤とする。 (12.2.8)
種類および品質　・ｷｼﾗﾃﾞｺｰﾙ塗
8 防蟻処理　※ 行う　適用範囲：　内容： (12.2.9)

⑬ 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺　屋根葺形式　・横葺　・瓦棒葺　・平葺　・ (13.2.3)
材種　・塗装溶融亜鉛メッキ鋼板および綱帯 (表13.2.1)
・溶融アルミニウムめっき鋼板および綱帯
・塗装溶融亜鉛一５%アルミニウム合金メッキ鋼板および綱帯
・塗装溶融５５%アルミニウム一亜鉛合金メッキ鋼板および綱帯
・ポリ塩化ビニル被覆金属板
・冷間圧延ステンレス鋼板および綱帯
・塗装ステンレス鋼板
厚さ　一般部 ※ ０.４mm　・　谷部 ※ ０.４mm　・ (13.2.2)
下葺　※ アスファルトルーフィング９４０　・
2 折板葺　形式　・重ね形　⊙ はぜ締め形　・ (13.3.2)
材種　・塗装溶融亜鉛メッキ鋼板　⊙塗装溶融５５%アルミニウム一亜鉛合金メッキ鋼板および綱帯
種類　山高 ８８（mm）　山ピッチ（mm）　耐力（N／㎡）
板厚　・０.６mm　⊙ ０.８mm　軒先面戸板 ※ あり　・なし
けらば包み ※ あり（厚さ 0.5（mm）　幅（mm））・なし
３０分耐火 ※ あり　⊙ なし
断熱材 ※ あり（種別：　厚さ：　mm 防火性能：　）・ なし
3 責任施工および保証期間　⊙ 折板葺き　１０ 年間
・ 年間
・ 年間
④ とい　材種　⊙カラー硬質塩化ビニル管　・配管用鋼管（屋内防露処理） (13.5.2),(表13.5.1)
⊙硬質塩化ビニル管　・ステンレス管（既製品）・ アルミ製 φ89 ｽﾃﾝｶﾗｰ 高強度支持金物
掃除口　⊙ 設ける　・設けない
防露材　※ 標仕表１３.５.４による　・　施工場所：
鋼管製といの防露　※ 標仕表１３.５.５による。
⑤ ドレン　・フロアドレン　鋳鉄製タールエポキシ塗（・２種　・３種）
⊙ ルーフドレン　鋳鉄製タールエポキシ塗（・２種　・３種）（防水改修用）
⊙ 横引ドレン　鋳鉄製タールエポキシ塗（・２種　・３種）（防水改修用）

⑭ 金属工事

① ステンレスの種類　種類　※ ＳＵＳ ３０４　・
表面仕上げ　※ ＨＬ仕上げ　・Ｎｏ．２Ｂ　・鏡面仕上げ (14.2.2),(表14.2.1)
2 アルミニウムおよびアルミニウム合金の表面処理

種　別	表面処理	施　工　箇　所
※ Ｂ－１種	無着色	
・Ｂ－２種	電解着色（　色）	
・Ｄ　種		

3 鉄鋼の亜鉛メッキ (14.2.3),(表14.2.2)

表面処理	種　別	施　工　箇　所
溶融亜鉛メッキ	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種	
電気亜鉛メッキ	・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種	

④ 軽量鉄骨天井下地　野縁等の種類　屋内 ※ １９型　・２５型　屋外　・１９型 ※ ２５型（耐風仕様） (表14.4.1)
外部野縁受、吊りボルト、インサートの、端部からの設置位置　※ １５０以内　・ (14.4.3)
外部野縁の間隔　※ 標仕表１４.４.２による。　・
天井のふところが３ｍを超える場合の補強： (14.4.4)
既存ｲﾝｻｰﾄを使用する場合は引張試験を実施し監督職員の承諾を得ること。
⑤ 軽量鉄骨壁下地　スタッド、ランナーの種類　・５０型　⊙６５型　⊙９０型　・１００型 (表14.5.1)
⑥ 金属成型板張り (14.6.2)

形　状	材　種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理
⊙スパンドレル形	⊙ アルミニウム			※ Ｂ－１種
				⊙ Ｂ－２種（色：　）
・パネル形				・

⑦ アルミニウム製笠木　笠木本体　・２５０型　・３００型　・３５０型　・　⊙ 図示による (14.7.2)
表面処理　※ Ａ－１種または Ｂ－１種　・Ｂ－２種　・外壁色合わせアクリル樹脂塗装
⑧ エキスパンションジョイント　材質　※ ステンレス製既製品　・アルミ製既製品
性能　⊙ 耐火仕様　・一般仕様
⑨ 天井廻縁　材質　⊙アルミニウム製　※塩化ビニル製
⑩ 天井見切り縁　材質　⊙アルミニウム製　・塩化ビニル製
⑪ 点検口　天井　材質：※ アルミ既製品　・　規格：※ ４５０角　・
床　材質：※ アルミ既製品　・　規格：※ ６００角　・

⑮ 左官工事

1 モルタル塗り床目地　目地工法　※ 標仕１５.２.５（ｂ）（３）による　・ (15.2.5)
② セルフレベリング材塗り　種類　・せっこう系　⊙ セメント系 (表15.4.2)
施工箇所
③ 仕上塗材仕上げ (表15.5.2)

種　類	呼び名	仕上げの形状	施工箇所・備考
薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状	
	・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状	
	⊙外装薄塗材Ｅ	・	
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・	
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状　・さざ波状　・凹凸状	
	・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状	
	・内装薄塗材Ｃ	・	
	・内装薄塗材Ｌ		
	・内装薄塗材Ｓｉ	・	
	・内装薄塗材Ｅ		内装壁
	・内装薄塗材Ｗ	・	
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ	・	
	・外装厚塗材Ｓｉ	・	
	・外装厚塗材Ｅ		
	・内装厚塗材Ｃ	・	
	・内装厚塗材Ｌ	・	
	・内装厚塗材Ｇ	・	
	・内装厚塗材Ｓｉ	・	
	・内装厚塗材Ｅ	・	
複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・凸部処理　・凹凸模様　・ゆず肌状	
	・可とう形複層塗材ＣＥ	・凸部処理　・凹凸模様　・ゆず肌状	
	・複層塗材Ｓｉ	・凸部処理　・凹凸模様　・ゆず肌状	
	・複層塗材Ｅ	・凸部処理　・凹凸模様　・ゆず肌状	
	・複層塗材ＲＥ	・凸部処理　・凹凸模様　・ゆず肌状	
	・複層塗材ＲＳ	・凸部処理　・凹凸模様　・ゆず肌状	
	・防水形複層塗材ＣＥ	・凸部処理　・凹凸模様　・ゆず肌状	
	・防水形複層塗材Ｅ	・凸部処理　・凹凸模様　・ゆず肌状	
	・防水形複層塗材ＲＳ	・凸部処理　・凹凸模様　・ゆず肌状	
	・防水形複層塗材ＲＥ	・凸部処理　・凹凸模様　・ゆず肌状	
軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・砂壁状	
	・こて塗用軽量塗材	・平たん状	

④ 外壁下地調整材　・C-1　⊙C-2　・C-3 (15.7.3)
5 ロックウール吹付　厚さ(mm)　・１０　・１５　・２０　・２５

⑯ 建具工事

⊙建具特記仕様書に依る。
1 アルミニウム建具　・外部に面する建具 (16.2.2),(表16.2.1)

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法
※ Ａ 種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	※ ７０　・１００
・Ｂ 種	Ｓ－５			
・Ｃ 種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	※ １００

2 重量シャッター　シャッターの種類：　・一般重量シャッター　・外壁用防火防煙シャッター (16.10.2)
・屋内用防火シャッター　・防煙シャッター
3 オーバーヘッドドア (16.12.2)
4 ガラス留め材　材質　※ シーリング　・ガスケット (16.13.2)
5 建具金物　吊金物 (16.7.2),(表16.7.1)
※ 丁番　材質：※ ＳＵＳ　・黄銅　（内部建具の軸は鋼製としてもよい）
・ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　材質：※ ＳＵＳ（ヒンジ部および軸は鋼製）　・亜鉛合金（木製建具用）
6 カバー工法　メーカー仕様による
7 鍵　マスターキーの製作　・製作する　※ 製作しない
改修工事におけるキーのマスター合せ　※ 行う　・行わない
個数：　３　種類：※ 既製品　・製作品
なお、教室等の記入は事前に監督職員と協議の上決定すること。

17 カーテンウォール工事

1 ﾒﾀﾙｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ　建具工事特記仕様書による (17.2.2)
2 PCｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ (17.3.2)

⑱ 塗装工事

① 素地ごしらえ
木部　※ Ａ種（透明塗料の場合はＢ種）　・Ｂ種 (18.2.2),(表18.2.1)
鉄面（鉄骨工事は除く）　・Ａ種　・Ｂ種　※ Ｃ種 (18.2.3),(表18.2.2)
亜鉛メッキ面　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 (18.2.4),(表18.2.3)
モルタル・プラスター面　・Ａ種　※ Ｂ種 (18.2.5),(表18.2.4)
コンクリート・ＡＬＣパネル面　・Ａ種　※ Ｂ種 (18.2.6),(表18.2.5)
コンクリート・押出成形セメント板面　・Ａ種　・Ｂ種 (18.2.6),(表18.2.6)
せっこうボード面　・Ａ種　※ Ｂ種 (表18.2.7)
（継目処理工法の場合はＡ種）
② 錆止め塗料塗り　塗料種別　亜鉛メッキ面　※ Ａ種（ＥＰ－Ｇの場合はＣ種）　・Ｂ種 (表18.3.2)
グリーン購入法に基づく無鉛型錆止め塗装を採用しようとする場合は、事前に監督職員の承認を得ること。
錆止め塗料塗り　鉄面　※ 見掛りＡ種、見隠れＢ種 (18.3.3),(表18.3.3)
亜鉛メッキ面　※ 鋼製建具Ａ種、その他Ｃ種
Ｃ種に用いる錆止め塗料種別はＢ種とする。
③ 一般塗料
合成樹脂調合ペイント（ＳＯＰ）　標仕による (18.4.2～5)
クリヤラッカー塗り（ＣＬ）　標仕による (18.5.2)
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）　標仕による (18.6.2)
耐候性塗料塗り（ＤＰ）　標仕による
鉄面　上塗りの等級： (18.7.2)
亜鉛メッキ面　上塗りの等級： (18.7.3)
コンクリート面、押出成形セメント板面　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 (18.7.4)
つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）　標仕による (18.8.2～5)
合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）　標仕による (18.9.2)
合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）　標仕による (18.10.2)
ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）　標仕による (18.11.2)
オイルステイン塗り（ＯＳ）　標仕による (18.12.2)
木材保護塗料塗り（ＷＰ）　標仕による (18.13.2)
マスチック塗材塗り　・Ａ種　・Ｂ種 (18.14.2)
フタル酸樹脂エナメル塗り（ＦＥ）　標仕による (18.6.2)
④ 特殊塗料　ＪＩＳ規格品
合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）　標仕による (18.9.2)
5 外壁塗料　<外壁>
a)．常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り（２－ＦＵＥ）
・下塗りは２液形エポキシ樹脂ワニスを施すこと。
・製品は超低汚染型以上とする。

訂正	月 .日		月 .日		月 .日	
	.		.		.	
	.		.		.	
	.		.		.	

建築事務所 BCY'S
株式会社　ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No.　－　－　－
工事名：浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE　.　.
建築工事特記仕様書(2)
SCALE　1:---(A1)　1:---(A3)　A

⑲ 内装工事

① ビニル床シート張り
シートの種類　※ 防滑性複層床シート（FS）　・クッションフロアーシート　(19.2.2)
厚　さ（mm）　(※)２．５　・　２．０　参考品番：東リ ノンワックスリュームNW
継　　目　※ 熱溶接　・突きつけ　(19.2.3)

② ビニル床タイル張り
材　　質　※ 半硬質ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ　・軟質ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ　・ﾎﾓｼﾞﾆｱｽﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ　(19.2.2)
厚　さ（mm）　※ ２．０　・　参考品番：東リ フリータイル　(19.2.2)

3 特殊機能床材
材　　質　・　厚さ(mm)　・　(19.2.2)

④ ビニル巾木
厚さ(mm)　※ ２．０　・　高さ(mm)　・６０　※７５　⊙１００　(19.2.2)

⑤ カーペット敷き
・織じゅうたん　(19.3.3)
種　　別　・A種　・B種　・C種
パイル形状　・カットパイル　・ループパイル　・カット、ループパイル併用
帯　電　性　※ 人体帯電圧３ｋＶ以下　・
・タフテッドカーペット
パイル形状　・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ　・ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ　・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ　・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用
パイル長(mm)：
工　　法　※ 全面接着工法　・グリッパー工法
帯　電　性　※ 人体帯電圧３ｋＶ以下　・
・ニードルパンチカーペット
厚さ(mm)：・　帯電性：※ 人体帯電圧３ｋＶ以下　・
⊙タイルカーペット　t=6.5　500×500
種　　別　※ 第一種　・第二種　参考品番：東リ GA-100
パイル形状　※ ループパイル　・カットパイル

6 合成樹脂塗床
弾性ウレタン塗床　仕上げの種類　※ 平滑仕上げ　・防滑仕上げ　(19.4.3),(表19.4.3)
・つや消し仕上げ
エポキシ樹脂塗床　仕上げの種類　※ 薄膜流し展べ仕上げ　(19.4.3),(表19.4.4〜7)
・厚膜流し展べ仕上げ
・樹脂モルタル仕上げ　・防滑仕上げ

7 防塵塗床
塗料の種類　・アクリル系　・ウレタン系　・エポキシ系
仕上の種類　・平滑仕上　・防滑仕上

⑧ フローリング張り　(19.5.2)

	種　類	樹　種	厚さ(mm)	工　法	仕上げ
単層	・フローリングボード	スギ	15		
	⊙フローリングブロック	ブナ	15	・　⊙乾式	
	・モザイクパーケット			※乾式釘どめ　・接着	
複合	※ 複合１種フローリング			※乾式釘どめ　・接着	
	・複合２種フローリング			・	
	・複合３種フローリング			・	

9 畳敷き
畳の種類　・A種　・B種　※C種　・D種　(19.6.2),(表19.6.1)

⑩ せっこうボード張り
ＪＩＳ規格品　厚さ(mm)⊙９．５　⊙１２．５(水廻りは耐水仕様とする。)　⊙１５　(19.7.2)

⑪ 化粧せっこうボード張り
ＪＩＳ規格品　⊙トラバーチン模様 ９．５　・木目模様 ９．５　・杉柾模様 ９．５　(19.7.2)
吉野石膏㈱ 同等品　【GB-Dは全て「不燃（GB-NC）」と読み替える】

12 無石綿セメント板
厚　さ(mm)　・４　・５　・６　・　(19.7.2)

⑬ 無石綿ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板
厚　さ(mm)　・５　⊙６　・８　・１０　・１２　(19.7.2)

⑭ 化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板
厚　さ(mm)　・５　⊙６　・８　・１０　・１２　（無石綿タイプ）　(19.7.2)

⑮ ロックウール吸音板
厚　さ(mm)　・９　⊙１２　・１５　柄 ⊙一般 ⊙リブ　・キューブ　(19.7.2)

⑯ 壁紙張り
材　　質　※ 無機質　・　(19.8.2)
素地ごしらえ　(19.8.3)
モルタル面およびプラスター面　標仕による
コンクリート面　・A種　※B種
せっこうボード面　・A種　※B種

17 断熱材打込み工法
材　質　※ 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材　・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材　(19.9.2)
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材A種　・フェノールフォーム保温材
（ただし、特定フロンを含まないものとする）
厚　さ(mm)　・２０　※２５　・３０

⑱ 断熱材現場発泡工法
材　質　※ 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑＡ種１(特定ﾌﾛﾝを含まないものとする)　・　(19.9.3)
吹付け厚さ(mm)　２５（最上階の屋根ｽﾗﾌﾞ）

⑲ グラスウール
床　※ ２４kg品　・３２kg品　厚さ(mm)・
壁　※ ２４kg品　・３２kg品　厚さ(mm)・
天井　※ ２４kg品　・３２kg品　厚さ(mm)・　１００

⑯ ユニット工事

① ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱｰ
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ　・塩ビ製　⊙鋼板製　・木質製　・　(20.2.2)
構法　※ パネル構法　・溝構法
寸法　※ ５００(mm)×５００(mm)　・　仕上り高さ: 50 (mm)
積載荷重：　0.3（t／㎡）　適用地震時水平力 ⊙１．０G　・０．６G
ｽﾛｰﾌﾟ、ﾎﾞｰﾀﾞｰ、およびｺﾝｾﾝﾄの取付対応　※ 製造所の標準仕様　・図示
表面仕上げ材の品質・規格等は、１９章内装工事による

2 可動間仕切（ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ）
構造形式　・ｽﾀｯﾄﾞ式　・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式　・ﾊﾟﾈﾙ式　ﾊﾟﾈﾙ部総厚さ：・　(mm)　(20.2.3)
表面材種　※ 鋼板（厚さ：※０．６　・０，８）　・
仕上げ材　※ メラミン樹脂合板またはアクリル樹脂焼き付け　・
品質は、ＪＩＳ　Ａ　６５１２によるものとする。

3 移動間仕切
遮音性能　・一般タイプ　(20.2.4)
・遮音タイプ(JIS A 6512の遮音試験に準拠し、透過損失として36dB以上のもの)
表面材　※ 鋼板　・　表面仕上げ：・焼付塗装　・壁紙張り

④ 階段滑り止め
工　法　工　法　※ 接着工法　・埋込工法　(20.2.6)
外部材質　ステンレスＳＵＳ３０４製　幅(mm)　・３０　※３５　・４０
内部材質　ステンレス製(ビニルタイヤまたはゴム練込み)　幅(mm)　・３０　※３５　・４０
形　状　両端フラットエンド　※ あり（※ ビニル製　・ステンレス製）　・なし

5 黒板
種　類　※ 焼付け黒板　・研ぎ出し黒板　色　彩：※ 緑　・黒　(20.2.8)
枠　※ アルミニウム製　・木製

⑥ ホワイトボード（黒板）
種　類　※ ほうろう　・　色　彩：※ 白　・　(20.2.8)
枠　※ アルミニウム製（行事用は打合せにより文字ライン入り）

⑦ 掲示板
種　類　※ スポンジシート(アルミ枠)　・　色　彩：

⑧ 衝突防止表示
※ 図示による（市販品 ※ステンレス製　径 ※ 約30mm　・　mm／・両面　・片面）　(20.2.10)

⑨ 室名表示等
形式　⊙ 面付型　⊙ 持出型　・点字型　(20.2.10)
⊙ アルミ製200角　文字 ＋ ピクト　シルクスクリーン印刷
材質　・アクリル製　・ステンレス製　・アルミ製　(20.2.12)

⑩ ブラインド

形　式	開閉方式	スラットの材質	スラットの成型幅
※ 横型	※ ギヤ式　・コード式 ・操作棒式　・電動式	※ アルミ合金製 ・	※ ２５ ・
・縦型	・１本操作ｺｰﾄﾞ　・２本操作ｺｰﾄﾞ	・アルミ　・クロス	・８０　・１００

昇降テープの材質：※ ポリエステル繊維

11 ロールスクリーン
※ 図示による　・　(20.2.13)

⑫ カーテン
形　　式　⊙片引き ⊙引分け　引分け装置　※ ひも引き　・電動　(20.2.14)
ひだの種類　・フランスひだ ⊙箱ひだ ⊙つまひだ　・プレーンひだ　・片ひだ
きれ地の品質等

⑬ カーテンレール
材種　⊙アルミ合金製　・ステンレス製　(20.2.14)
形状　⊙ シングル ⊙ ダブル（ただし、暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする。）

⑭ ブラインドボックスおよびｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
※ 図示による
・市販品（アルミニウム製　押出し型材）　溝幅＊深さ(mm)：

⑮ くつふきマット
マット　・塩ビ製ラインマット　・硬質アルミ　・ブラシタイプマット
・ゴム製　⊙ステンレス製
受枠　⊙ステンレス製　・硬質アルミ合金製

⑯ 消火器
種類　※ 粉末ＡＢＣ消火器（・４型　・６型　※１０型　・２０型）
なお、申請手続きも本工事にて行うこととする。
消火器ボックス　※ 設ける（※ 全埋込型 ⊙ 据置型）<文字表示入り>　・設けない

⑰ 造り付け家具　収納・収納家具
家具製作所にて製作するものとし、製作に先立ち施工図作製のうえ、監督職員の承諾を得る。
(12.2.2),(19.7.2)

18 フェンス
製造所：

19 避難用救助袋
セフティ斜降式救助袋Ｆ－１型（SUS製固定環共（降下到着部分））　石川商工株式会社同等品以上
設置ヶ所：2F、3F

⑳ 非常用進入口表示ステッカー
⊙ 赤色　反射ステッカー 市販品

㉑ 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）
ブロックパターンはJIS T 9251による　(19.2.2)
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）
・レジンコンクリート製
屋　外　(※)レジンコンクリート製　⊙磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）

㉒ エキスパンション・ジョイント金物
材質　・アルミ ⊙ステンレス
クリアランス　⊙50 ⊙100 ⊙150 ⊙200 ⊙250　・400
耐火性能　⊙有り（1時間）　・無し
防水型　※適用する　・適用しない

㉓ 誘導標識
材質　アクリル樹脂　大きさ H=120、W=360、t=5
設置場所

24 アルミ庇
奥行寸法　・Ｄ１５００
材質　・アルミ製カラー
製造所　：株式会社共和　アルフィンＡＤ２－２Ｇ　ｻﾎﾟｰﾄﾎﾟｰﾙ仕様　同等品（取付アンカー共）

25 Ｌ型手摺
材質　ｽﾃﾝﾚｽ製樹脂被覆　φ34　700ｘ700　製造所：ＴＯＴＯ　T112CL9　同等品

26 タラップ
材質　ｽﾃﾝﾚｽ製　製造所：杉田エース　ＰＳステップ　同等品

27 ミニキッチン
参考品番：株式会社ＬＩＸＩＬ　DMKLEWB B200　同等品以上

㉑ 排水工事

1 排水溝
2 排水管
種　類　・Ｕ字溝　・現場打側溝　・自由可変側溝
※ VP管　径：　７５ mm　・１００ mm　・１５０ mm
図示された配管および竪樋は最寄側溝または集水桝に接続すること。（取り合い部分は改修すること）

3 排水ます

種　類	ふたの種類	
・現場打ち枡	・縞鋼板	厚 3.2 mm 取手付き
⊙ 会所枡（既製品）	⊙ ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	亜鉛メッキ　ノンスリップ
	・ＲＣ	
・自由勾配側溝専用ます 自由勾配側溝に接続	スチール製　落とし込み式細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ　専用ｺﾞﾐｶｺﾞ付き	

④ 既設排水溝等
既設排水溝、排水管、排水溝の清掃を行うこと。

㉒ 舗装工事

① 路　床
遮断層　・設ける（・川砂　・山砂）　※ 設けない
ＣＲＢ試験　※ 行わない　⊙ 行う
締固め試験　※ 行わない　⊙ 行う

② 路　盤
種　別　※ 再生クラッシャラン ⊙ＲＣ－３０ ⊙ 厚さ　１５０（mm）
クラッシャラン　・Ｃ－４０　・厚さ　１００（mm）

③ アスファルト舗装
⊙ アスファルト舗装　材質：⊙再生アスファルト　・ストレートアスファルト
車道部の基層　※ なし　厚さ（mm）　表層　※ ５０　・
・あり　厚さ（mm）　表層　※ ３０　・　基層　※ ５０　・
・カラー舗装　材質：※ 着色加熱アスファルト混合物（表層の種類　※ 密粒　・細粒）
車道部の基層　※ なし　厚さ（mm）　表層　※ ５０　・
・あり　厚さ（mm）　表層　※ ３０　・　基層　※ ５０　・

4 コンクリート舗装
コンクリート強度　F=２４Ｎ　SL=８cm　天端　コンクリート直均し仕上げ
溶接金網,　プライムコート（ＰＫ-３）および再生クラッシャラン（厚１５０mm）共

5 透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装
6 排水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装
7 ブロック系舗装
種類　・改質アスファルトⅠ類　※ 改質アスファルトⅡ類
・インターロッキングブロック舗装
種類　※ 標準ブロック　・透水性ブロック　・誘導、注意喚起ブロック　・
厚さ（mm）　車道部　※ ８０　・　歩道部　※ ６０

⑧ 区画線工
※ 溶融式　塗布厚 １．５ mm　白色　幅 １５ cm　塗料：路面表示用塗料（JIS K 5665）

23 植栽工事

1 植栽基盤整備工法
2 植込み用土
3 支柱
4 枯損樹木等の処置
5 柴張り
6 樹種銘板

種　別　※ Ａ種　・B種　・C種　・D種
※ 客　土　・現場発生の良土
材　質　※ 加圧式防腐処理丸太　・竹
形　状　・鳥居型　・ハッ掛型　・布掛け型　・三脚型　・四脚型　・ﾜｲﾔ掛け型
※ 標仕による
種　別　※ こうらい芝　・野芝　施工場所：
樹種ごとに、２割以上設置すること。　材質・寸法　※ 図示による　・

㉔ 解体工事

① 解体工事に関する特記事項

1. 解体建物(解体する建物内外にある備品、機器類すべてを含む)は特記なき限り、地盤面下も含め分別解体撤去すること。(地盤面下は捨てｺﾝｸﾘｰﾄを含むものとし、根切り土は埋戻しとする。)
　廃材処分の廃材投棄場所等については請負人において選定し、事前に監督員に報告すると共に産業廃棄物処理法に基づき契約を締結のこと。
2. 解体材を敷地内において焼却したり埋設することは一切認めない。
また、ガラス破片を残さないよう、特に注意すること。
3. 工事実施にあたっては、風向き等に留意し近隣に迷惑を及ぼさぬ様配慮し、必要ある時は監督員と協議の上工事の一時中止の措置を行うこと。
4. 解体作業により万一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり、その構造機能を低下させた場合は、請負人の責任において現況に復旧すること。また、搬入出時において道路等に損傷を与えたり、汚した場合も請負人の責任において現状に復旧すること。
5. 工事中は適時散水を行い、粉塵の飛散を極力防止すること。
6. 解体撤去後の敷地は、特記なき限り根切土にて敷きならしすること。
7. 地下埋設物（排水管、ガス管等）は、特記を除き監督員の指示によりﾌﾟﾗｸﾞ止め等の処理を行い、原則としてすべて撤去すること。
　なお、給水管、汚水排水管、ガス管・高圧ガス等の切り離し撤去に伴う申請については、各関係機関と協議の上、申請業務および必要な諸費用を含め本工事とする。

㉕ アスベスト含有建材の除去等

1 建築設備に使用されているアスベスト含有材の処理　(6．1．1)

使用設備の種類	処　理　方　法
・	
・	
・	
・	
・	
・	

② アスベスト含有調査
施工調査
(※)石綿含有建材の事前調査
工事補足説明事項による。
⊙分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4
⊙リシン、吹付タイル、下地調整材	・３ 箇所	・３ 箇所
⊙石綿ケイ酸カルシウム板	・１ 箇所	・１ 箇所
⊙石綿セメント板	・１ 箇所	・１ 箇所

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所　・図示

3 アスベスト粉塵濃度調査
・アスベスト粉塵濃度調査　※ 行う　・行わない　(6．1．4)

測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	備　考
測定１	処理作業前	処理作業室内	各　点	—
測定２	処理作業前	調査対象室外部の付近	計　点	大気
測定３	処理作業中	処理作業室内	各　点	—
測定４	処理作業中	負圧・除塵装置の排出吹出し口	各　点	—
測定５	処理作業中	処理作業室外	計　点（敷地境界）	—
測定６	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	各　点	—
測定７	処理作業後シート	処理作業室内	各　点	—
測定８	養生撤去後１週間以降	調査対象室外部の付近	計　点	大気

④ 専門工事業者　(6．2．1)
アスベスト含有建材（設備を含む）の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を、監督職員に提出すること。

⑤ 作業主任者　(6．2．2)
石綿作業主任者研修又は平成１８年３月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了した者とする。

⑥ 除去作業者　(6．2．3)
石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者で、肺機能に異常が無いものとする。

⑦ アスベスト含有建材の除去　(6．3．2)

1）アスベスト含有吹付け材

材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲
⊙ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付		※ 図示　・
⊙外壁吹付タイル（下地調整材共）		※ 図示　・
		※ 図示　・

除去工法　※ 共仕６．３．２による工法　・特殊工法（　）
除去範囲については、監督職員、監理者立会いの下決定する。
(外壁吹付タイル参考数量)　外壁面積25%程度
除去したアスベスト含有吹付け材の処理　※ 密封処理　・セメント固化　・

2）アスベスト含有保温材　(6．4．2)

材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲
・煙突保温材		※ 図示　・
		※ 図示　・
		※ 図示　・

除去工法　※ 手ばらし　・共仕６．３．２による工法　・
除去したアスベスト含有保温材の処理　※ 密封処理　・

3）アスベスト含有成形板　(6．5．2)

材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲
⊙石綿ケイ酸カルシウム板	6	※ 図示　・
・ビニル床タイル（ｿﾌﾄPﾀｲﾙ）	2.0	※ 図示　・
・石膏ボード（ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞ）	9、12	※ 図示　・
⊙石膏積層板（ジプトーン）	9	※ 図示　・
⊙石綿セメント板	5	※ 図示　・
・	12	※ 図示　・
		※ 図示　・

除去工法　※ 手ばらし　・特殊工法（　）
除去したアスベスト含有成形板の処理（飛散防止措置）　⊙ シート養生　・

労働安全衛生法／石綿障害予防規則・大気汚染防止法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適切に処理すること。

㉖ 防水改修工事

① 降雨等に対する養生方法
改修工事標準仕様書 3.1.3(e)(1)〜(3) による。

2 既存防水層の下地補修材料
アスファルトの種類　：　屋根防水は４種、屋根防水以外は３種とする。（JIS K2207）　(3.2.2)

③ ルーフドレン廻りの処理
改修用ドレンを　※設ける　・設けない　(3.2.5)
（Ｐ０ＡＳ工法、Ｐ０ＡＳＩ工法、Ｐ０Ｄ工法、Ｐ０ＤＩ工法、Ｐ０Ｓ工法、Ｐ０ＳＩ工法、Ｐ０Ｘ工法において改修用ドレンを設ける場合）

④ 既存下地の補修及び処置
補修箇所の形状、長さ、数量等は図示による。

⑤ 既存防水層表面の仕上塗装
※除去する　・除去しない
（Ｍ４ＡＳ工法、Ｍ４ＳＡＩ工法、Ｐ０Ｄ工法、Ｐ０ＤＩ工法、Ｐ０Ｓ工法、Ｐ０ＳＩ工法、Ｐ０Ｘ工法の場合）

6 断熱材
各断熱工法で使用する断熱材は、厚さ（・25mm　・　mm）の、ノンフロン仕様とする。

7 アスファルト防水
材料

区分		種類
粘着層付改質アスファルトルーフィング	(JIS A6013)	※非露出複層防水層Ｒ種 ・
改質アスファルトルーフィングシート	(JIS A6013)	※露出単層防水用Ｒ種 ・

押え金物
材質　：　※アルミニウム　・
形状　：　※L-30X15X2.0　・

屋根保護防水断熱工法の断熱材

断熱材		厚さ
※押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ ３種ｂスキン層付 ・	(JIS A9511)	・30　・50　・100

屋根露出防水断熱工法の断熱材

断熱材	厚さ
※ルーフィング類製造所の仕様 ・	・30　・50　・100

保護コンクリートの設計基準強度　：　※18N/mm2　・
スランプ　：　※15cm　・18cm
立上り部保護　：　※設けない
・設ける　（見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。）
・設ける　（押出成形セメント板　厚さ15mm）

種別及び工程

施工部位	工法	種別
	・Ｐ１Ｂ	・Ｂ－Ｉ　※Ｂ－２
	・Ｐ１ＢＩ　・Ｔ１ＢＩ	・ＢＩ－１　※ＢＩ－２
	・Ｐ２ＡＩ	・ＡＩ－１　※ＡＩ－２
	・Ｐ２Ａ	・Ａ－１　※Ａ－２
	・Ｍ４Ｃ	・Ｃ－１　※Ｃ－２
	・Ｍ３Ｄ　・Ｐ０Ｄ	・Ｄ－１　※Ｄ－２
	・Ｐ０ＤＩ　・Ｍ３ＤＩ　・Ｍ４ＤＩ	・ＤＩ－１　※ＤＩ－２
	・Ｐ１Ｅ　・Ｐ２Ｅ	・Ｅ－１　※Ｅ－２

既存の保護層並びに防水層の立上り部撤去
※改修標準仕様書　表3.1.1による　・行わない
アスファルトの種類　：　※３種　・４種　(3.2.2)(3.3.2)
Ｐ０Ｄ工法の二重ドレン　：　・設ける　※設けない　(3.2.5)
Ｍ３Ｄ工法・Ｐ０Ｄ工法の脱気装置　：　・設ける　※設けない　(3.3.3(b)(2))
Ｐ１Ｅ工法・Ｐ２Ｅ工法の保護層　：　・設ける　・設けない　(3.3.3(d))
露出防水の仕上げ塗料（非歩行用）　：　※行う（※シルバー　・カラー）　・行わない

8 改質アスファルトシート防水
種別及び工程　(3.1.4)

施工部位	工法	種別	材質	厚さmm以上（トーチ）	仕上塗材	
	・Ｍ４ＡＳ	・ＡＳ－１	※Ｒ種	・3.0(4.0)	※シルバー	(表3.1.1)
		・ＡＳ－２		・2.0(3.0)		(3.4.2)
		・ＡＳ－３		・1.5(2.5)		(3.4.3)
	・Ｍ３ＡＳ	・ＡＳ－４		・3.0(4.0)		(表3.4.1)
	・Ｐ０ＡＳ	・ＡＳ－５		・2.0(3.0)		(表3.4.2)
	・Ｍ３ＡＳＩ	・ＡＳ－６	・Ｎ種	・3.0(4.0)	・カラー	(表3.4.3)
	・Ｍ４ＡＳＩ	・ＡＳＩ－１		・2.0(3.0)		
	・Ｐ０ＡＳＩ	・ＡＳＩ－２		・1.5(2.5)		

脱気装置　：　・設ける　※設けない
既存の保護層並びに防水層の立上り部撤去
※改修標準仕様書　表3.1.1による　・行わない
断熱材
材質　：　※製造所の仕様による　・
厚さ　：　・30　・50　・100
下地に部分的に施工する場合
・トーチ工法　・常温（粘着）工法

⑨ 合成高分子系ルーフィングシート防水
工種及び工程　(3.1.4)

施工部位	工法	種別	厚さmm	仕上塗材	
一般	・Ｐ０Ｓ	・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・	※シルバー　・カラー	(表3.1.1)
平場・立上り		・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・		(3.5.2)
	・Ｓ４Ｓ	・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・2.0	※シルバー　⊙カラー	(3.5.3)
		⊙Ｓ－Ｍ２	(※)1.5　・2.0		(3.5.4)
	・Ｓ３Ｓ	・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・	※シルバー　・カラー	(表3.5.1)
		・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・		
	・Ｍ４Ｓ	・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・	※シルバー　・カラー	
		・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・		
		・Ｓ－Ｍ３	※1.2　・		
	・Ｐ０ＳＩ	・ＳＩ－Ｆ１	※1.2　・	※シルバー　・カラー	
	・Ｓ３ＳＩ	・ＳＩ－Ｆ２	※2.0　・		
	・Ｓ４ＳＩ	・ＳＩ－Ｍ１	※2.0　・	※シルバー　・カラー	
	・Ｍ４ＳＩ	・ＳＩ－Ｍ２	※1.5　・		
		・ＳＩ－Ｍ３	※1.2　・		

脱気装置　：　⊙設ける　※設けない
既存の防水層の立上り部撤去
※改修標準仕様書　表3.1.1による　・行わない
絶縁用シート　：　※発泡ポリエチレンシート　・
Ｓ３Ｓ工法、Ｓ３ＳＩ工法の脱気装置　：　・設ける　・設けない

㉖ 防水改修工事

断熱材
材質 ： ※製造所の仕様による ・
厚さ ： ・30 ・50 ・100
ＰＣコンクリート部材下地の目地処理（接着工法）及び入隅部の増張りは、図示による。

⑩ 塗膜防水

工種及び工程 (3.1.4)

施工箇所	工法	種別	仕上塗材	(表3.1.1)
	ＰＯＸ	※Ｘ－１	※シルバー	(3.6.3)
図示による	Ｌ４Ｘ	◎Ｘ－２	⊙カラー	(表3.6.1)

脱気装置 ： ・設ける ※設けない
既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（Ｌ４Ｘ工法の場合） ：
・除去する ・除去しない ※改修標準仕様書 表3.1.1による

⑪ シーリング

種類 ◯表3.7.1 による (3.1.4)
： 上記表によらない箇所、種類 (表3.1.2)

改修標仕表3.7.1によらない箇所	種別

シーリング材の目地寸法 ： 図示による

工種及び工程 (3.1.4)

施工箇所	改修工法	(表3.1.2)
	シーリング充填工法	(3.7.2)
図示による	◯シーリング再充填工法	(3.7.3)
	拡幅シーリング再充填工法	(3.7.4)
	ブリッジ工法	(3.7.5)
	ボンドブレーカー ： ※適用する ・適用しない	(3.7.6)
	エッジング材張り ： ※適用する ・適用しない	(3.7.7)

接着性試験 ： ※行う （※簡易接着性試験 ・引張接着性試験） ・行わない

⑫ 脱気装置

材種及び施工箇所 (3.3.3)

施工箇所	種類	材質		(3.4.3) (3.5.3)
渡り廊下屋根	⊙平面部脱気型	・ポリスチレン樹脂 ・ＡＢＳ樹脂 ⊙ステンレス ・鋳鉄	（ 70 ）m2当り1箇所	
	・立上り部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	（ ）m2当り1箇所	

⑭ とい

材種及び施工箇所 (3.8.2)

材種	施工箇所	(表3.8.1)
⊙配管用鋼管（SGP）	一般	
・硬質塩化ビニル管（VP）		
⊙カラー硬質塩化ビニル管	一般	

鋼管製といの防露は ※表3.8.5 ・図示の箇所 (3.8.3)
・（ ）以外 (表3.8.5)
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量 ：
※規制対象外 ・第三種
掃除口 ： ※有り ・無し
竪樋受け金物の取付 ： ※図示による ・標仕1 3.5.3(d)(2)による

⑮ ルーフドレンの工法

材種及び施工箇所 (3.8.2)

材種	施工箇所	(表3.8.1)
・鋳鉄製		
⊙硬質塩化ビニル製	一般	
・鉛製		

⑯ 保証

アスファルト防水・改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水・FRP防水の保証期間は、引渡しの日から（ ※10年 ・ 年）とする。
塗膜防水については、
（ ・メーカー、防水業者が通常定めている期間 ⊙10年 ）の保証期間とする。
請負者と施工業者の連名の保証書を提出する。

17 ＦＲＰ防水 ＦＲＰ防水 （屋上）

⑱ 施工票

工事完了後に監督職員の指示する場所に取り付ける。

㉗ 外壁改修工事（共通事項）

① 施工数量調査

調査範囲 ： ※外壁改修範囲 ・図示の範囲
調査内容 ： ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。またM既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
調査報告書： ※ ２部（調査図面、写真および数量調書）提出すること。
・ 部（調査図面、写真および数量調書）提出すること。

② 施工箇所の決定

本設計図は、主に開口部からの打診と外観目視の事前調査によるものなので、施工にあたっては、前項の施工数量調査による精査を行い、施工� 所及び数量を監督職員と協議の上、決定する。

③ 改修材料

・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg／ｌ)	接着強さ（N／mm2） 標準時	接着強さ（N／mm2） 温冷繰返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N／mm2)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性（標準）	接着強さ（標準）	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/mm2以上	6.0N/mm2以上	50.0N/mm2以上	30.0N/mm2以上	3.0%以下

a．均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b．対象とする被写体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c．常温・常湿（温度5℃～3.5℃、湿度15%～85%）において製造所の指示する期間又は製造後６ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

⊙エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/mm2 以上	20.0N/mm2 以上	10.0N/mm2 以上

a．こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上りが良好であること。
b．均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c．「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d．形状に異常がなく、だれが生じないこと。
d．常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後６ヶ月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン－酢ビ系等

曲げ強さ (N/mm2)	圧縮強さ (N/mm2)	接着強さ (N/mm2) 標準時	接着強さ (N/mm2) 湿潤時	接着強さ (N/mm2) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態 だれの下り量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

㉗ 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）

1 既存モルタル塗の撤去

・ 行う（ ※ 全面 ・ 図示の範囲 ）

② ひび割れ部改修工法

・ 既存モルタル撤去工法 （範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による）
※ 樹脂注入工法
（ ※ 既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面 ）

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200～300 ・	※ ・	
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50～100	※ 40 ・	
	0.3以上0.5未満	※ 100～200	※ 70 ・	
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0未満	※ 150～250	※ 130 ・	

注入材料 (4.2.2)
※ 建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS S 6024 低粘度形または中粘度形）
・
検査（コア抜取り） ※ 行わない (4.3.4)
・ 行う（抜取り部の補修方法 ： ）

⊙ Uカットシール充填工法 (4.1.4)

充填材料	品質・規格等	備 考
⊙シーリング用材料	※ １成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行わない ・ 行う
・可とう性エポキシ樹脂		

(4.5.7) (4.2.2) (4.3.5)

・ シール工法 (4.1.4)
（ ※ 既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面） (4.2.2)
・ パテ状エポキシ樹脂 (4.4.7)
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 (4.4.2)
（ ※ シール工法の範囲 ・ ） (4.6.3)

③ 欠損部改修工法

既存モルタル面の欠損部 (4.1.4)

改修工法の種類	材 料	品質・規格等
⊙ 充填工法	・ ポリマーセメントモルタル ⊙ エポキシ樹脂モルタル	
・ モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(g)による	塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

(4.4.8) (4.4.9)

既製目地材 ・ 適用する （形状 ※ 図示 ・ ） (4.2.2)

4 浮き部改修工法

・モルタル塗り（洗い出し）仕上げ

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数（本/m2） 一般部	アンカーピンの本数（本/m2） 指定部	注入口の箇所数（箇所/m2） 一般部	注入口の箇所数（箇所/m2） 指定部	充填量 (ml/箇所)	注入量 (ml/箇所)	
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・			※ 25 ・		(4.1.4) (4.4.10) (4.4.11) (4.4.12) (4.4.13)
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・		※ 25 ・	(4.4.14) (4.4.15)
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・		※ 50 ・	表(4.4.3) 表(4.4.4)
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	・	・	※ 25 ・		
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・			
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	・	※ 50 ・	
・充填工法	※ポリマーセメントモルタル ・エポキシ樹脂モルタル						
・モルタル塗替え工法	改修標準仕様書 4.4.9 表4.4.1 による						

・ アンカーピン (4.2.2)
材質 ※ ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
・ 注入口付アンカーピン (4.2.2)
材質 ※ ステンレスＳＵＳ３０４、呼び径外径6mm
・
・ アンカーピン固定用エポキシ樹脂 ： JIS A6024 による硬質・高粘度形
・ 注入用エポキシ樹脂 ： 改修標準仕様書 4.2.2(a) による

㉗ 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）

① 既存タイル張りの撤去

⊙ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲（建具取替え部周囲）
撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ

② ひび割れ部改修工法

改修箇所 ※ 既存タイル張り面 (4.1.4)
⊙ 既存タイル撤去面 （ ⊙ コンクリート面 ・ モルタル面 ） (4.3.4)
※ 樹脂注入工法 (4.5.5)

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200～300 ・	※ ・	
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50～100	※ 40 ・	
	0.3以上0.5未満	※ 100～200	※ 70 ・	
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0未満	※ 150～250 ・	※ 130 ・ ・	

注入材料 (4.2.2)
※ 建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS S 6024 低粘度形または中粘度形）
・
検査（コア抜取り） ※ 行わない (4.3.4)
・ 行う（抜取り部の補修方法 ： ）

③ 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法 (4.1.4)

接着材の種類	品質・規格等
※ ポリマーセメントモルタル	
・ タイル部分張替え工法用接着材	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着材を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』（建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月）」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準（案）」に基づく品質性能試験に適合するタイプＩであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

(4.2.2) (4.5.7)

⊙ タイル張替え工法 (4.1.4)
伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地 (4.5.8)
位置 ※ 改修標仕表4.5.1による ・ 図示 表(4.5.1)

⑤ 目地改修工法

・ 目地ひび割れ部改修工法 (4.1.4)
⊙ 伸縮調整目地改修工法 (4.5.16)
シーリング材料 (3.7.2)
種類 ※ 改修標仕表3.7.1による 表(3.7.1)

⑥ タイル張り仕上げ外壁

・再生材利用タイルの使用 ： ※使用する ・使用しない
⊙タイルの種類 (4.2.2)

形状寸法	きじ	うわぐすり	役物	色	工法
二丁掛けタイル		・施釉・無釉	⊙有 ・無	・標 ⊙特	既存あわせ
×		・施釉・無釉 ・有	・無	・標 ・特	
×		・施釉・無釉 ・有	・無	・標 ・特	

◎ 施工部位は図示による ・ 鋼製建具取替え部周囲

㉗ 外壁改修工事（塗り仕上げ外壁）

① 塗り仕上げ外壁

・種類及び工法 (4.1.4(b))

規格名称	種類（呼び名）	仕上	工法	上塗り材	(4.2.2(j))
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材Ｅ ・	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく	※吹付け ・ローラー		(表4.2.3) (表4.2.4)
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材Ｃ ・外装厚塗材Ｅ ・		※吹付け ・こて		
※複層仕上げ塗材	・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＳ ※複層塗材ＲＥ ・複層塗材Ｓｉ ・防水形 複層塗材Ｅ ・防水形 複層塗材ＲＳ	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つや有り ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ※アクリル ・シリコン系 （可とう形改修用塗材の場合） ・フッ素系	
※可とう形改修用仕上塗材	※可とう形改修塗材Ｅ ・可とう形改修塗材ＲＥ ・可とう形改修塗材ＣＥ	※ゆず肌 ・さざ波	※吹付け ・ローラー		
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用 軽量塗材 ・こて塗用 軽量塗材		・吹付け ・こて塗り		

複層仕上塗材の耐候性 ※１種 （可とう形改修塗材の場合）
・２種
※３種 （可とう形改修塗材以外の場合）

② 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理

除去工法	処理範囲
・サンダー工法 ※高圧水洗工法（30MPa程度以上）（剥離材を使用しない） ・塗膜剥離剤工法 高圧水洗（5～10MPa）洗浄 ⊙水洗い工法 ・高圧水洗工法（10～15MPa）（ケレン清掃作業共）	⊙既存仕上面全体（可とう形改修塗材以外の場合） ※既存仕上面全体（可とう形改修塗材の場合）

(4.6.3)

※水洗い工法は、脆弱アスベスト含有吹付材撤去後に残った活膜を、傷つけないようにすること。

③ 外壁用塗膜防水材仕上

工法 ： ・吹付 ⊙ローラー (4.8.5)
形状 ： ・凹凸状 ・凸部処理 ⊙ゆず肌 ・さざ波

ひび割れ部の処置：⊙下地挙動緩衝材 「アロンウォールSH工法」同等品

ひび割れ幅	補修方法
0.2～0.5mm	アロンコートSHを塗布
0.5～2.0mm	ポリマーセメントモルタルをすり込み、アロンコートSHを塗布

東亜合成（株）アロンウォール同等品

㉘ 塗装改修工事

1 防火材料

※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるもの。 (7.1.3)
・ 次の箇所を除き防火材料とする。
（ ）

② 既存塗膜の除去範囲

各面の下地調整がＲＢ種の場合、既存塗膜の除去範囲は次のとおりとする。 (7.2.1)
・ 塗替え面積の ３０％
※ 劣化部分、脆弱な部分及び鋼面は錆等を除去するものとする。
⊙ 改修範囲のうち、下記塗装範囲の全てとする。

③ 木部塗装 (7章各節)

塗装の種類	塗装箇所	下地調整	塗装種別・回数
⊙合成樹脂調合ペイント塗（ＳＯＰ）	新規（外部）	*RA（不透明）	*A -B
	新規（内部）	*RB（透明）	-A *B
	塗替	-RA *RB -RC	-A *B -C
・クリヤラッカー塗（ＣＬ）	新規	-RA *RB	-A *B
	塗替	-RA *RB -RC	-A *B -C
・フタル酸樹脂エナメル塗（ＦＥ）	新規	-RA *RB	-A *B
	塗替	-RA -RB *RC	-A *B -C
⊙つや有り合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗（ＥＰ－Ｇ）	新規	*RA -RB	*A -B
	塗替	-RA *RB -RC	-A *B -C
・ウレタン樹脂ワニス塗（ＵＣ）	新規・塗替	*RA -RB	-A *B
・オイルステイン塗（ＯＳ）	新規・塗替	汚れ・付着物の除去	＊ ２回
⊙木材保護塗料塗（ＷＰ）	新規（外部）	*RA（不透明）	-A *B
	新規（透明）	*RB（透明）	
・２液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝエナメル塗（２－ＵＥ）	新規（見掛）	*RA	*A
	新規（見隠）		
	塗替	-RA *RB -RC	-A *B -C

④ 鉄鋼面 (7章各節)

塗装の種類	塗装箇所	下地調整	錆止種別	錆止塗り	塗装種別
⊙合成樹脂調合ペイント塗（ＳＯＰ）	新規（見掛）	-RA -RB	・屋内外共A *屋内B屋外A	*A -B -C	-A *B
	新規（見隠）			-A *B -C	
	塗替	-RA *RB -RC		-A -B *C	-A *B -C
・フタル酸樹脂エナメル塗（ＦＥ）	新規（見掛）	-RA *RB -RC	・屋内外共A *屋内B屋外A	-A -B *C	-A *B
	塗替	-RA *RB -RC		-A -B *C	-A *B -C
・２液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝエナメル塗（２－ＵＥ）	新規（見掛）	*RA	—	—	*A
	新規（見隠）				
	塗替	-RA *RB -RC			-A *B -C

⊙鋼製建具面 (7章各節)

塗装の種類	塗装箇所	下地調整	錆止種別	錆止塗り	塗装種別
⊙合成樹脂調合ペイント塗（ＳＯＰ）	新規（見掛）	*RA -RB	・屋内外共A *屋内B屋外A	-A *B -C	-A *B
	新規（見隠）				
	塗替	-RA *RB -RC		-A -B *C	-A *B -C
・２液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝエナメル塗（２－ＵＥ）	新規（見掛）	*RA			*A
	新規（見隠）				
	塗替	-RA *RB -RC	・屋外 B	-A -B *C	-A *B -C
	新規（見掛）	—	*C	*A -B -C	-A *B
	新規（見隠）			-A *B -C	
	塗替	*RC		-A -B *C	-A *B -C

⑤ モルタル及びプラスター面の塗装 (7章各節)

塗装の種類	塗装箇所	下地調整	種別（塗回数）
・ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料（ＮＡＤ）	全て	-RA *RB	-A *B -C
・アクリル樹脂エナメル塗（ＡＥ）	新規（見掛）	-RA *RB	-A *B
	新規（見隠）		-A *B
	塗替	-RA *RB -RC	-A *B -C
⊙つや有り合成樹脂エマルションペイント塗（ＥＰ－Ｇ）（水系塗料）	新規（見掛）	-RA *RB	-A *B
	新規（見隠）		-A *B
	塗替	-RA *RB -RC	-A *B -C
・合成樹脂エマルションペイント塗（ＥＰ）	新規（見掛）	-RA *RB	-A *B
	新規（見隠）		-A *B
	塗替	-RA *RB -RC	-A *B -C

⑥ コンクリート及びＡＬＣパネルの塗装 (7章各節)

塗装の種類	塗装箇所	下地調整	種別（塗回数）
・アクリル樹脂系非水分散形塗料（ＮＡＤ）	屋内	-RA *RB	-A *B -C
・耐候性塗料塗（ＤＰ）	屋外	-RA *RB -RC	-A-1 -B-1 -C-1
		-RA -RB *RC	-A-2 -B-2 -C-2
⊙つや有り合成樹脂エマルションペイント塗（ＥＰ－Ｇ）	新規	-RA *RB	-A *B
	塗替	-RA *RB -RC	-A *B -C
・合成樹脂エマルションペイント塗（ＥＰ）	新規	-RA *RB	-A *B
	塗替	-RA *RB	-A *B -C

⑦ せっこうボード及びその他ボードの塗装 (7章各節)

塗装の種類	塗装箇所	下地調整	種別（塗回数）
⊙つや有り合成樹脂エマルションペイント塗（ＥＰ－Ｇ）	新規	-RA *RB	-A *B
	塗替	-RA *RB -RC	-A *B -C
⊙合成樹脂エマルションペイント塗（ＥＰ）	新規	-RA *RB	-A *B
	塗替	-RA ⊙*RB	-A ⊙*B -C
・合成樹脂エマルション模様塗料塗（ＥＰ－Ｔ）	屋内新規	-RA *RB	-A *B
	屋内塗替	-RA *RB -RC	*A -B -C
・アクリル樹脂系非水分散形塗料（ＮＡＤ）	~~屋内~~	~~-RA *RB~~	~~-A *B -C~~

工　事　区　分　表

下記の項目は ◯ 印部分を区分して施工する。但し図面その他に特記のあるものは、それに従う。

Ｎｏ	工　事　項　目	建築	機械	電気			別途	備　考
１	躯体貫通スリーブ入・箱入							
２	躯体貫通孔・箱入れ部の施工後の孔埋め							
３	設備用躯体貫通の補強筋及び開口部補強筋							補強数量表による
４	地下消火水槽、蓄熱槽などの躯体内外防水仕上、マンホール、タラップ並びに連通管							
(５)	点検口の製作取付（床、壁、天井）	○						
(６)	吹出口、吸込口、照明器具及びスピーカー等の埋込器具取付のための墨出し		○	○				
(７)	吹出口、吸込口、照明器具及びスピーカー等の埋込器具取付のための孔開・補強	○						補強数量表による
(８)	建物外壁に取付く給・排気ガラリの製作取付	○	○					レジスターは建築工事
(９)	建具ガラリの製作取付	○						建具表による
(１０)	機械・機器類の基礎		○	○				図示による
(１１)	機器用アンカーボルト		○	○				
(１２)	受水槽・高架水槽・キュービクル		○	○				
１３	受水槽・高架水槽用基礎	○						
１４	オイルタンク							
１５	同上基礎及び躯体							図示による
１６	サービスタンク用防油堤							
１７	グリストラップ							
(１８)	既製品流し・ガス台・吊戸棚・水切り棚	○						
１９	便所廻りの手すり							
(２０)	換気扇		○					
(２１)	同上取付枠		○					
(２２)	天井扇・ダクト・ガラリ・ベントキャップ		○					
(２３)	フードの製作・取付		○					
(２４)	空調自動制御盤及び機器の取付・配管配線・調整		○					
(２５)	同上の一次側配管配線工事			○				
(２６)	防煙シャッターの一次側配管配線			○				
(２７)	防煙シャッターの二次側配管配線・調整			○				
(２８)	同上煙感知器・連動装置・制御盤			○				
(２９)	防火扉の一次側配管配線			○				
(３０)	防火扉の二次側配管配線・調整、開放装置			○				
(３１)	同上煙感知器・連動装置・制御盤			○				
(３２)	煙感知器連動のダンパーのレリーズ（防煙シャッター用）			○				
(３３)	同上用の感知器及び配管配線			○				
(３４)	同上用非常電源装置			○				
３５	自動ドアの取付及び調整・検査スイッチ、駆動装置二次側配線							
３６	同上一次側配管配線							
(３７)	液面電極棒の取付及び調整			○				
３８	受水槽（ポンプ室）一次側配管配線							
３９	同上二次側配管配線・調整							
(４０)	便所用及び給湯設備の一次側配管配線			○				
(４１)	同上二次側配管配線・調整		○					
４２	合併処理槽の躯体・モルタル仕上・マンホール・チェッカープレート							
４３	同上内部装置・機械配管及び二次側配管配線							
４４	同上一次側配管配線							
４５	手洗いカウンター							

Ｎｏ	工　事　項　目	建築	機械	電気			別途	備　考
４６	洗面カウンター用洗面器							
(４７)	消火ポンプユニット一次側配管配線			○				
(４８)	消火ポンプユニット・二次側配管配線・調整			○				
(４９)	照明器具・配管・ライティングダクト等吊ボルト用インサート			○				
(５０)	ダクト・給排水管等吊りボルト用インサート		○					
５１	厨房器具							
５２	同上接続配管・電源接続工事							
(５３)	実験台、調理台	○						
(５４)	同上接続配管・電源接続工事		○	○				
５５	設置機器取付用ＡＬＣ版等の孔明け及び補強							
(５６)	消火器	○						変電設備・ＥＶ機械室については、各工事に含む
(５７)	ルーフドレイン	○						
(５８)	汚水・雑排水の会所桝・排水管		○					
５９	ユニットバス本体及び据え付け（ユニットシャワー含む）							
(６０)	洗濯機パン							
６１	上水道引込工事							加入金別途
６２	下水道引込工事（公桝設置）							既存引込管流用
６３	都市ガス引込工事							敷地内は本工事とし、市道部は別途工事
６４	洗面化粧台							
６５	ユニットシャワー用シャワーバス水栓							US付属品
６６	ユニットシャワー用排水管接続							
(６７)	外構フェンス及び基礎	○						
(６８)	雨水排水の会所桝・排水管	○						
(６９)	ヒートポンプエアコン機器		○					
(７０)	同上冷媒配管及びドレン管		○					
(７１)	同上一次側配管配線			○				
(７２)	同上二次側配管配線		○					
(７３)	同上室外機基礎・架台（Ｈ）	○						図示による
７４	昇降機の一次側配管配線							
７５	昇降機の出入口・三方枠・カゴ内インターホン取付・制御盤・二次側配管配線							
７６	昇降機のインターホン用配線							
７７	昇降機のインターホン用配管（シャフト内）							
７８	昇降機のインターホン用配管（シャフト外）							
７９	監視室等のインターホン取付調整							
８０	昇降機用油配管工事							
８１	同上用床ピット							
８２	昇降機機械室防油堤							
８３	昇降機ピット内点検用コンセント							
８４	昇降路・ピットモルタル防水仕上げ							
８５	昇降機機械室内ホイスティングフック							
８６	昇降機各出入口・インジケーター押ボタン等の孔明工事							
８７	昇降機機械室床シンダーコンクリート打設及び防塵塗装							
８８	昇降機機械室内換気扇・サーモスタットの取付							
(８９)	竣工時までの工事用及び調整用電気・水道・ガス等基本料、使用料	○	○	○				
(９０)	電動シャッター　１次側			○				
(９１)	電動シャッター　２次側			○				
(９２)	防火上主要な間仕切壁の既設開口部の穴埋め措置	○						
(９３)	防火上主要な間仕切壁の既設開口部の配管撤去後の防火区画措置		○	○				

設　備　用　の　開　口　補　強　数　量　表

１．設備用躯体貫通補強筋及び開口補強筋

１）梁貫通補強筋（貫通孔Ｄ／３以下、梁巾＝４００以下の場合、Ｄは梁せい）

貫通内径（φ）		数　量	備　考
100＜H≦200	φ125		
	φ150		
	φ200		
200＜H≦300			
300＜H≦400			

※貫通内径１００φ未満の時は補強を必要としない　　H：貫通内径mm

２）スラブ開口補強筋

開口面積（ｍ２）		数　量	備　考
Ａ≦　0.3			
0.3　＜Ａ≦　1.0			

※スラブ筋を切断しない場合は補強を必要としない。　　Ａ：開口面積ｍ２

３）壁開口補強

開口面積（ｍ２）	数　量	備　考

※壁筋を切断しない場合は補強を必要としない。

２．設備用下地材開口補強

１）壁開口補強　軽量鉄骨下地、木軸等

開口寸法（mm）	数　量	備　考
1040　×　1370H	3	機械（屋内消火栓）　HB-2

２）天井開口補強

開口寸法（mm）	数　量	備　考	開口寸法（mm）	数　量	備　考
315 X 315	5	機械（F24-1,F-1）			
260 X 260	3	機械（F24-2,F-2）			
φ100	2	機械（OAG-1）			
φ150	4	機械（OAG-2）			
φ200	2	機械（OAG-3）			
φ160	38	電気（埋込スピーカー）			
1235 X 220	26	電気照明（J-7W）			
450 X 450	10	電気照明（J-7W）			
φ150	4	電気照明（J-7W）			

特記事項

１．設備用の開口補強数量は設計上の必要数量であり、施工上必要個所と相違ある場合には監督職員の指示により、数量が増減するも工事金額内で処理する。

付近見取図　1：1250

訂	月 日	月 日	月 日
正			

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. - - -

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)

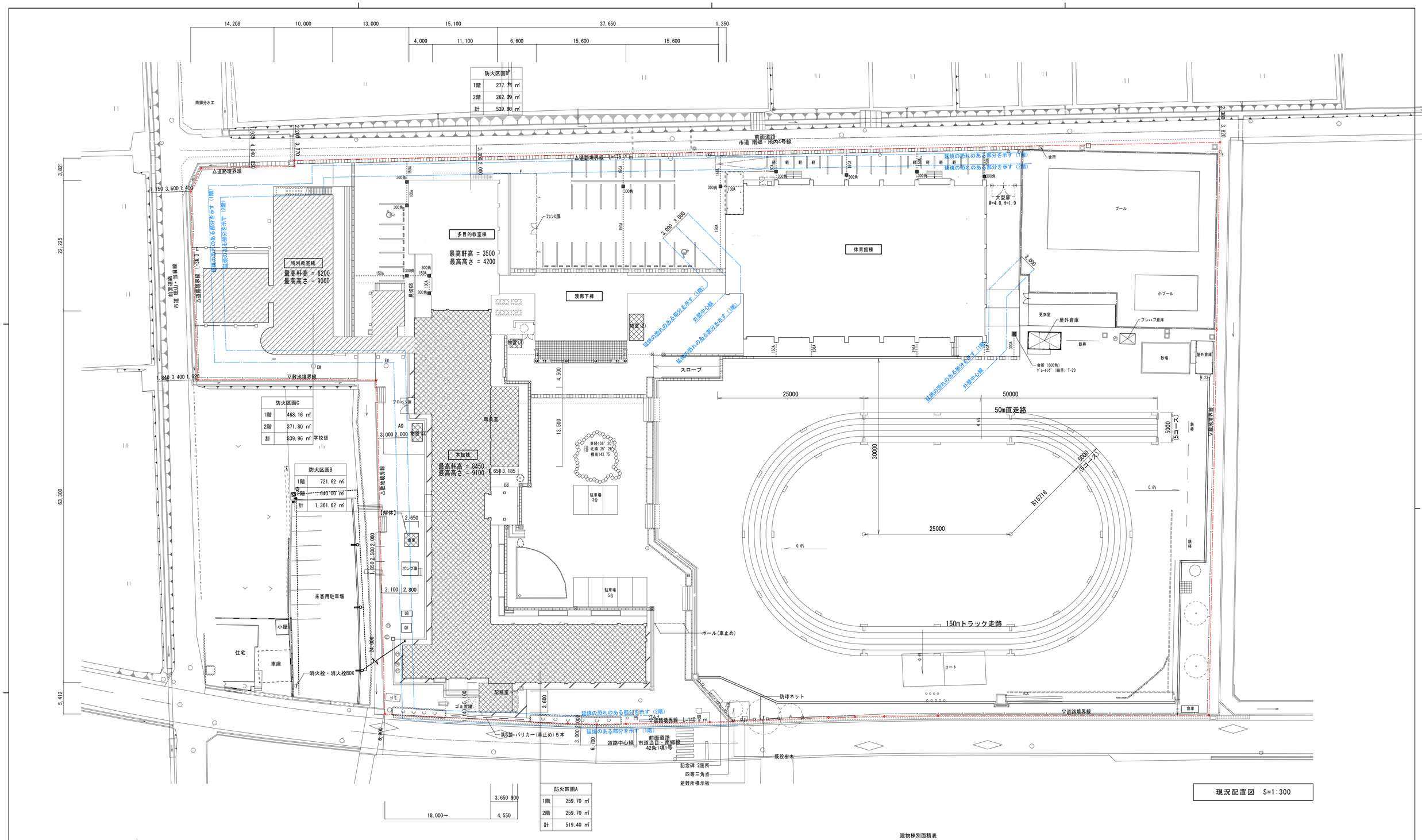
DATE

付近見取図

SCALE 1:1250(A1) 1:2500(A3)

A

No. 6/123



現況配置図 S=1:300

建物棟別面積表

名称	棟名	建築面積［㎡］	1階床面積［㎡］	2階床面積［㎡］	延床面積［㎡］
		既設	既設	既設	既設
①	多目的教室棟	307.21	277.74	262.09	539.83
	渡廊下棟	303.00	248.40		248.40
	職員室	65.27	62.37		62.37
	配膳室	31.42	31.42		31.42
	本館棟	975.95	948.45	899.70	1,848.15
	特別教室棟	392.75	379.75	371.80	751.55
	連絡通路棟	90.66	88.41		88.41
計		2,166.26	2,036.54	1,533.59	3,570.13

凡 例

	本工事の範囲を示す (本館棟の長寿命化改修工事の範囲)
	本工事の範囲を示す (特別教室棟の外壁等改修工事範囲)

現況

訂正	月 日	月 日	月 日

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. - - -

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)

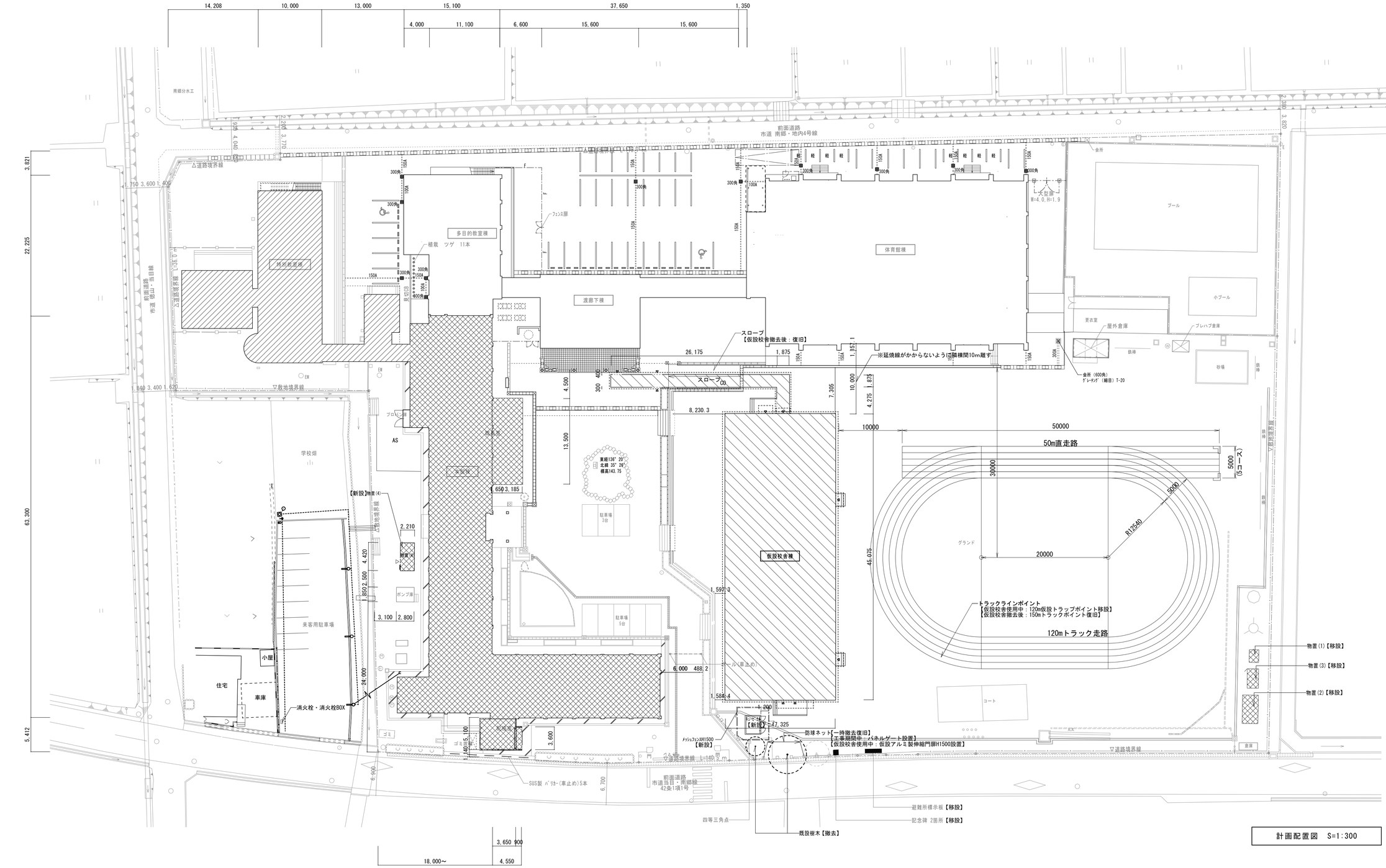
DATE

現況配置図

SCALE 1:300(A1) 1:600(A3)

A

No. 7 / 123



計画配置図　S=1:300

特記事項

- 敷地内は禁煙とする
- 外部足場設置及び撤去は、原則として学校長期休暇期間等授業のない日とし学校と協議すること
- 工事車両の通行は原則登下校時は行わない
- 物置(1)(2)(3)設置に係る計画通知書申請手続き、及び都市計画法施行規則第60条証明申請等手続き、並びに完了時の申請手続き等、一切を本工事で行うこととする
- 物置(4)設置についても同様に本工事内において申請を行うこととする

凡　例	
▨	本工事の範囲を示す（本館棟の長寿命化改修工事の範囲）
▨	本工事の範囲を示す（特別教室棟の外壁等改修工事範囲）
▨	別途工事の範囲を示す（新築仮設校舎リース工事の範囲）

	月　.日		月　.日		月　.日	
DT	.		.		.	
	.		.		.	
正	.		.		.	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.　－　－　－

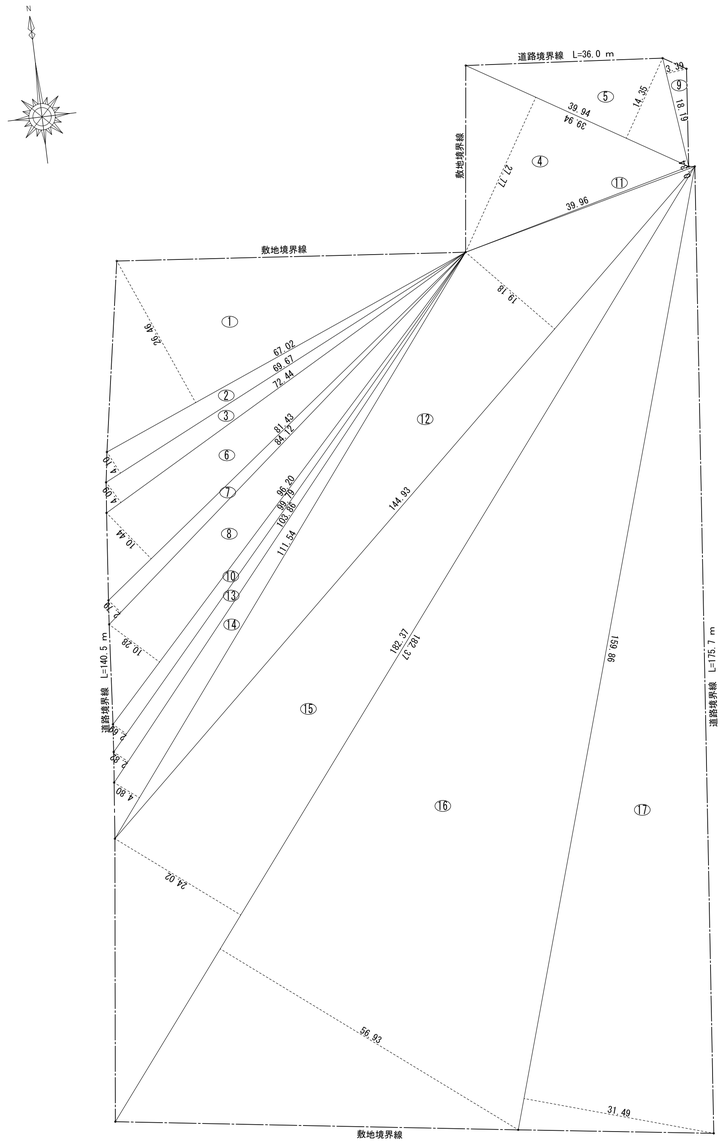
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE . .

計画配置図

SCALE 1:300(A1)　1:600(A3)

A

No. 8 / 123



● 敷地求積表

番号	底　　辺	高　　さ	倍　　面　　積	面　　積
1	67.02	26.46	1,773.3492	886.67460
2	69.67	4.10	285.6470	142.82350
3	72.44	4.09	296.2796	148.13980
4	39.94	27.77	1,109.1338	554.56690
5	39.94	14.35	573.1390	286.56950
6	81.43	10.44	850.1292	425.06460
7	84.12	2.79	234.6948	117.34740
8	96.20	10.28	988.9360	494.46800
9	18.19	3.39	61.6641	30.83205
10	99.79	2.69	268.4351	134.21755
11	39.96	0.34	13.5864	6.79320
12	144.93	19.18	2,779.7574	1,389.87870
13	103.86	2.82	292.8852	146.44260
14	111.54	4.80	535.3920	267.69600
15	182.37	24.02	4,380.5274	2,190.26370
16	182.37	56.93	10,382.3241	5,191.16205
17	159.86	31.49	5,033.9914	2,516.99570
合　　計				14,929.93585
敷 地 面 積				14,929.93 m2

敷地求積図　1：500

	月　.日		月　.日		月　.日	
BT	.		.		.	
	.		.		.	
正	.		.		.	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

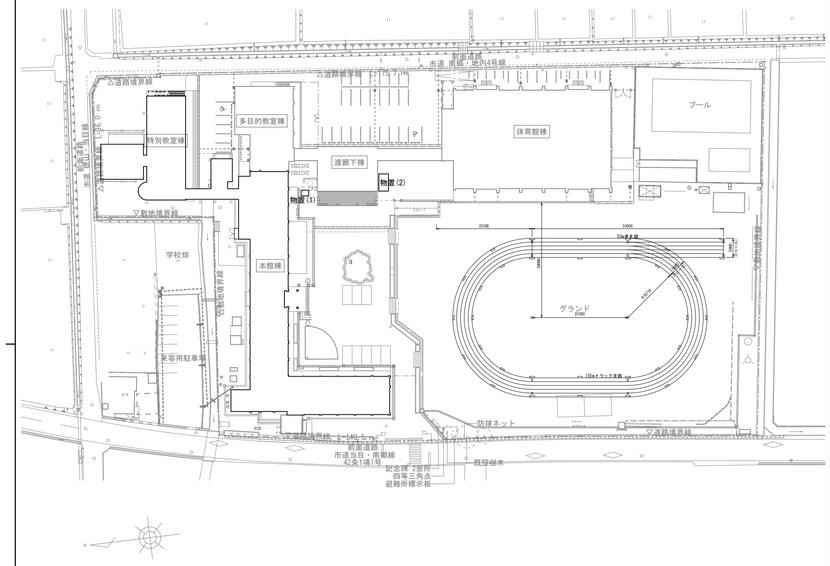
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No.　－　－　－

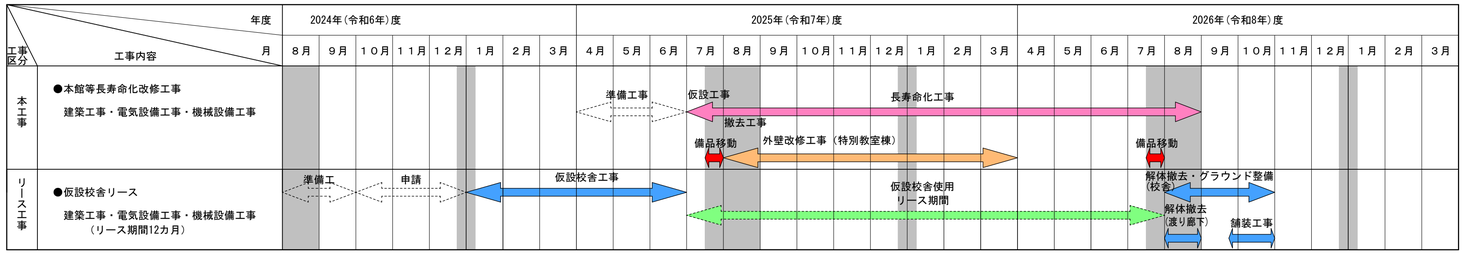
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（建築）
DATE　.　.

	SCALE	A
敷地求積図	1:500(A1)　1:1000(A3)	No. 9 / 123
面積表	1:――(A1)　1:――(A3)	

ローテーション図０（現況図）

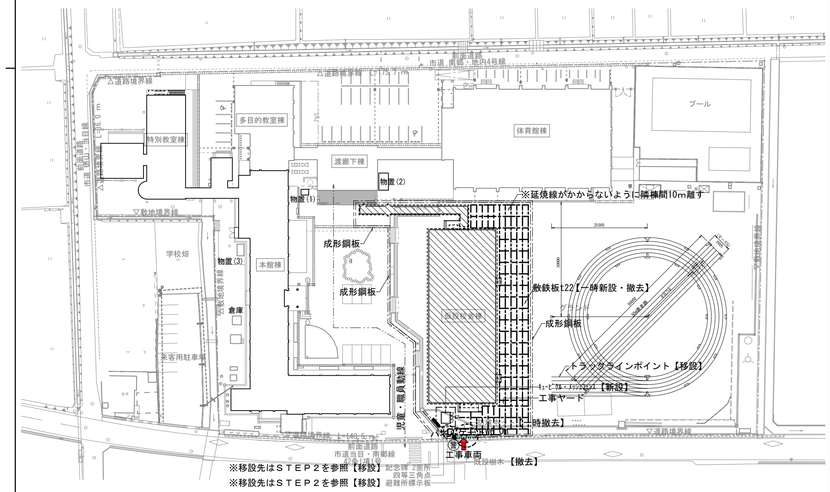


■参考工程表



ローテーション図１

（仮設校舎工事）
ＳＴＥＰ１　Ｒ７．１～６



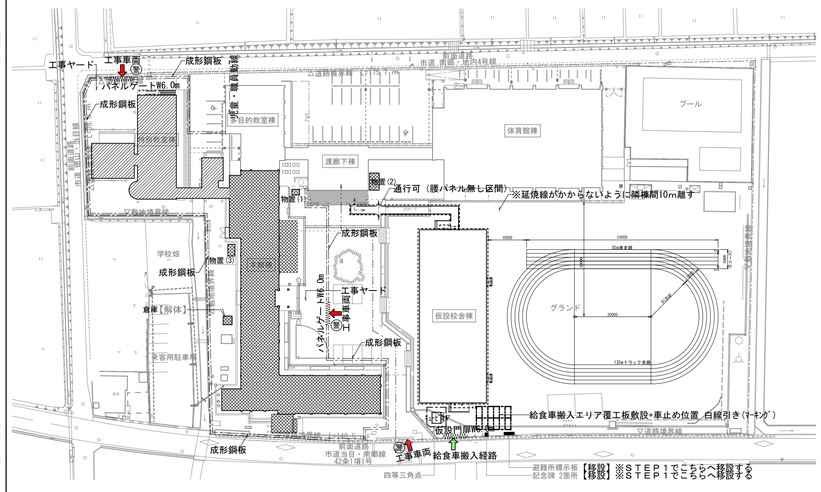
凡　例
工事車両進入口を示す
仮囲い　成形鋼板 H2.0mを示す
パネルゲート W6.0mを示す
児童・職員動線を示す
交通整理員を示す

ＳＴＥＰ１
Ｒ７．１～７
※仮設校舎建設工事
※校舎は通常使用

凡　例
新築仮設校舎リース工事を示す 【別途仮設校舎リース工事】

ローテーション図２

（長寿命化工事）
ＳＴＥＰ２　Ｒ７．７～８．８



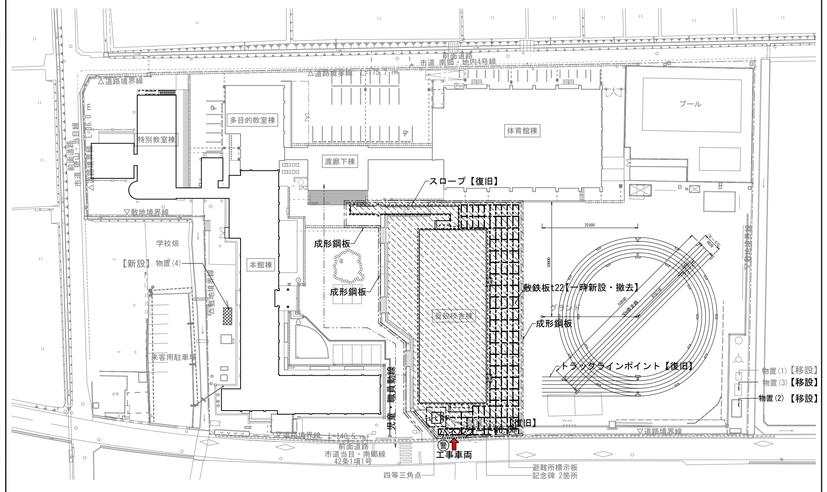
凡　例
工事車両進入口を示す
給食車両進入口を示す
仮囲い　成形鋼板 H2.0mを示す
パネルゲート W6.0mを示す
仮設校門 W6.0mを示す
児童・職員動線を示す
交通整理員を示す

ＳＴＥＰ２
Ｒ７．７～８．７
※仮設校舎使用
※校舎は改修工事

凡　例
本館棟の長寿命化改修工事の範囲を示す
特別教室棟の外壁等改修工事範囲を示す

ローテーション図３

（仮設解体復旧工事）
ＳＴＥＰ３　Ｒ８．８～１０



凡　例
工事車両進入口を示す
仮囲い　成形鋼板 H2.0mを示す
パネルゲート W6.0mを示す
児童・職員動線を示す
交通整理員を示す

ＳＴＥＰ３
Ｒ８．８～１０
※仮設校舎解体撤去工事
※ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ整備復旧

凡　例
仮設校舎　撤去工事を示す グランド・外構復旧 【別途仮設校舎リース工事】

※仮設校舎範囲については、仮設校舎解体撤去後現状ライン引き・真砂土（購入土）復旧とする。
【別途仮設校舎リース工事】

訂正	月	日	月	日	月	日

建築事務所 BCY'S
株式会社　ビルディング・コンサルタントワイズ

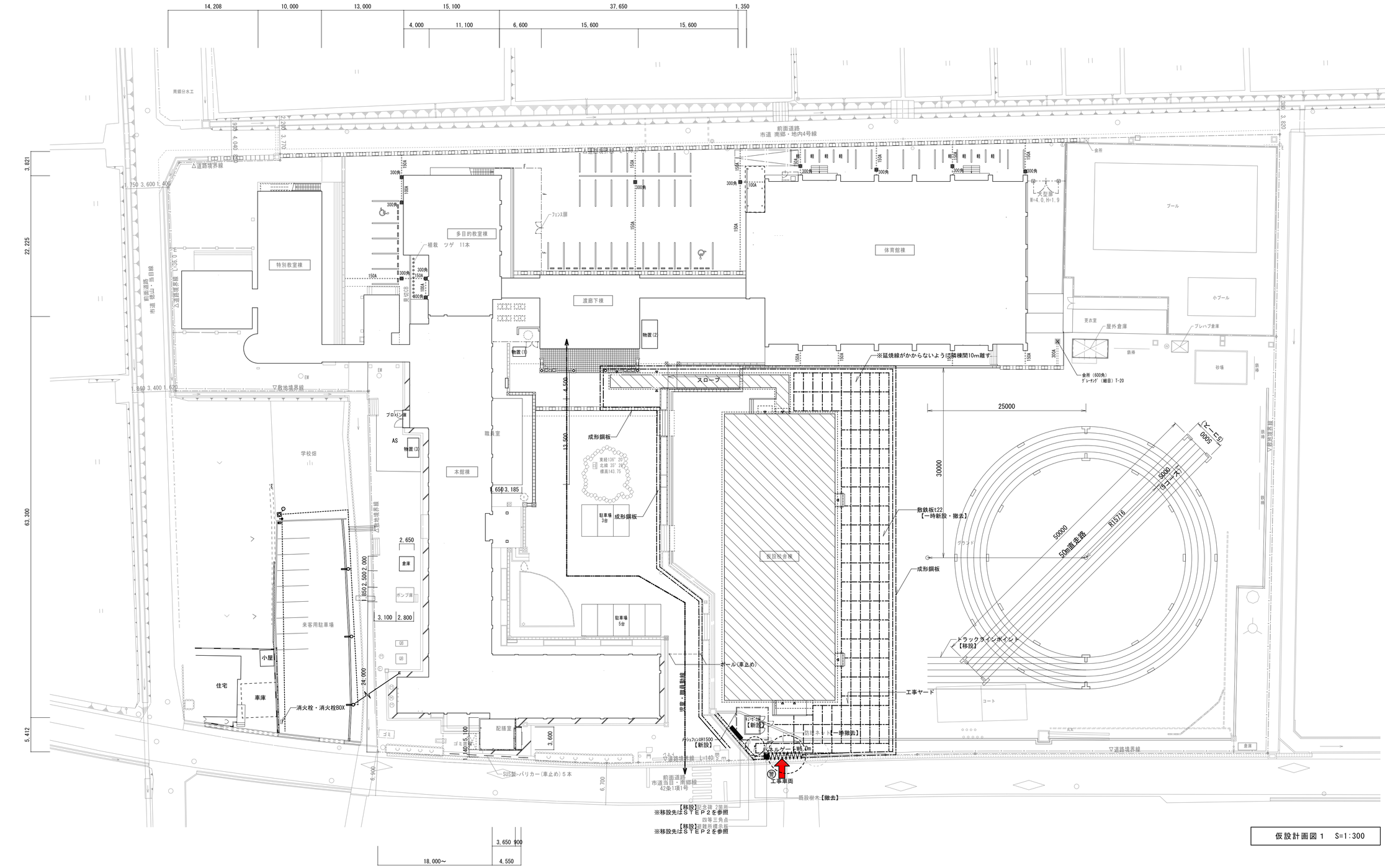
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No.

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（建築）

DATE

工事ローテーション図	SCALE	1：800(A1)	A
参考工程表		1：1600(A3)	No. 10/123



仮設計画図１　S=1:300

N

凡　例	
	工事車両進入口を示す
	仮囲い　成形鋼板 H2.0mを示す
	パネルゲートW6.0mを示す
	児童・職員動線を示す
警	交通整理員を示す

ＳＴＥＰ１
Ｒ７．１～７
※仮設校舎建設工事
※校舎は通常使用

凡　例	
	新築仮設校舎リース工事を示す 【別途仮設校舎リース工事】

訂	月 .日		月 .日		月 .日	
正	.		.		.	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. - - -

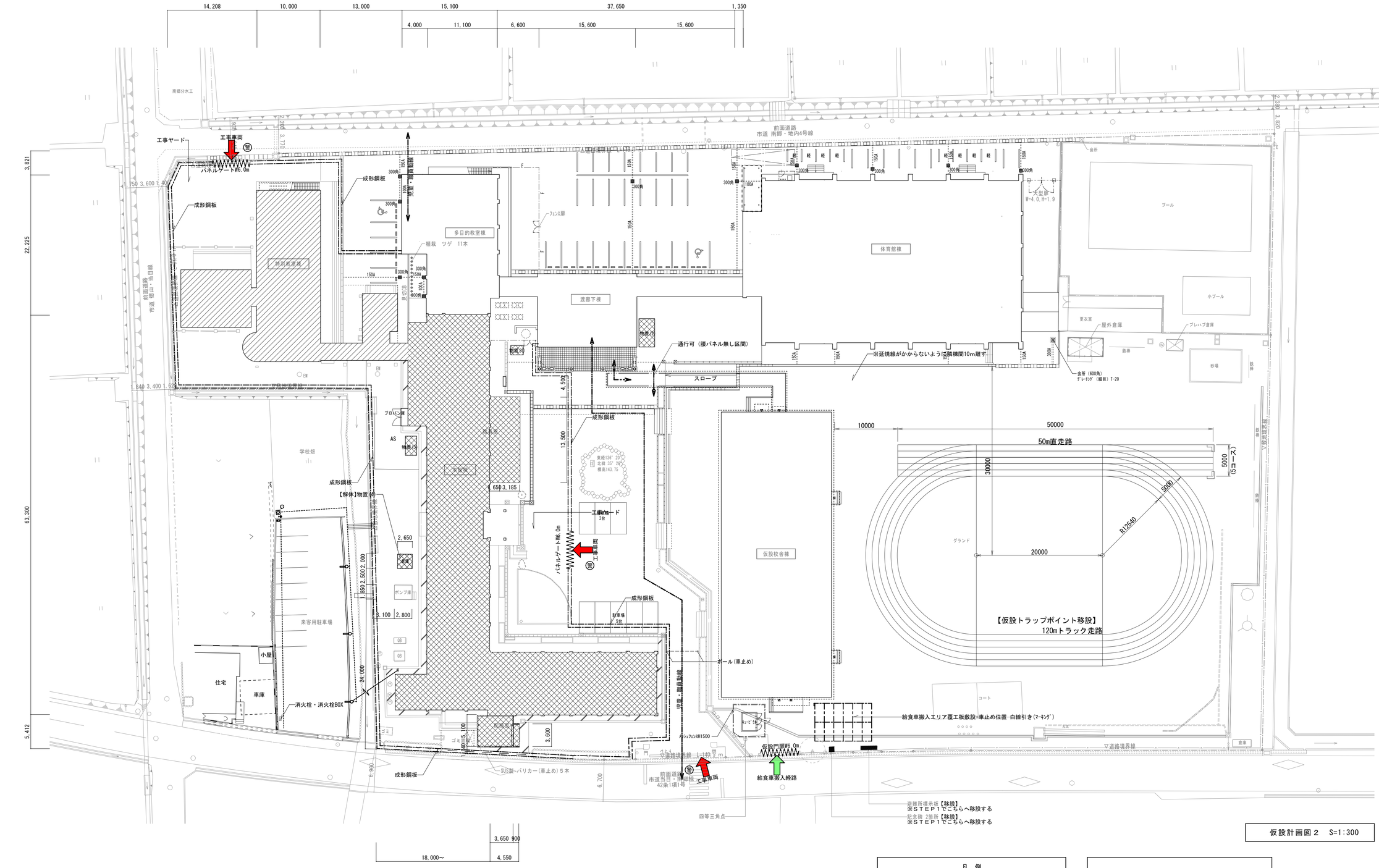
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE . .

仮設計画図-1
(仮設関連工事) ＳＴＥＰ１

SCALE 1:300(A1) 1:600(A3)

A

No. 11/123



仮設計画図２　S=1:300

凡　例	
	工事車両進入口を示す
	給食車両進入口を示す
	仮囲い　成形鋼板 H2.0mを示す
	パネルゲートW6.0mを示す
	仮設校門 W6.0mを示す
	児童・職員動線を示す
警	交通整理員を示す

ＳＴＥＰ２
Ｒ７．７～８．７
※仮設校舎使用
※校舎は改修工事

凡　例	
	本館棟の長寿命化改修工事の範囲を示す
	特別教室棟の外壁等改修工事範囲を示す

訂正	月 .日	月 .日	月 .日
	.	.	.
	.	.	.
	.	.	.

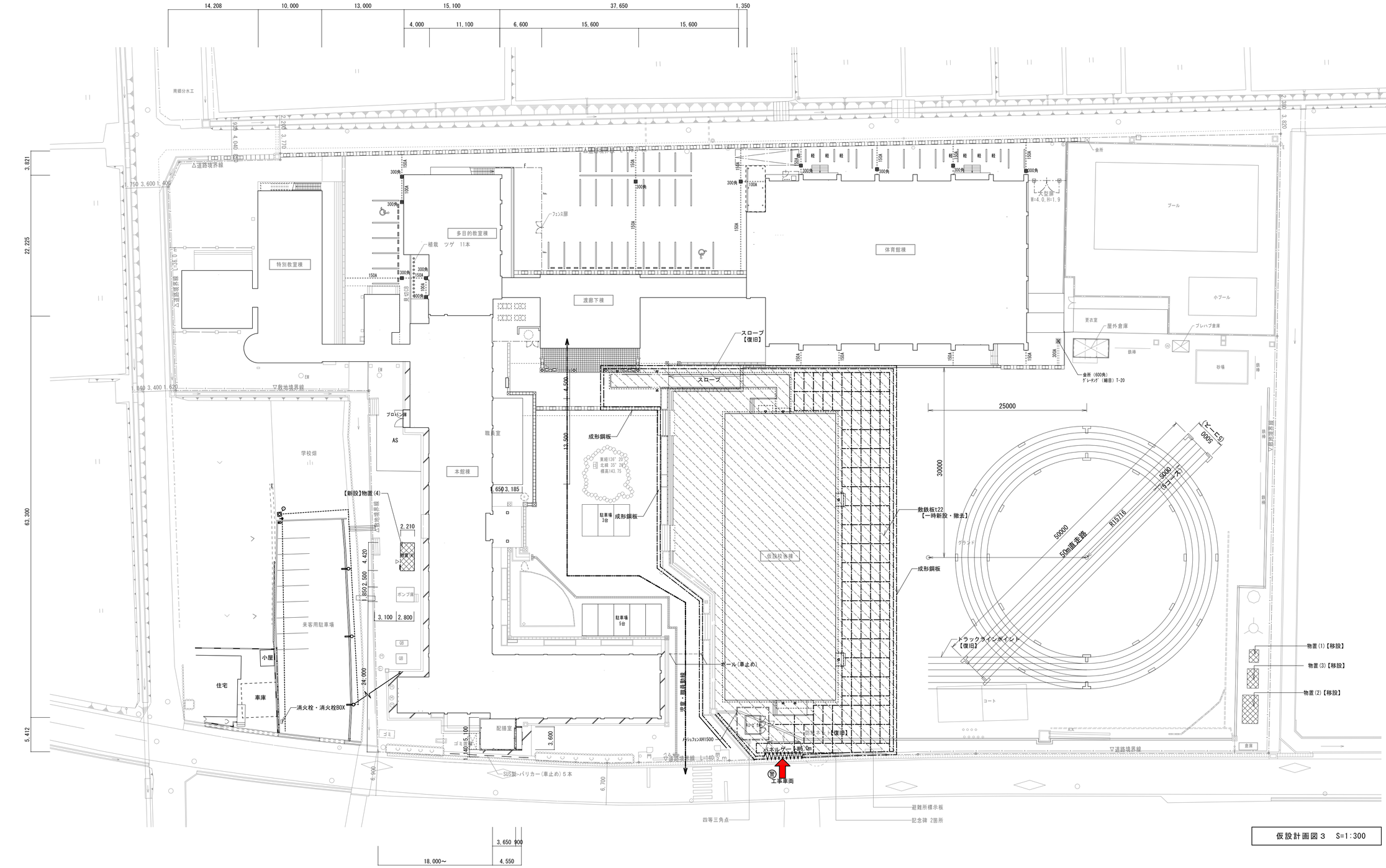
建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. - - -

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE . .

仮設計画図-2
（長寿命化工事）ＳＴＥＰ２

SCALE 1:300(A1) 1:600(A3)
A
No. 12/123



仮設計画図３　S=1:300

凡　例	
	工事車両進入口を示す
	仮囲い　成形鋼板 H2.0mを示す
	パネルゲートW6.0mを示す
	児童・職員動線を示す
警	交通整理員を示す

STEP３
R８．８～１０
※仮設校舎解体撤去工事
※ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ整備復旧

凡　例	
	仮設校舎　撤去工事を示す グランド・外構復旧 【別途仮設校舎リース工事】
	本館棟の長寿命化改修工事の範囲を示す

※仮設校舎範囲については、仮設校舎解体撤去後現状ライン引き・真砂土（購入土）復旧とする。
【別途仮設校舎リース工事】

訂	月　.日	月　.日	月　.日
正	. .	. .	. .

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. － － －

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（建築）
DATE . .

仮設計画図-３
（仮設解体復旧工事）　ＳＴＥＰ３

SCALE 1:300(A1)　1:600(A3)
A
No. 13/123

本館棟 ■ 外部仕上表

※特記なき「吹付ﾀｲﾙ」は「ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系外壁防水材吹付」を示す。

床

部位	区分	仕上	
玄関ポーチ 西面庇	既設	磁器質100角タイル貼 下地MO共	撤去
	改修	磁器質150角タイル貼 下地MO共	新設
テラス	既設	100角レンガタイル貼 下地MO共 一部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共	撤去
	改修	磁器質100角タイル貼 下地MO共 一部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共	新設
職員室ポーチ	既設	100角タイル貼 下地MO	既設のまま
	改修	100角タイル貼 下地MO	清掃
配膳室キャノピー	既設	コンクリート下地モルタル金こて押え 下地MO	既設のまま
	改修	コンクリート下地モルタル金こて押え 下地MO	清掃
	既設		
	改修		
	既設		
	改修		
	既設		
	改修		

巾木

部位	区分	仕上	
巾木 (一般)	既設	MOコテ押えの上 撥水剤塗布	既設のまま
	改修	既設劣化部下地処理の上 撥水剤塗布 (劣化部：ひび割れ・浮き・露筋部分)	新設
巾木 (職員室)(職員室ポーチ)	既設	コンクリート 吹付タイル	既設のまま
	改修	既設劣化部下地処理の上 撥水剤塗布 (劣化部：ひび割れ・浮き・露筋部分)	新設
巾木 (配膳室)	既設	コンクリート打放し	既設のまま
	改修	既設劣化部下地処理の上 撥水剤塗布 (劣化部：ひび割れ・浮き・露筋部分)	新設
巾木劣化補修数量		※劣化部：ひび割れ・浮き・露筋部分数量 1. ひび割れ (1.0mm以下)： 17.49 m 2. ひび割れ (1.0mm以上)： ― m 3. モルタル浮補修： ― ㎡ 4. 露筋欠損補修： ― ㎡	

外部シーリング

外部シーリング	※外部周りの誘発目地・打継目地・巾木目地・建具周囲等ｼｰﾘﾝｸﾞは全て既設撤去・打ち替えとする。

外壁

部位	区分	仕上	
外壁 (柱、腰壁、ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ共)	既設	MO刷毛引きアクリルリシン吹付 ★ カチオン系樹脂MOコテ押えの上、アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材吹付	既設のまま
	改修	既設劣化部下地処理の上 アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材ローラー塗	新設
外壁 (玄関ポーチ柱)	既設	大理石貼	既設のまま
	改修	大理石貼	清掃
外壁 (職員室)(職員室ポーチ)	既設	ALC t120(一部デザインパネル t150) 吹付タイル	既設のまま
	改修	既設劣化部下地処理の上 アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材ローラー塗	新設
外壁 (配膳室)	既設	ALC t100 吹付タイル	既設のまま
	改修	既設劣化部下地処理の上 アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材ローラー塗	新設
外壁劣化補修数量	RC	※劣化部：ひび割れ・浮き・露筋部分数量 1. ひび割れ (1.0mm以下)： 237.06 m 2. ひび割れ (1.0mm以上)： ― m 3. モルタル浮補修： 40.08 ㎡ 4. 露筋欠損補修： 0.082 ㎡ 5. ｾﾊﾟ穴欠損補修 10.00 ヶ所	
	ALC	1. クラック補修： ― m 2. 欠損補修： 0.007 ㎡	
		※外壁については劣化部の数量調査を事前に行い、施工範囲について監理者承諾を得ること。 ※外壁のひび割れ・欠損等劣化部は補修を行い中性化を抑制する。	

軒天

部位	区分	仕上	
軒天① (屋根①一般)	既設	カチオン系樹脂MOコテ押えの上、アクリルリシン吹付	既設のまま
	改修	既設劣化部下地処理の上 アクリルリシン吹付 (劣化部：ひび割れ・浮き・露筋部分)	新設
軒天② (玄関ポーチ)	既設	カラーアルミスパンドレルリブ付 t1.1 LGS下地共	撤去
	改修	カラーアルミスパンドレルリブ付 t1.1 LGS下地共	新設
軒天③ (職員室ポーチ)(配膳室)	既設	LB t6 底目地張 EP塗 LGS下地共	撤去
	改修	LB t6 底目地張 EP塗 LGS下地共	新設
庇 (庇裏)	既設	カチオン系樹脂MOコテ押えの上、アクリルリシン吹付	既設のまま
	改修	既設劣化部下地処理の上 アクリルリシン吹付 (劣化部：ひび割れ・浮き・露筋部分)	新設
軒天補修数量	RC	1. ひび割れ (1.0mm以下)：全体の25% 57.50 m 2. ひび割れ (1.0mm以上)：全体の10% ― m 3. 露筋欠損補修：全体の10% 23.00 ㎡	

屋根

部位	区分	仕上	
屋根① (一般)	既設	ルーフデッキの上、 ルーフデッキ：撤去 フッ素樹脂塗装鋼板 t0.6 改修重ねルーフ88型 裏貼ペフ t4 【カバー工法】鉄骨下地・ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎共	撤去
		パラペット笠木：笠木 SUS t1.5(補強下地)	撤去
	改修	平場・立上り:下地処理及び不陸整正の上 塩ﾋﾞｼｰﾄ防水S-M2 t=1.5遮熱ｼｰﾄ(機械式固定工法) 立上り:ｱﾙﾐ金物押(L40×10×1.2)	新設
		パラペット笠木：笠木 SUS t1.5(補強下地)	新設
屋根② ②-1 (玄関ポーチ) ②-2 (西面庇)(便所(1)(2))(職員便所)	既設	ゴムアスファルト防水(脱気筒×1箇所)	撤去
		②-1パラペット：カラーアルミスパンドレル t1.1 笠木：ステンレス t1.5 ヘアライン仕上	撤去
		②-2笠木：ウレタン塗膜防水X-2	撤去
	改修	平場・立上り:下地処理の上 塩ﾋﾞｼｰﾄ防水S-M2 t=1.5遮熱ｼｰﾄ(機械式固定工法)立上り:ｱﾙﾐ金物押(L40×10×1.2)	新設
		②-1パラペット：カラーアルミスパンドレル t1.1 笠木：ステンレス t1.5 ヘアライン仕上 ②-2笠木：下地処理の上、ウレタン塗膜防水X-2	新設
屋根③ (職員室)	既設	ALC t125の上、アスファルト防水(D-1) 笠木：アルミ既製品デザイン笠木 W225	撤去 笠木：撤去
	改修	平場・立上り:下地処理の上 塩ﾋﾞｼｰﾄ防水S-M2 t=1.5遮熱ｼｰﾄ(機械式固定工法)立上り:ｱﾙﾐ金物押(L40×10×1.2) 笠木：アルミ既製品デザイン笠木 W225	新設 笠木：新設
屋根④ (配膳室)	既設	ハゼ式折板カラーガルバリウム鋼板 t0.6 H90 裏面不燃断熱材(ガラス繊維) t5.0貼 笠木：アルミ製笠木 W150	既設のまま 笠木：撤去
	改修	既設屋根の上、断熱金具、ハゼ式折板 カラーガルバリウム鋼板 t0.6 H90【カバー工法】 笠木：アルミ製笠木 W150	新設 笠木：新設
庇	既設	防水モルタルコテ押えの上 ウレタン塗膜防水(X-3)	既設のまま
	改修	下地処理の上、ウレタン塗膜防水(X-3)	新設

樋

部位	区分	仕上	
竪樋 (一般)	既設	竪樋 VPφ100 VP塗	撤去
	改修	竪樋 VPφ100 VP塗	新設
谷樋 (一般)	既設	中継用ドレン φ100用利用の上、谷コイルt0.5加工 オリエンタルメタル t0.8の上、谷コイル t0.5裏面ペフt4	撤去
	改修	ドレン φ100 平場・立上り:下地処理の上 塩ﾋﾞｼｰﾄ防水S-M2 t=1.5遮熱ｼｰﾄ(機械式固定工法)立上り:ｱﾙﾐ金物押(L40×10×1.2)	新設
樋 (職員室)	既設	竪樋：カラーVPφ100 ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ：鋳鉄製 ｺｰﾙﾀｰﾙ焼付 φ100 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水用 横引型	撤去
	改修	竪樋：カラーVPφ100 ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ：塩ビ製 改修用 φ100 横引型	新設
樋 (配膳室)	既設	軒樋：塩ビ製 105×105 受金物共 竪樋：カラーVPφ60 受金物共	撤去
	改修	軒樋：塩ビ製 105×105 受金物共 竪樋：カラーVPφ60 受金物共	新設
	既設		
	改修		

建具

部位	区分	仕上	
建具① 一般ｱﾙﾐ製	既設	ｱﾙﾐｻｯｼｭ(ｶﾗｰ)、一部ｶﾊﾞｰ工法	撤去
	改修	ｱﾙﾐｻｯｼｭ(ｶﾗｰ)、一部ｶﾊﾞｰ工法	新設
建具② 一般SUS製	既設	ステンレス製ドア	撤去
	改修	ステンレス製ドア	新設
建具③ 一般ｼｬｯﾀｰ	既設	配膳室：電動スチール製軽量スプリングシャッター	既設のまま
	改修	配膳室：電動スチール製軽量スプリングシャッター	清掃
	既設		
	改修		
	既設		
	改修		

備考

換気パイプ：塩ビφ50 VP塗	既設のまま 下地処理の上VP塗	外部照明器具	撤去・新設
校章：真鍮製 時計：スチール製（別途工事）	撤去・新設 ｽﾃﾝﾚｽ製 清掃（工事時一時撤去・復旧）	職員室ポーチ：玄関マット600×900 H20 エチレン酢酸ビニール	撤去・新設
タラップ：ステンレス製 φ22 W300 @300	既設のまま 清掃	コーナーガード：硬質塩ビ製 65×65 L1000 カーストッパー：ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞｺﾞﾑ W100 H100	撤去・新設 撤去・新設

特記事項：
※ クロルピリホスを添加した材料は使用しない。
※ 居室の内装仕上材はF☆☆☆☆とする（建具、固定家具を含む）。
※ 非居室（天井裏等）の仕上げ材はF☆☆☆以上とする。

※ 国土交通省告示第１１１３、１１１４及び１１１５号で定められた建築材料は使用しないこと。
※ 見え掛り鉄部は、全て錆止め塗装2回塗の上、FE塗とする（外部）。

※断熱材：外気に接する壁(普通教室·特別教室·校長室) 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t=25吹付
※断熱材：外気に接する天井 ｸﾞﾗｽｳｰﾙt=100 24kg品充填
※防火上主要な間仕切り壁：耐火構造（小屋裏まで達せしめること）

※最上階のスラブ裏には現場発泡ウレタン吹付 t=25とする。
※ボードの上塗装については、継ぎ目処理工法の上塗装下地をA種とする。

※土間コンクリート新設は特記なき限り、砕石 t100の上 砂敷 t30、ポリエチレンシート t0.15、押出ポリスチレンフォーム t50、四周コンクリートにアンカー @200土間 t120 D10@200 S.Cとする。
★：アスベスト含有建材を示す ※アスベスト除去方法は、集塵機付きグラインダーを使用して除去をする。

■ 内部仕上表 1

階	室名	区分	内装制限	床高	天井高	床 下地	床 仕上	巾木 材質	巾木 塗装	腰・壁 下地	腰・壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	廻縁	備考 撤去・新設	備考 改修
1	玄関	既設		1FL-180～150	3,150～3,150	RC + MO 下地MO 撤去	大理石 t30 真鍮目地棒入り 框：大理石90×180 本磨き 撤去	大理石 撤去		RC + MO 下地MO 撤去	装飾ボーダータイル 撤去	LGS 撤去	GB t9 捨張 + RB-D t19 撤去	塩ビ 撤去		
		改修		1FL-180～±0	3,150～3,000	RC + MO 新設	磁器質ﾀｲﾙ 150角 床見切 ｽﾃﾝﾚｽ製 W=40 新設	磁器質ﾀｲﾙ 150角 新設		下地MO 新設	装飾ボーダータイル 新設	LGS 新設	GB t9 捨張 + RB-D t19 新設	塩ビ 新設		
	玄関ホール	既設		1FL±0	3,000	RC + MO 下地MO 撤去	ビニル床シート t2.5 撤去	大理石 撤去		RC + MO 下地MO 撤去	装飾ボーダータイル (柱型)EP塗 撤去	LGS 撤去	GB t9 捨張 + RB-D t19 (段天井)GB-R t=9の上 RB t=19 ｽﾃﾝﾚｽ製見切 撤去	塩ビ 撤去	下足箱 撤去	
		改修		1FL±0	3,000	下地MO 新設	ビニル床シート t2.5 新設	装飾ボーダータイル (柱型)木製巾木 H100 新設		下地MO 新設	装飾ボーダータイル (柱型)EP-G塗 新設	LGS 新設	GB t9 捨張 + RB-D t19 (段天井)GB-R t=9の上 RB t=19 ｽﾃﾝﾚｽ製見切 新設	塩ビ 新設	ｼｭｰｽﾞﾎﾞｯｸｽ 新設	
	普通教室 (1)(2)(3)(4) 会議室兼少人数教室、少人数(高学年)、1年、2年	既設		1FL+20	3,000	RC + MO 下地MO 撤去	フローリングブロック サンダー掛けの上、ポリウレタン塗装３回塗 撤去	木製巾木 H100 撤去	OP塗	RC + MO RC + LGS W65 下地MO LGS W65 撤去	EP塗 合板 t=5.5の上、掲示板用ビニルクロス貼 撤去	LGS 撤去	GB-P t9.5 撤去	塩ビ 撤去	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕 撤去	ｶｰﾃﾝ（一時撤去・工事期間中の保管場所は多目的教室の空き部屋に保管）
		改修		1FL+20	3,000	下地MO 新設	フローリングブロック サンダー掛けの上、ポリウレタン塗装３回塗 新設	木製巾木 H100 新設	SOP塗	下地MO LGS W65 新設	EP-G塗 合板 t=5.5の上、掲示板用ビニルクロス貼 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120(市産材支給品) ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設	ｶｰﾃﾝ（復旧）
	職員室	既設		1FL+70	2,950	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO	フローリングブロックの上、OAフロアH50 増築部：ｱｼﾞｬｽﾀｰｽﾁｰﾙ(J-3000)OAフロア H50	木製巾木 H100	SOP塗	RC + MO RC + LGS W65 増築部：ALC t120	ビニルクロス貼 合板 t=5.5の上、掲示板用ビニルクロス貼 増築部：GB t12.5の上、ビニルクロス貼	LGS 増築部：LGS+グラスウール24kg t100	GB-D t9.5、塩ビ製天井見切(H型) 空調入替に伴う部分撤去	塩ビ	床・壁・天井：EXP.J 塩ビ製天井見切(H型) ｶｰﾃﾝBOX木製SOP塗150×120、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ、ｶｰﾃﾝ、消火器、消火器BOX	
		既設のまま											GB-P t9.5 空調入替に伴う部分新設			
	職員室踏込	既設		1FL-30	3,050	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO	100角タイル貼 框：SUS製 HL H100	木製巾木 H100	SOP塗	RC + MO RC + LGS W65	ビニルクロス貼 合板 t=5.5の上、掲示板用ビニルクロス貼	LGS+グラスウール24kg t100	GB-D t9.5	塩ビ		
		既設のまま														
	印刷室	既設		1FL+70	2,950	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO	フローリングブロックの上、OAフロアH50 増築部：ｱｼﾞｬｽﾀｰｽﾁｰﾙ(J-3000)OAフロア H50	ソフト巾木 H100		RC + MO	EP塗 流し腰壁：100角タイル貼	LGS	GB-D t9.5、塩ビ製天井見切(H型)	塩ビ		
		既設のまま														
	たんぽぽ	既設		1FL+20	3,000	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO	ビニル床シート t2.5	ソフト巾木 H100		RC + MO	EP塗	LGS	GB-D(T)t9.5	塩ビ		
		既設のまま														
	校長室	既設		1FL+20	3,000	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 下地MO 一部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共 撤去	フローリングブロック サンダー掛の上ポリウレタン塗装3回塗 撤去	木製巾木 H100 撤去	OP塗	RC + MO RC + LGS W65 下地MO LGS W65 撤去	ビニルクロス貼 GB t12.5の上、ビニルクロス貼 撤去	LGS 撤去	GB t9.5 捨張 + RB t12 撤去	塩ビ 撤去	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、洗面化粧台、額掛け(2段) 撤去	ｶｰﾃﾝ、ﾚｰｽｶｰﾃﾝ（一時撤去・工事期間中の保管場所は多目的教室の空き部屋に保管）
		改修		1FL+30	3,000	下地SL t=10 一部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共 新設	OAﾌﾛｱ H=50の上 TC t=6.5 床見切 ｽﾃﾝﾚｽ製 への字金物 (金庫用床補強部)RCｺﾃ押え H=50の上 TC t=6.5 新設	木製巾木 H100 新設	SOP塗	下地MO LGS W65 新設	ビニルクロス貼 GB t12.5の上、ビニルクロス貼 新設	LGS 新設	GB t9.5 捨張 + RB t12 新設	塩ビ 新設	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120(市産材支給品) ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、洗面化粧台、額掛け(2段) 新設	ｶｰﾃﾝ、ﾚｰｽｶｰﾃﾝ（復旧）
	理科室	既設		1FL+20	3,000	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 下地MO 一部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共 撤去	樹脂系塗床 撤去	MO H100 ソフト巾木 H100 撤去	EP塗	RC + MO RC + LGS W65 下地MO LGS W65 撤去	EP塗 GB t12.5の上、EP塗 撤去	LGS 撤去	GB-D t9.5 撤去	塩ビ 撤去	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕 撤去	ｶｰﾃﾝ（一時撤去・工事期間中の保管場所は多目的教室の空き部屋に保管）
		改修		1FL+20	3,000	下地MO 一部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共 新設	ビニール床シート t=2.5(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様) 新設	MO H100 ソフト巾木 H100 新設	EP-G塗	下地MO LGS W65 新設	EP-G塗 GB t12.5の上、EP-G塗 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120(市産材支給品) ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設	ｶｰﾃﾝ（復旧）
	理科準備室	既設		1FL+20	3,000	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 下地MO 一部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共 撤去	樹脂系塗床 撤去	MO H100 撤去	EP塗	RC + MO 下地MO 撤去	EP塗 撤去	LGS 撤去	GB-D t9.5 撤去	塩ビ 撤去		
		改修		1FL+20	3,000	下地MO 一部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共 新設	ビニール床シート t=2.5(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様) 新設	ソフト巾木 H100 新設		下地MO 新設	EP-G塗 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設		
	薬品庫(暗室)	既設		1FL+20	3,000	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 下地MO 撤去	樹脂系塗床 撤去	MO H100 撤去	EP塗	RC + MO 下地MO 撤去	EP塗 100角タイル貼 撤去	LGS 撤去	GB-D t9.5 撤去	塩ビ 撤去		
		改修		1FL+20	3,000	下地MO 新設	ビニール床シート t=2.5(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様) 新設	ソフト巾木 H100 新設		下地MO 新設	EP-G塗 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設		
	放送室	既設		1FL+70 1FL+20	2,950 3,000	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 下地MO 撤去	フローリングブロックの上、OAフロアH50の上 + タイルカーペット 段差用框：ｽﾃﾝﾚｽ製 踏込：フローリングブロックの上、ビニル床シート t2.5 撤去	ソフト巾木 H100 撤去		RC + MO 下地MO LGS W90 ｺﾝﾊﾟﾈt12 木製胴縁ﾀﾃﾖｺ50×50@450 木製胴縁ﾀﾃﾖｺ50×50@450 撤去	EP塗 ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 32Kg充填 有孔合板t6 寒冷紗貼の上、OP塗 撤去	LGS 撤去	GB t9.5 捨張 + RB t15 撤去	塩ビ 撤去		
		改修		1FL+30	3,000	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 下地MO 新設	OAﾌﾛｱ H=50の上 TC t=6.5 新設	ソフト巾木 H100 新設		下地MO LGS W90 ｺﾝﾊﾟﾈt12 木製胴縁ﾀﾃﾖｺ50×50@450 木製胴縁ﾀﾃﾖｺ50×50@450 新設	EP-G塗 ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50 32Kg充填 有孔合板t6 寒冷紗貼の上、SOP塗 新設	LGS 新設	GB t9.5 捨張 + RB t15 新設	塩ビ 新設		
	スタジオ ⇩ 物入	既設		1FL+70	2,950	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 既設のまま	フローリングブロックの上、OAフロアH50の上 + タイルカーペット 撤去	ソフト巾木 H100 撤去		放送室に同じ 撤去	放送室に同じ 撤去	LGS 撤去	GB t9.5 捨張 + RB t15 撤去	塩ビ 撤去	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕 撤去	ｶｰﾃﾝ（一時撤去・工事期間中の保管場所は多目的教室の空き部屋に保管）
		改修		1FL+20	3,000		既設劣化部下地処理の上、樹脂系塗床 新設	ソフト巾木 H100 新設		下地MO LGS W90 新設	EP-G塗 GB-F t12.5二重貼の上、EP-G 新設	LGS 新設	GB-D t9.5 新設	塩ビ 新設	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120(市産材支給品) ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW 新設	ｶｰﾃﾝ（復旧）
	ひまわりルーム	既設		1FL±0	2,600	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 下地MO 撤去	ビニル床シート t2.5 撤去	ソフト巾木 H100 撤去		RC + MO 下地MO 撤去	EP塗 撤去	LGS 撤去	GB-D t9.5 撤去	塩ビ 撤去	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW 撤去	ｶｰﾃﾝ（一時撤去・工事期間中の保管場所は多目的教室の空き部屋に保管）
		改修		1FL±0	2,600	下地MO 新設	ビニル床シート t2.5 新設	ソフト巾木 H100 新設		下地MO 新設	EP-G塗 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設	ｶｰﾃﾝ（復旧）
	更衣室(1)(2)	既設		1FL±0	2,700	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO	長尺塩ビシート t2.0	ソフト巾木 H100		LGS W65・W90 + GB t12.5 RC壁 GL工法	ビニルクロス貼	LGS	GB-D(T)t9.5	塩ビ	付額縁SOP塗	
		既設のまま														
	休憩室	既設		1FL+150 1FL±0	2,550 踏込：2,700	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO	プラ束床組 合板t12 + 枠板t12の上、畳敷 踏込：長尺塩ビシート t2.0 框：90×150セラミック建材	畳寄せ 踏込：ソフト巾木 H100		LGS W65・W90 + GB t12.5 RC壁 GL工法	ビニルクロス貼	LGS	GB-D(T)t9.5	塩ビ	付額縁SOP塗、ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、ｶｰﾃﾝ、ﾚｰｽｶｰﾃﾝ	
		既設のまま														

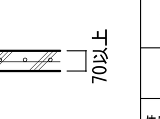
( )内は、消防法施行令による仕上制限

凡例

区分	記号	内容
内装制限	難	難燃材 （仕上のみ）
	準	準不燃材（仕上のみ）
	㊀不	不燃材 （下地・仕上共）
	㊀準	準不燃材（下地・仕上共）
	㊀不	不燃材 （下地・仕上共 床面より上）
躯体・下地材	RC	コンクリート
	LC	軽量コンクリート
	PC	プレストレスコンクリート
	S	鉄骨
	CB	コンクリートブロック
	LGS	軽量鉄骨壁（天井）下地
	W	木軸壁・木製天井下地又は木組床下地
ボード類	ALC	軽量気泡コンクリートパネル
	GB(GB－R)	せっこうボード
	GB－D	化粧せっこうボード（天井用ジプトーン）
	GB－NC	不燃積層せっこうボード（不燃ジプトーン）
	GB－D(W)	化粧せっこうボード（木目柄和室天井用）
	GB－P	吸音用あなあきせっこうボード
	GB－S	シージング（防水）せっこうボード
	GB－S	不燃シージング（防水）せっこうボード
	GB－F	強化せっこうボード
	GB－RH	硬質せっこうボード
	RB	ロックウール吸音板
	RB－D	ロックウール化粧吸音板
	LB	無石綿硅カル板
	LB－D	無石綿化粧硅カル板
左官	RC（金）	コンクリート金ごて押え（仕上）
	MO（金）	モルタル塗り金ごて
	MO（木）	モルタル塗り木ごて
	TM	タイル下モルタル下地
	SL	セルフレベリング（モルタル・プラスター）
金属	SUS	ステンレス（特記なき限り３０４とする）
	M仕上	鏡面仕上
	HL仕上	ヘアーライン仕上
木	OSB	配向性構造（化粧）用ボード
	MDF	中質繊維板（セミハードボード）
	LVL	構造用単板積層材
	LVB	単板積層材（平行合板）
内装	VC	ビニールクロス貼
	C	クロス貼
	CF	クッションフロアーシート貼
	PT	ビニル床タイル貼
	VS	長尺塩ビシート貼
	TC	タイルカーペット敷
断熱材	GW	（高性能型）グラスウール
	RW	ロックウール
	BCF	吹込みセルロースファイバー
	LIF	軽量軟質木質繊維板
	NEO	ポリエステル不織布貼フェノールフォーム板
	SR	（フィルム付）高発泡ポリエチレン板
	UF	現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付
石	JB	ジェットバーナー仕上
	TB	テラゾーブロック
その他	VP	硬質塩化ビニル管
	SGP	配管用炭素鋼鋼管（白ガス管）
塗装	SOP	合成樹脂調合ペイント
	EP	合成樹脂エマルションペイント
	EP－M	多彩模様塗料
	EP－G	つや有り合成樹脂エマルションペイント
	VE	塩化ビニル樹脂エナメル
	LE	ラッカーエナメル
	2－CU	２液形ポリウレタンワニス
	2－UE	２液形ポリウレタンエナメル
	2－AUE	２液形アクリルウレタンエナメル
	2－FUE	常温乾燥形フッ素樹脂エナメル
	OS	オイルステイン
	OC	スパーワニス
	UC	ウレタン樹脂ワニス
	AE	アクリル樹脂エナメル
	AC	アクリル樹脂ワニス（つや有り）
	FC	フタル酸樹脂ワニス
	FE	フタル酸樹脂エナメル
	WPS	木材保護着色塗料
	GP	グラファイトペイント
	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料
	WX	ワックス

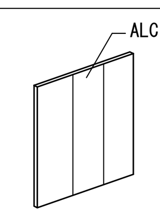
認定番号

壁 1時間耐火 — 鉄筋コンクリート造



鉄筋コンクリート造 t=70以上	平成１２年建設省告示第1399号第１-二号
使用部位	非耐力壁の外壁

壁 1時間耐火

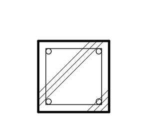


ALC t100	平成12年建設省告示第1399号第１-六、七号
使用部位	非耐力壁の外壁

防火上主要な間仕切壁

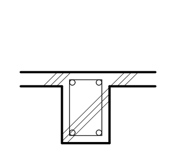
強化石膏ボード t12.5(GB-F) 二重貼壁 両面	1時間耐火 FP060NP-0174
使用部位	防火上主要な間仕切壁

柱 1時間耐火



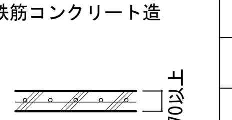
鉄筋コンクリート造	平成１２年建設省告示第1399号第２-三号
使用部位	柱

梁 1時間耐火



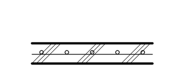
鉄筋コンクリート造	平成１２年建設省告示第1399号第４-三号
使用部位	梁

床 1時間耐火 — 鉄筋コンクリート造



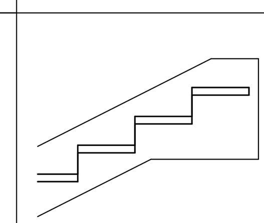
鉄筋コンクリート造 t=70以上	平成１２年建設省告示第1399号第３-二号
使用部位	床

屋根 30分耐火



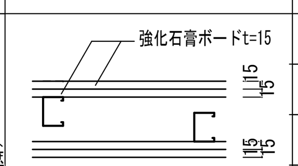
鉄筋コンクリート造	平成１２年建設省告示第1399号第５-一号
使用部位	屋根

階段 30分耐火



鉄造	平成１２年建設省告示第1399号第６-四号
使用部位	階段

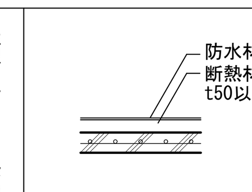
防火上主要な間仕切壁(遮音仕様)



【参考：吉野遮音ｼｽﾃﾑB15-T】(TLD-44)

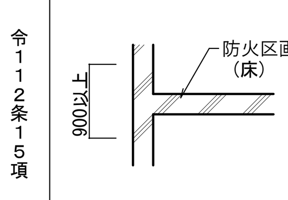
強化石膏ボード t15(GB-F) 二重貼壁	1時間耐火 FP060NP-0174
使用部位	防火上主要な間仕切壁

屋根 令109条の5



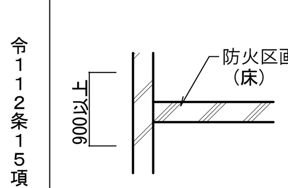
塩ビシート防水 硬質ウレタンボード t50	平成１２年建設省告示第1365号第１-三号
勾配1/30以下	
使用部位	屋根

令112条15項



鉄筋コンクリート造 t=70以上	平成１２年建設省告示第1399号第１-二号

令112条15項



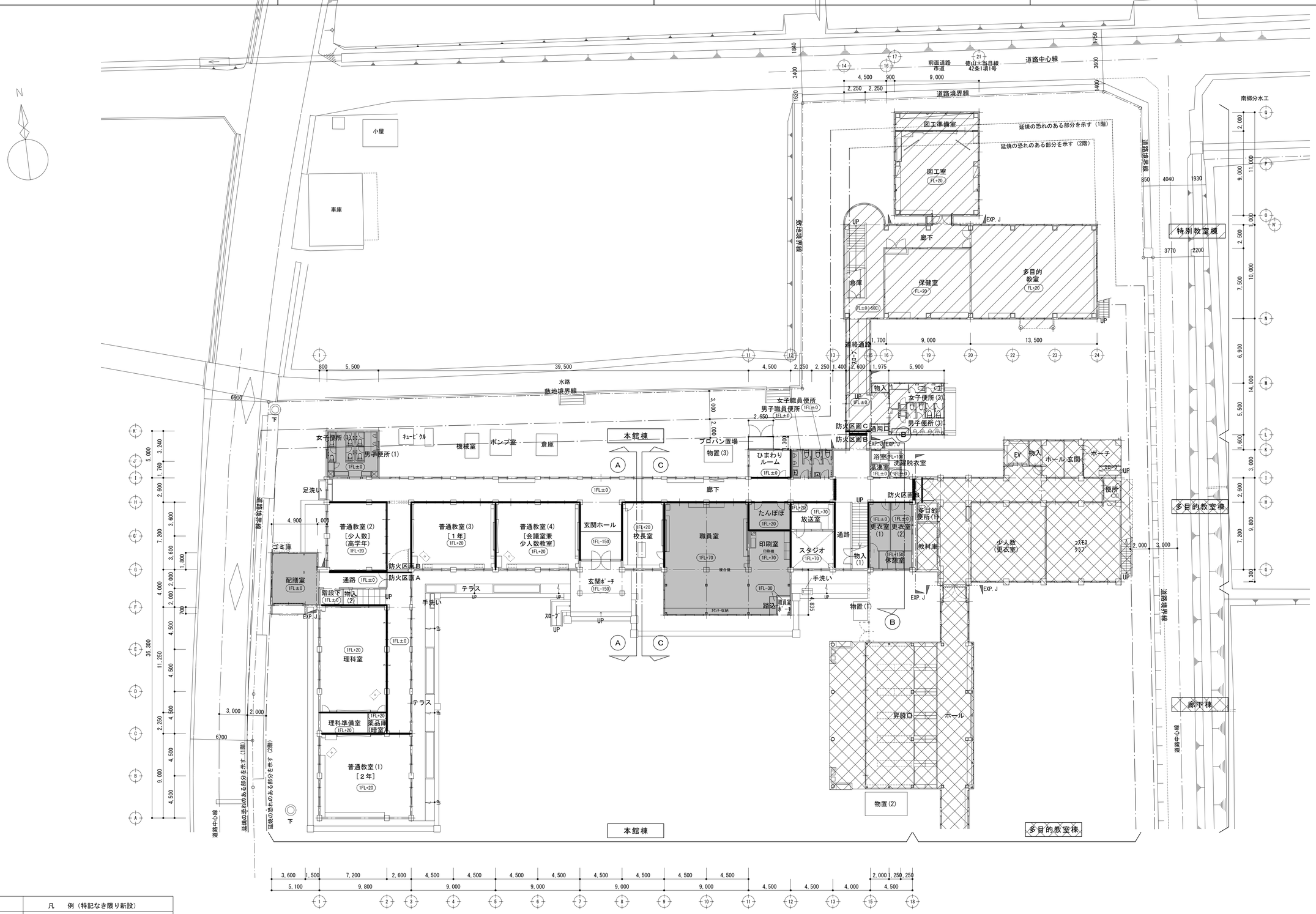
ALC t100	FP060NE-9293

認定番号 表中 ● 印のあるものを、本工事において使用する。

	品名	厚さ	区分	認定番号
●	せっこうボード	t=9.5	準不燃	QM-9828
●	せっこうボード	t=12.5	不燃	NM-8619
○	せっこうラスボード	t=9.5	不燃	NM-8618
●	ジプトーン	t=9.5	準不燃	QM-9824
●	不燃ジプトーン	t=9.5	不燃	NM-0441
○	木目柄天井化粧せっこうボード	t=9.5	準不燃	QM-9824
○	木目柄天井化粧せっこうボード	t=12.5	不燃	NM-0127
○	壁用化粧せっこうボード	t=9.5	準不燃	QM-9824
○	壁用化粧せっこうボード	t=12.5	不燃	NM-0128
●	シージングせっこうボード	t=9.5 12.5	準不燃	QM-9826
●	不燃シージングせっこうボード	t=12.5	不燃	NM-9639
●	強化せっこうボード	t=12.5 15 21	不燃	NM-8615
●	吸音用あなあきせっこうボード	t=9.5	準不燃	QM-9827
○	硬質せっこうボード	t=9.5 12.5	不燃	NM-9645
○	吸放湿せっこうボード	t=9.5	準不燃	QM-0127
○	吸放湿せっこうボード	t=12.5	不燃	NM-0530
●	ロックウール吸音板	t=9.5 12.5 15	不燃	NM-8599
○	硅カル板	t=4 6	不燃	NM-8576
○	着色硅カル板	t=6	不燃	NM-8579
○	化粧硬質硅カル板	t=6	不燃	NM-8573
●	無石綿化粧硅カル板	t=6	不燃	NM-8579
○	硬質木片セメント板	t=18 25	準不燃	QM-9706
○	木毛セメント板	t=15 20 25	準不燃	QM-9022
○	木繊セメント板（モクセン板）	t=25 30 40	準不燃	QM-9038
○	平形屋根スレート	t=6	不燃	NM-9567

本館棟 ■ 内部仕上表 2

階	室名		内装制限	床高	天井高	床		巾木		腰・壁		天井		廻縁	備考	
						下地	仕上	材質	塗装	下地	仕上	下地	仕上		撤去・新設	改修
1	湯沸室 ⇩	既設		1FL±0	2,500	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 撤去	ビニル床シート t2.5 撤去	100角タイル貼 撤去		RC + MO 下地MO 撤去 CB W150 + MO 撤去	100角タイル貼 撤去	LGS 撤去	GB-D t9.5 撤去	塩ビ 撤去	SUS三方枠 撤去	
	倉庫	改修		1FL±0	2,500	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 新設	ビニル床シート t2.5 新設	ソフト巾木 H100 新設		RC 下地MO 新設 LGS W90	EP-G塗 GB-F t12.5二重貼の上、EP-G塗 新設	LGS 新設	GB-D t9.5 新設	塩ビ 新設		
	浴室 ⇩	既設		1FL±0		土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 撤去	ユニットバス 撤去			RC CB W150 撤去	ユニットバス 撤去	LGS 撤去	ユニットバス 撤去	撤去	ユニットバス 撤去	
	倉庫	改修		1FL±0	2,500	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 新設	ビニル床シート t2.5 新設	ソフト巾木 H100 新設		RC 下地MO 新設 LGS W90	EP-G塗 GB-F t12.5二重貼の上、EP-G塗 新設	LGS 新設	GB-D t9.5 新設	塩ビ 新設		
	洗濯脱衣室 ⇩	既設		1FL+100 1FL±0	2,400 踏込：2,500	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 撤去	プラ束床組 コンパネt12の上、ビニル床シート t2.5 踏込：ビニル床シート t2.5 框：SUS製 撤去	ソフト巾木 H100 撤去		RC(GL工法) LGS W65 撤去	GB-S t12.5の上、ビニルクロス貼 撤去	LGS 撤去	GB-D t9.5 撤去	塩ビ 撤去		
	洗濯室	改修		1FL+100 1FL±0	2,400 踏込：2,500	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 新設	プラ束床組 コンパネt12の上、ビニル床シート t2.5 踏込：ビニル床シート t2.5 框：SUS製 新設	ソフト巾木 H100 新設		RC(GL工法) LGS W90 新設	GB-S t12.5の上、ビニルクロス貼 GB-S t12.5二重貼の上、ビニルクロス貼 新設	LGS 新設	GB-D t9.5 新設	塩ビ 新設		
	女子職員便所	既設		1FL±0	2,400	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO	長尺塩ビシート t2.0	床材巻上 H100		RC 面台：LGS W100(PS：W50※女子のみ) CB W150	アクリルカオチン樹脂系下地調整剤塗の上、 不燃メラミン化粧合板(木目調) t3貼 面台：GB-S t12.5の上、不燃メラミン化粧合板t3貼	LGS	GB-D t9.5	塩ビ	SUS面台、モップ掛パネル	
		既設のまま														
	男子職員便所	既設		1FL±0	2,400	女子職員便所に同じ	女子職員便所に同じ	女子職員便所に同じ		女子職員便所に同じ	女子職員便所に同じ	女子職員便所に同じ	女子職員便所に同じ	塩ビ	女子職員便所に同じ	
		既設のまま														
	配膳室	既設		1FL±0	2,200	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO	長尺塩ビシート t2.0	ソフト巾木 H60		ALC + LGS	GB t12.5の上、EP塗 ｽﾄﾚｯﾁｬｰｶﾞｰﾄﾞ 硬質樹脂製 H150 柱型：LB t25の上、EP塗(1時間耐火) ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ 樹脂製 H1000	LGS + グラスウール24kg t100	GB-D t9.5	塩ビ	ストレッチャーガード、コーナーガード 床・壁・天井：EXP.J	
		既設のまま														
	配膳室通路	既設		1FL±0	2,400	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 下地MO 撤去	長尺塩ビシート t2.0 撤去	ソフト巾木 H60 撤去		RC + MO 下地MO 撤去 LGS W65	EP塗 撤去	LGS 撤去	GB-D t9.5 撤去	塩ビ 撤去		
		改修		1FL±0	2,400	下地MO 新設	ビニル床シート t2.5 新設	ソフト巾木 H60 新設		下地MO 新設 LGS W65	EP-G塗 GB t12.5の上、EP-G塗 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設		
	配膳室階段下	既設		1FL±0	2,500	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 下地MO 撤去	長尺塩ビシート t2.0 撤去	ソフト巾木 H60 撤去		RC + MO 下地MO 撤去 LGS W65	EP塗 撤去	LGS 撤去 RC + MO 既設のまま	GB-D t9.5 撤去 段裏：吹付タイル 既設のまま	塩ビ 撤去		
		改修		1FL±0	2,500	下地MO 新設	ビニル床シート t2.5 新設	ソフト巾木 H60 新設		下地MO 新設 LGS W65	EP-G塗 GB t12.5の上、EP-G塗 新設	LGS 新設 RC + MO 既設のまま	GB-P t9.5 段裏：既設劣化部下地処理の上、吹付タイル 新設	塩ビ 新設		
	物入(1)(2)	既設		1FL±0		土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO 下地MO 撤去	ビニル床シート t2.5 撤去	MO H100 撤去	EP塗	RC + MO 下地MO 撤去	EP塗 撤去	LGS(物入(1)のみ) 撤去 RC + MO 既設のまま	GB-D t9.5(物入(1)のみ) 撤去 段裏：吹付タイル 既設のまま	塩ビ 撤去		
		改修		1FL±0		下地MO 新設	ビニル床シート t2.5 新設	MO H100 新設	EP-G塗	下地MO 新設	EP-G塗 新設	LGS(物入(1)のみ) 新設 RC + MO 既設のまま	GB-D t9.5(物入(1)のみ) 段裏：既設劣化部下地処理の上、吹付タイル 新設	塩ビ 新設		
2	普通教室 (5)(6)(7)(8)(9)(10) かしの木2組、3年1組、2組、4年1組、2組、5年1組	既設		2FL+20	3,000	RC + MO 下地MO 撤去	フローリングブロック サンダー掛けの上、ポリウレタン塗装３回塗 撤去	木製巾木 H100 撤去	OP塗	RC + MO 下地MO RC + LGS W65 LGS W65 撤去	EP塗 合板 t=5.5の上、掲示板用ビニルクロス貼 撤去	LGS 撤去	GB-P t9.5 撤去	塩ビ 撤去	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕 手摺 ｽﾃﾝﾚｽ製 撤去	ｶｰﾃﾝ（一時撤去）
		改修		2FL+20	3,000	下地MO 新設	フローリングブロック サンダー掛けの上、ポリウレタン塗装３回塗 新設	木製巾木 H100 新設	SOP塗	下地MO LGS W65 新設	EP-G塗 合板 t=5.5の上、掲示板用ビニルクロス貼 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120(市産材支給品)、 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕、手摺 ｽﾃﾝﾚｽ製、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設	ｶｰﾃﾝ（復旧）
	かしの木1組	既設		2FL+20	3,000	RC + MO 下地MO 撤去	フローリングブロック サンダー掛けの上、ポリウレタン塗装３回塗 撤去	木製巾木 H100 撤去	OP塗	RC + MO 下地MO RC + LGS W65 LGS W65 撤去	EP塗 合板 t=5.5の上、掲示板用ビニルクロス貼 撤去	LGS 撤去	GB-P t9.5 撤去	塩ビ 撤去	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕 手摺 ｽﾃﾝﾚｽ製 撤去	ｶｰﾃﾝ（一時撤去）
		改修		2FL+20	3,000	下地MO 新設	フローリングブロック サンダー掛けの上、ポリウレタン塗装３回塗 新設	木製巾木 H100 新設	SOP塗	下地MO LGS W65 新設	EP-G塗 合板 t=5.5の上、掲示板用ビニルクロス貼 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120(市産材支給品)、 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕、手摺 ｽﾃﾝﾚｽ製、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設	ｶｰﾃﾝ（復旧）
	家庭科室	既設		2FL+20	3,000	RC + MO 下地MO 撤去	フローリングブロック サンダー掛けの上、ポリウレタン塗装３回塗 撤去	木製巾木 H100 撤去	OP塗	RC + MO 下地MO RC + LGS W65・RC(GL工法) LGS W65 撤去	EP塗 GB t12.5の上、EP塗 撤去	LGS 撤去	GB-P t9.5 撤去	塩ビ 撤去	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕 手摺 ｽﾃﾝﾚｽ製 撤去	ｶｰﾃﾝ（一時撤去）
		改修		2FL+20	3,000	下地MO 新設	フローリングブロック サンダー掛けの上、ポリウレタン塗装３回塗 新設	木製巾木 H100 新設	SOP塗	新設	EP塗 GB t12.5の上、EP塗 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120(市産材支給品)、 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕、手摺 ｽﾃﾝﾚｽ製、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設	ｶｰﾃﾝ（復旧）
	家庭科準備室	既設		2FL+20	3,000	RC + MO 下地MO 撤去	フローリングブロック サンダー掛けの上、ポリウレタン塗装３回塗 撤去	木製巾木 H100 撤去	OP塗	RC + MO 下地MO 撤去	EP塗 撤去	LGS 撤去	GB-P t9.5 撤去	塩ビ 撤去	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕 手摺 ｽﾃﾝﾚｽ製 撤去	ｶｰﾃﾝ（一時撤去）
		改修		2FL+20	3,000	下地MO 新設	フローリングブロック サンダー掛けの上、ポリウレタン塗装３回塗 新設	木製巾木 H100 新設	SOP塗	下地MO 新設	EP塗 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120(市産材支給品)、 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕、手摺 ｽﾃﾝﾚｽ製 新設	ｶｰﾃﾝ（復旧）
	教材室	既設		2FL+20	3,000	RC + MO 下地MO 撤去	フローリングブロック ウレタン塗装 撤去	木製巾木 H100 撤去	OSW塗	RC + MO 下地MO 撤去	EP塗 撤去	LGS 撤去	GB-P t9.5 撤去	塩ビ 撤去	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕 手摺 ｽﾃﾝﾚｽ製、額掛け(3段) 木製 撤去	ｶｰﾃﾝ（一時撤去）
		改修		2FL+20	3,000	下地MO 新設	フローリングブロック サンダー掛けの上、ポリウレタン塗装３回塗 新設	木製巾木 H100 新設	SOP塗	下地MO 新設	EP塗 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設	ｶｰﾃﾝBOX木製OP塗150×120(市産材支給品)、 ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、暗幕、手摺 ｽﾃﾝﾚｽ製、額掛け(3段) 木製 新設	ｶｰﾃﾝ（復旧）
																※ ｶｰﾃﾝ（一時撤去）について （工事期間中の保管場所は 多目的教室の空き部屋に保管）
1・2	女子便所(1)(2)	既設		1FL±0 2FL±0	2,400	土間ｺﾝｸﾘｰﾄt150 + MO	長尺塩ビシート t2.0(色分け)	床材巻上 H100		RC 面台：LGS W100	アクリルカオチン樹脂系下地調整剤塗の上、 不燃メラミン化粧合板(木目調) t3貼 面台：GB-S t12.5の上、不燃メラミン化粧合板t3貼	LGS	GB-D t9.5	塩ビ	SUS面台、化粧鏡	
		既設のまま														
	男子便所(1)(2)	既設		1FL±0 2FL±0	2,400	女子便所(1)に同じ	女子便所(1)に同じ 小便器前：汚垂部 長尺塩ビシート t2.0(色分け)	女子便所(1)に同じ		女子便所(1)に同じ	女子便所(1)に同じ	女子便所(1)に同じ	女子便所(1)に同じ	塩ビ	SUS面台	
		既設のまま														
	便所手洗(1)(2)	既設		1FL±0 2FL±0	2,400	女子便所(1)に同じ	女子便所(1)に同じ	女子便所(1)に同じ		女子便所(1)に同じ	女子便所(1)に同じ	女子便所(1)に同じ	女子便所(1)に同じ	塩ビ	SUS面台、地流し、SUS手洗、化粧鏡、モップ掛けパネル	
		既設のまま														
	廊下	既設		1FL±0 2FL±0	2,700 3,020 2,700	RC + MO 下地MO 一部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共 撤去	既設 樹脂系塗床の上 ビニル床シート t2.5 (廊下手洗)ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ (床見切)ｽﾃﾝﾚｽ製 W=40 (便所(1)(2)前手洗)ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙの上 樹脂ﾏｯﾄ (床見切)人研 W=100 撤去	MO H100 撤去 (便所(1)(2)前手洗) MO + ﾀｲﾙ100角 撤去	EP塗	RC + MO 下地MO 撤去 (便所(1)(2)前手洗) 下地MO 撤去	EP塗(FL+1200で塗分け) 撤去 ﾀｲﾙ100角 (壁見切)ｽﾃﾝﾚｽ製 W=25 配管ﾊﾟｯｸ CB t=100の上、ﾀｲﾙ100角 撤去	LGS 撤去	GB-D t9.5 撤去	塩ビ 撤去	面台 人研 手洗い ｽﾃﾝﾚｽ貼【RC受共】 廊下手洗い ｽﾃﾝﾚｽ貼【RC受共】 手摺・ｺｰﾄ掛け ｽﾃﾝﾚｽ製 φ37 受皿 ｽﾃﾝﾚｽ製 W=230 撤去	
		改修		1FL±0 2FL±0	2,700 3,020	下地MO 一部土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共 新設	ビニル床シート t2.5（貼分け） (廊下手洗)ビニル床シート t2.5 (便所(1)(2)前手洗)ビニル床シート t2.5 (床見切)ｽﾃﾝﾚｽ製 W=40 新設	MO H100 新設 (便所(1)(2)前手洗) ソフト巾木 H100 新設	EP-G塗	下地MO 新設 (便所(1)(2)前手洗) 下地MO 新設	EP-G塗(FL+1200で塗分け) 新設 不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3 (壁見切)ｽﾃﾝﾚｽ製 W=25 配管ﾊﾟｯｸ CB t=100の上、不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設	面台 ｽﾃﾝﾚｽ製 HL ラインテープ W50 手洗い流し台 ﾌｯｸ掛け ｽﾃﾝﾚｽ製 受皿 ｽﾃﾝﾚｽ製 W=230 新設	
	1F通路	既設		1FL±0	2,700	RC + MO 下地MO 撤去	既設 樹脂系塗床の上 ビニル床シート t2.5 (床見切)ｽﾃﾝﾚｽ製 W=40 撤去	MO H100 撤去	EP塗	RC + MO 下地MO 撤去	EP塗(FL+1200で塗分け) 撤去	LGS 撤去	GB-D t9.5 撤去	塩ビ 撤去		
		改修		1FL±0	2,700	下地MO 新設	ビニル床シート t2.5 (床見切)ｽﾃﾝﾚｽ製 W=40 新設	MO H100 新設	EP-G塗	下地MO 新設	EP-G塗(FL+1200で塗分け) 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 新設	塩ビ 新設		
	階段室	既設				RC + MO 下地MO 撤去	既設 樹脂系塗床の上 ビニル床シート t2.5(踏面共) (段鼻ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ)ｽﾃﾝﾚｽ製 ｺﾞﾑ付 撤去	MO (踊場)MO H100 撤去	EP塗	RC + MO 下地MO 撤去	EP塗 撤去	LGS 撤去	GB-D t9.5 段裏：吹付タイル 撤去	塩ビ 撤去	笠木 人研 W=160、段鼻ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ 階段手摺 ｱﾙﾐ製 ﾚｰﾙ樹脂被覆 φ40 撤去	
		改修				下地MO 新設	ビニル床シート t2.5(踏面共)、点字ビニルタイル (段鼻ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ)ｽﾃﾝﾚｽ製 ｺﾞﾑ付 新設	MO (踊場)MO H100 新設	EP-G塗	下地MO 新設	EP-G塗 新設	LGS 新設	GB-P t9.5 段裏：吹付タイル 新設	塩ビ 新設	笠木 御影石 W=160、段鼻ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ 階段手摺「両側」 ｱﾙﾐ製 ﾚｰﾙ樹脂被覆 φ40 新設	



本館棟　1階平面図　1/200

凡　例（特記なき限り新設）
防火区画
防火上主要な間仕切り
断面切断位置
工事期間中　仮設間仕切り壁（天井裏ｽﾗﾌﾞまで）
LGS下地　GB-R t9.5　片開戸

※本館東側階段及び廊下は、工事中も使用する

- 本工事　範囲外を示す　【多目的教室棟・廊下棟】
- 本工事（特別教室棟）別図による
- 本工事（本館棟）　既存のまま（内部のみ）を示す

改修前

訂正	月 日	月 日	月 日

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No. － － －

工事名：浅井小学校本館等長寿命化改修工事（建築）

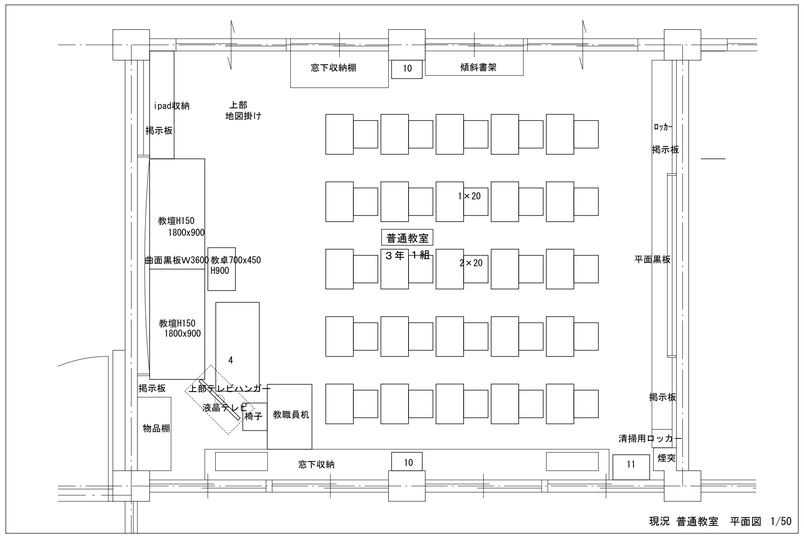
DATE . .

本館棟 改修前 1階平面図

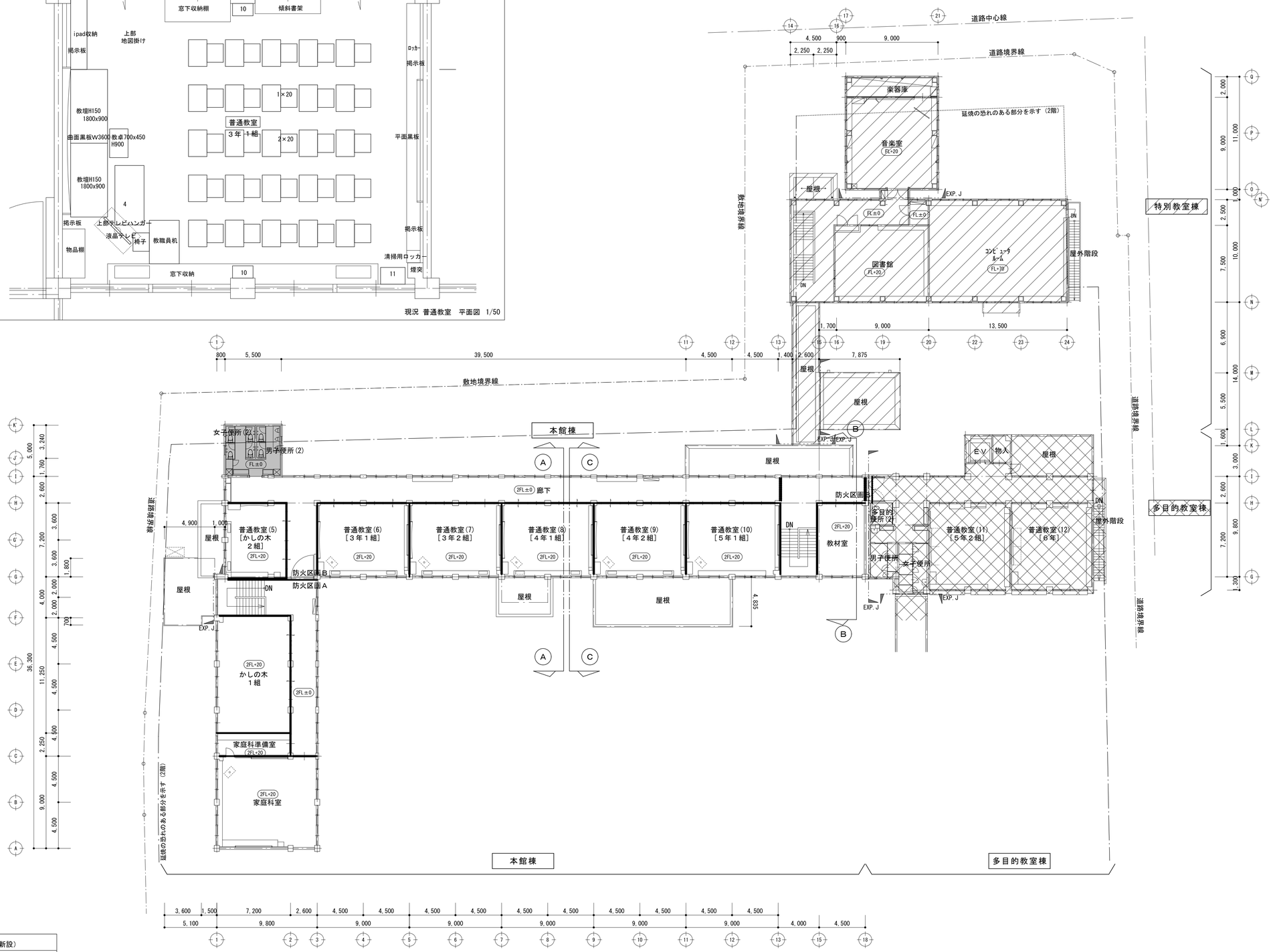
SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)

A

No. 16/123



現況 普通教室 平面図 1/50



本館棟 ２階平面図 1/200

	凡 例（特記なき限り新設）
━━━	防火区面
━━━	防火上主要な間仕切り
⟨⊙ ⊙⟩	断面切断位置
▬▬▬	工事期間中 仮設間仕切り壁（天井裏ｽﾗﾌﾞまで）

▨	本工事 範囲外を示す 【多目的教室棟・廊下棟】
▨	本工事（特別教室棟）別図による
■	本工事（本館棟） 既存のまま（内部のみ）を示す

改修前

訂	月 日	月 日	月 日
正			

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No. – – –

工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)

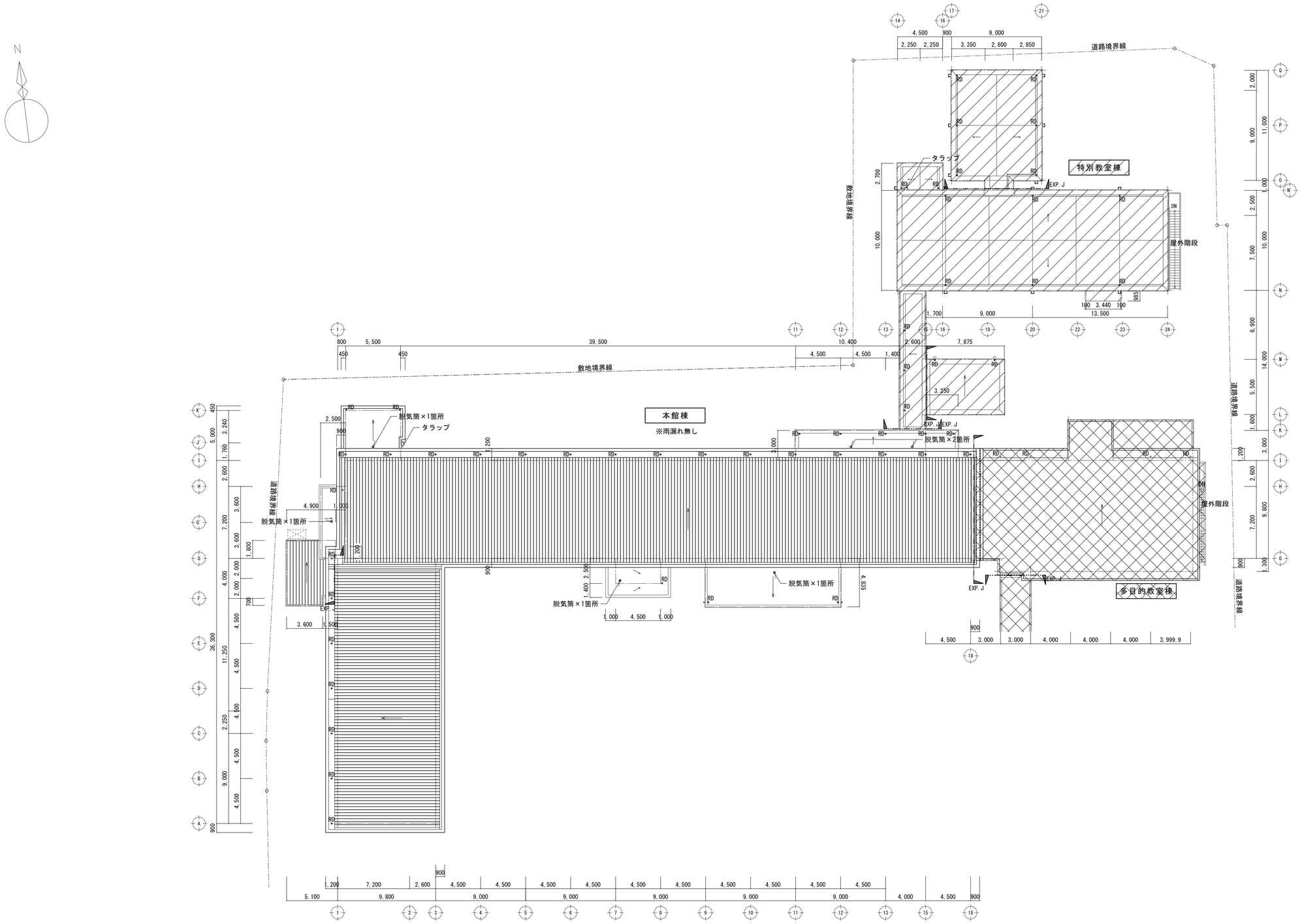
DATE . .

本館棟 改修前 ２階平面図

SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)

A

No. 17 / 123



本館棟　屋根伏図　1/200

本工事　範囲外を示す　【多目的教室棟・廊下棟】

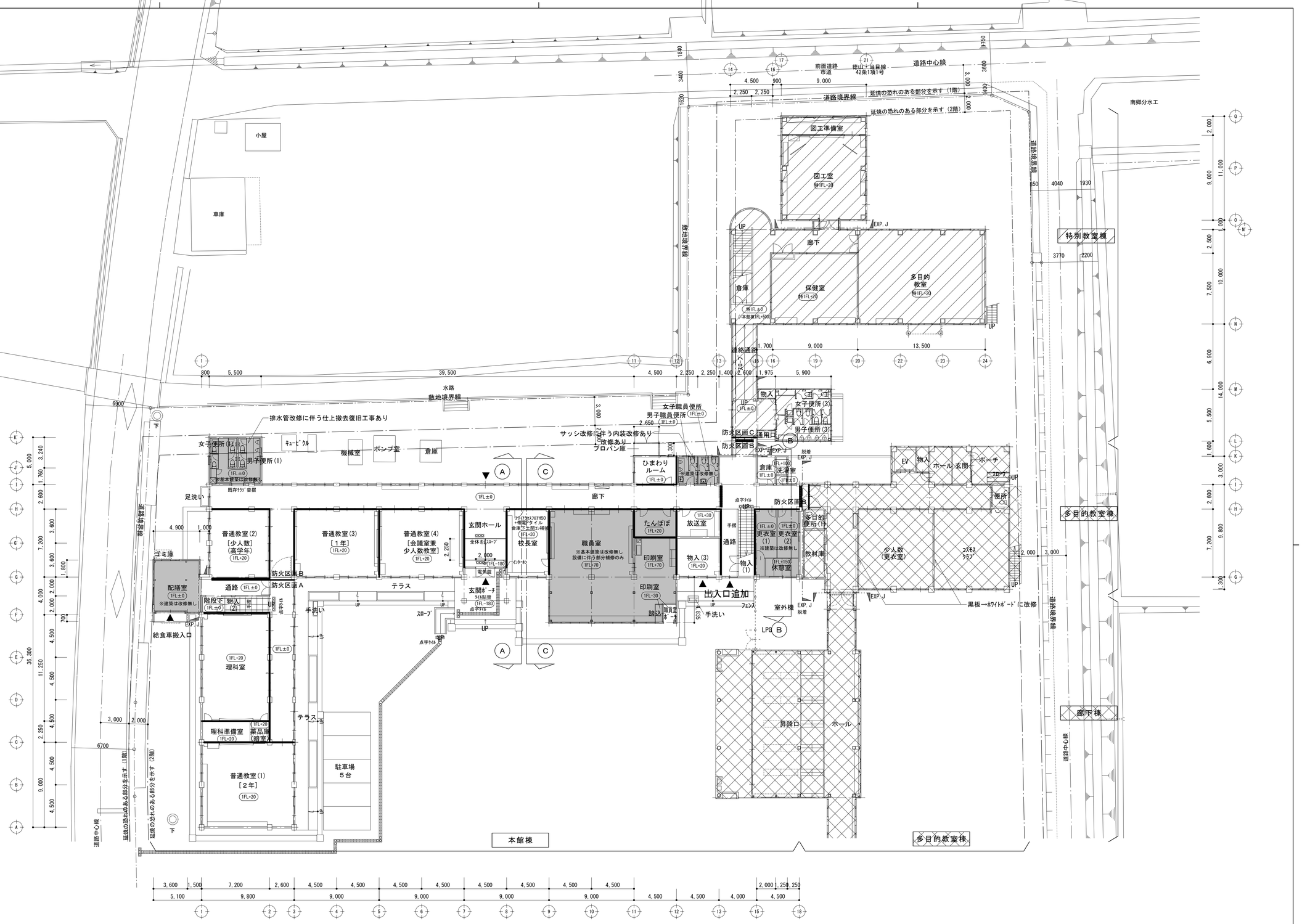
本工事（特別教室棟）別図による

改修前

訂	月 .日		月 .日		月 .日		建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	- - -	工事名	浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)	本館棟	SCALE	A
	.		.		.								改修前 屋根伏図	1:200(A1) 1:400(A3)	No. 18/123
正	.		.		.						DATE . .				

凡　例（特記なき限り新設）	
	鉄筋コンクリート壁（既設）
	ALCt100（既設残置）
	軽量鉄骨間仕切壁
	CB壁
屋消	屋内消火栓設置位置を示す
消	10型消火器（ボックス共）設置位置を示す
誘	誘導標識設置位置を示す
＊＊	設計GLからの床仕上げ高さを示す
□	
EXP.J	ステンレス製
	外部及び面積区画部分は耐火仕様とする
特連	特定防火設備　煙感知機連動
特	特定防火設備
防	防火設備
面積区画	コンクリート壁t150又は
	LGS下地強化GBt15+15（両面）
水平区画	コンクリートスラブt120
	防火区画
	防火上主要な間仕切り
	断面切断位置
	工事期間中　仮設間仕切り壁（天井裏ｽﾗﾌﾞまで）
特　記　事　項	

展開方位	方位
A B C D	N



本館棟　1階平面図　1/200

	本工事　範囲外を示す　【多目的教室棟・廊下棟】
	本工事（特別教室棟）別図による
	本工事（本館棟）　既存のまま（内部のみ）を示す

改修後

訂正	月 日	月 日	月 日

建築事務所 BCY'S　株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所　一級建築士登録第 204199 号　山本 勝義

FILE No. – – –

工事名：浅井小学校本館等長寿命化改修工事（建築）

DATE . .

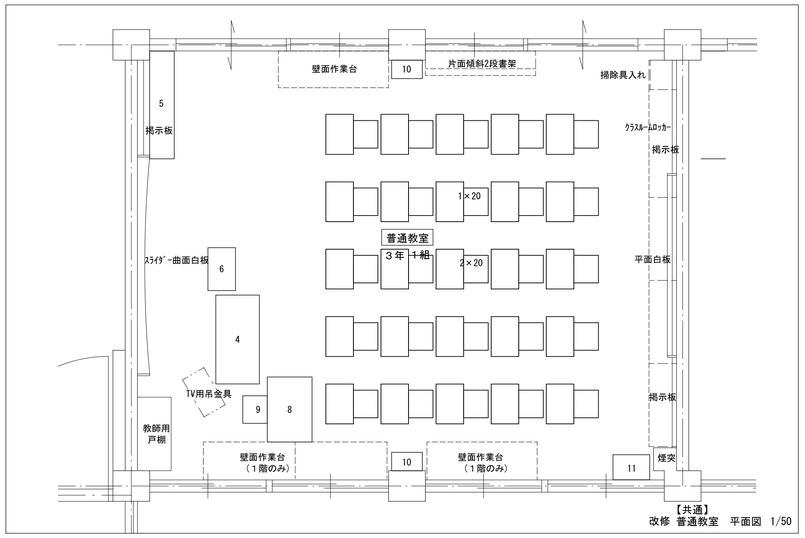
本館棟　改修後　1階平面図

SCALE　1:200(A1)　1:400(A3)　A

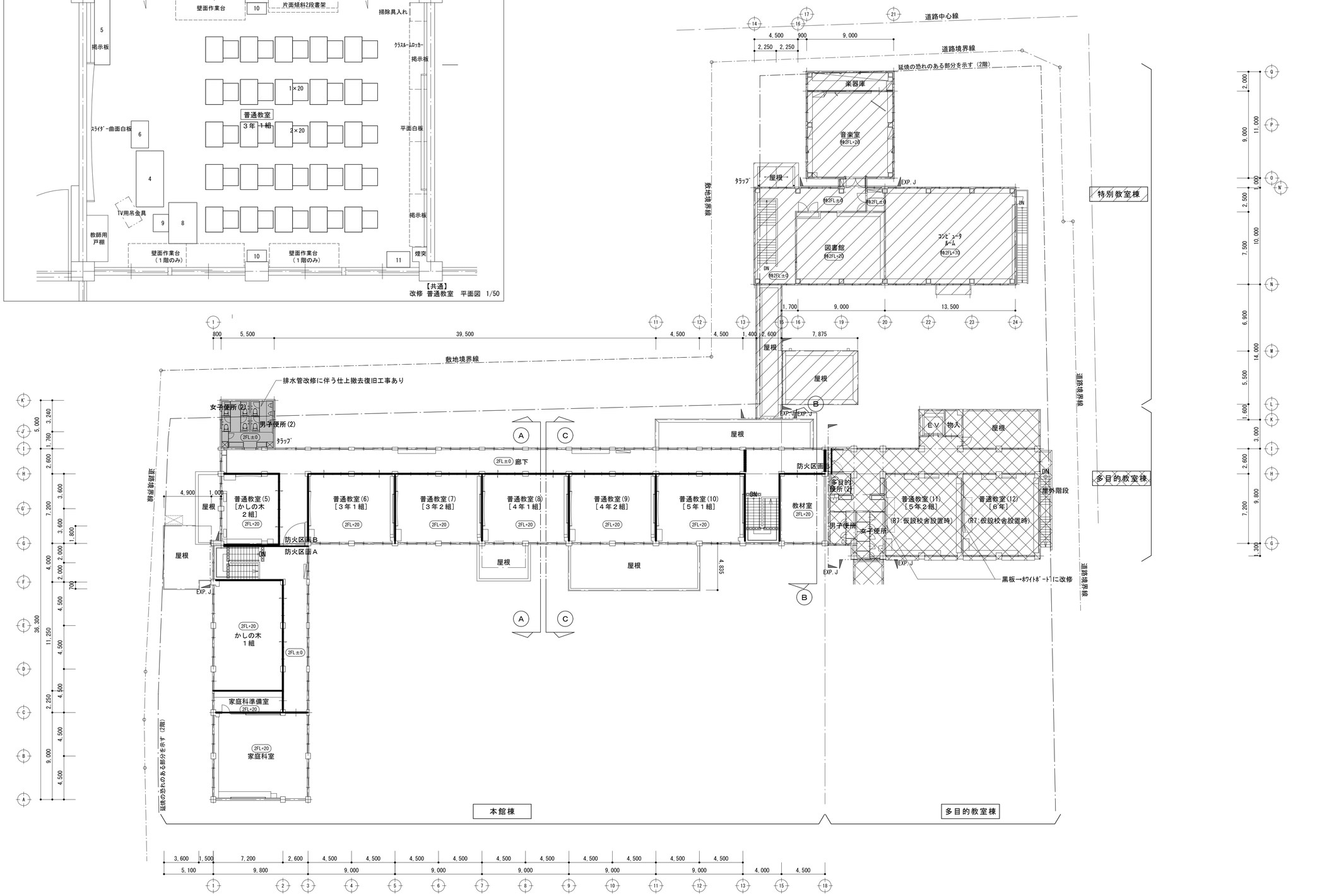
No. 19 / 123

凡　例（特記なき限り新設）	
	鉄筋コンクリート壁（既設）
	ALCt100（既設残置）
	軽量鉄骨間仕切壁
	CB壁
屋消	屋内消火栓設置位置を示す
消	10型消火器（ボックス共）設置位置を示す
誘	誘導標識設置位置を示す
＊＊	設計GLからの床仕上げ高さを示す
□	
EXP.J	ステンレス製
	外部及び面積区画部分は耐火仕様とする
特感	特定防火設備　煙感知機連動
特	特定防火設備
防	防火設備
面積区画	コンクリート壁t150又は
	LGS下地強化GBt15+15（両面）
水平区画	コンクリートスラブt120
	防火区画
	防火上主要な間仕切り
	断面切断位置
	工事期間中　仮設間仕切り壁（天井裏ｽﾗﾌﾞまで）
特　記　事　項	

展開方位	方位
A B C D	N



【共通】
改修 普通教室　平面図　1/50



本館棟　２階平面図　1/200

	本工事　範囲外を示す　【多目的教室棟・廊下棟】
	本工事（特別教室棟）別図による
	本工事（本館棟）　既存のまま（内部のみ）を示す

改修後

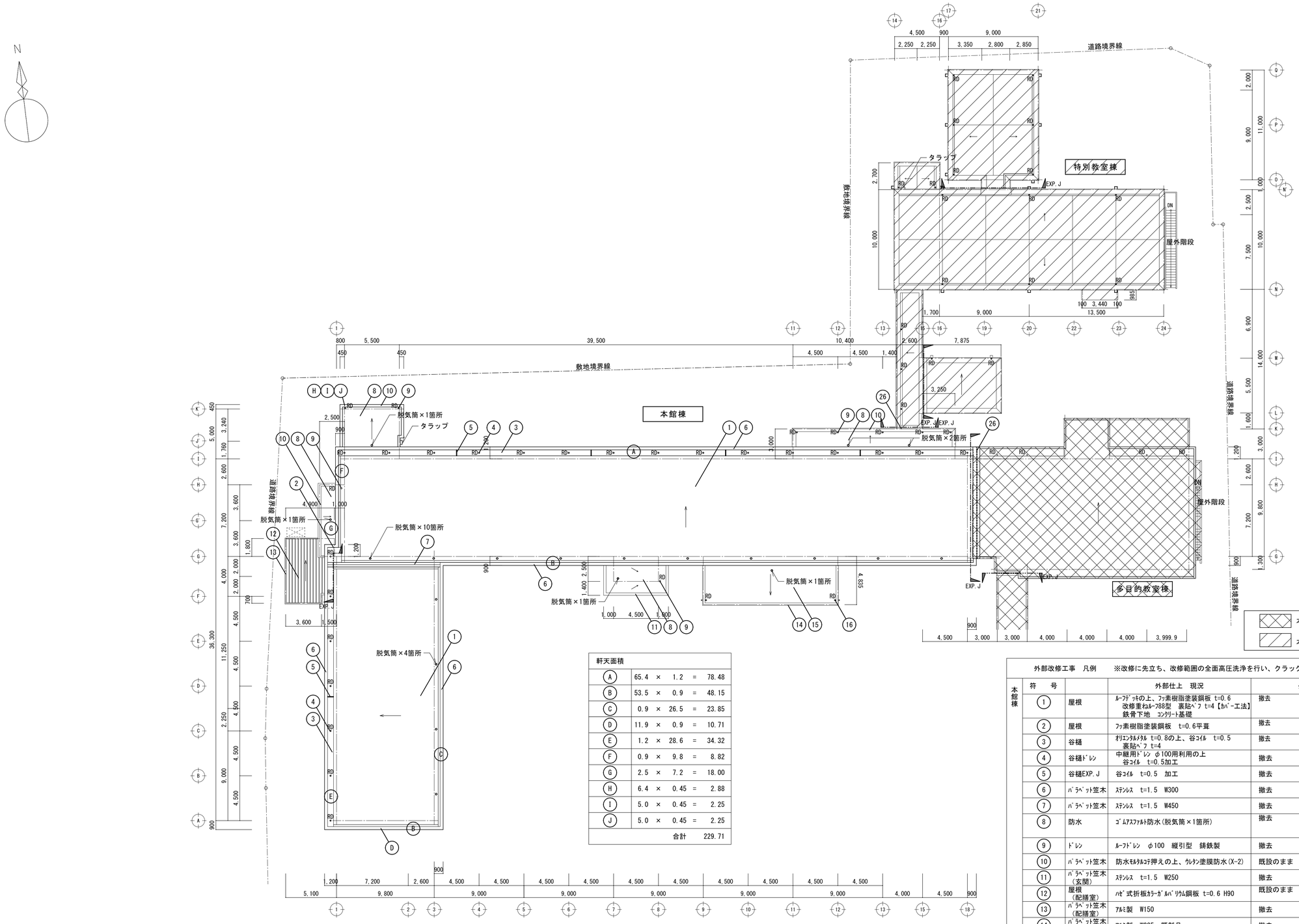
訂正	月 日	月 日	月 日

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. － － －

工事名：浅井小学校本館等長寿命化改修工事（建築）
DATE . .

本館棟
改修後　２階平面図
SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)
A
No. 20/123



本館棟　屋根伏図　1/200

軒天面積					
A	65.4	×	1.2	=	78.48
B	53.5	×	0.9	=	48.15
C	0.9	×	26.5	=	23.85
D	11.9	×	0.9	=	10.71
E	1.2	×	28.6	=	34.32
F	0.9	×	9.8	=	8.82
G	2.5	×	7.2	=	18.00
H	6.4	×	0.45	=	2.88
I	5.0	×	0.45	=	2.25
J	5.0	×	0.45	=	2.25
			合計		229.71

外部改修工事　凡例　　※改修に先立ち、改修範囲の全面高圧洗浄を行い、クラック及び浮き部分の補修を行う。

本館棟	符号		外部仕上　現況	外部仕上　改修	
	1	屋根	ﾙｰﾌﾃﾞｯｷの上、ﾌｯ素樹脂塗装鋼板 t=0.6 改修重ねﾙｰ788型　裏貼ﾍﾞﾌ t=4【ｶﾊﾞｰ工法】 鉄骨下地　ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎	撤去　新設　平場・立上り:下地処理及び不陸整正の上　塩ﾋﾞｼｰﾄ防水S-M2 t=1.5遮熱ｼｰﾄ(機械式固定工法) 立上り:ｱﾙｶ金物押(L40×10×1.2) ｽﾃﾝﾚｽ製脱気筒	
	2	屋根	ﾌｯ素樹脂塗装鋼板　t=0.6平葺	撤去　新設　平場・立上り:下地処理及び不陸整正の上　塩ﾋﾞｼｰﾄ防水S-M2 t=1.5遮熱ｼｰﾄ(機械式固定工法) 立上り:ｱﾙｶ金物押(L40×10×1.2)	
	3	谷樋	ｵﾘｴﾝﾀﾙﾒﾀﾙ t=0.8の上、谷ｺｲﾙ　t=0.5 裏貼ﾍﾞﾌ t=4	撤去　新設　平場・立上り:下地処理及び不陸整正の上　塩ﾋﾞｼｰﾄ防水S-M2 t=1.5遮熱ｼｰﾄ(機械式固定工法)　ｽﾃﾝﾚｽ製脱気筒	
	4	谷樋ﾄﾞﾚﾝ	中継用ﾄﾞﾚﾝ φ100用利用の上 谷ｺｲﾙ　t=0.5加工	撤去　新設　φ100	
	5	谷樋EXP. J	谷ｺｲﾙ　t=0.5　加工	撤去	
	6	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ笠木	ｽﾃﾝﾚｽ　t=1.5　W300	撤去　新設　ｽﾃﾝﾚｽ　t=1.5　W300	
	7	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ笠木	ｽﾃﾝﾚｽ　t=1.5　W450	撤去　新設　ｽﾃﾝﾚｽ　t=1.5　W450	
	8	防水	ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄ防水(脱気筒×1箇所)	撤去　新設　平場・立上り:下地処理の上　塩ﾋﾞｼｰﾄ防水S-M2 t=1.5遮熱ｼｰﾄ(機械式固定工法) 立上り:ｱﾙｶ金物押(L40×10×1.2) ｽﾃﾝﾚｽ製脱気筒	
	9	ﾄﾞﾚﾝ	ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　φ100　縦引型　鋳鉄製	撤去　新設　ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　100φ　縦引型　塩ﾋﾞ製　改修用	
	10	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ笠木	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)	既設のまま　下地処理の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)	
	11	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ笠木 (玄関)	ｽﾃﾝﾚｽ　t=1.5　W250	撤去　新設　ｽﾃﾝﾚｽ　t=1.5　W250	
	12	屋根 (配膳室)	ﾊｾﾞ式折板ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.6 H90	既設のまま　新設　既設屋根の上、断熱金具、ﾊｾﾞ式折板 ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t0.6 H90【ｶﾊﾞｰ工法】	
	13	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ笠木 (配膳室)	ｱﾙﾐ製　W150	撤去　新設　ｱﾙﾐ製　W150　既製品	
	14	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ笠木 (職員室)	ｱﾙﾐ製　W225　既製品	撤去　新設　ｱﾙﾐ製　W225　既製品	
	15	防水 (職員室)	ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄ防水(脱気筒×1箇所)	撤去　新設　平場・立上り:下地処理の上　塩ﾋﾞｼｰﾄ防水S-M2 t=1.5遮熱ｼｰﾄ(機械式固定工法) 立上り:ｱﾙｶ金物押(L40×10×1.2)	
	16	ﾄﾞﾚﾝ (職員室)	ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　φ100　横引型　鋳鉄製	撤去　新設　ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　100φ　横引型　塩ﾋﾞ製　改修用	
	26	EXP. J	ｽﾃﾝﾚｽ製　ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ用　耐火	既設のまま　清掃（ﾋﾞｽ頭ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え共）	

改修後

訂正	月	日	月	日	月	日
	.		.		.	
	.		.		.	
	.		.		.	

建築事務所 BCY'S
株式会社　ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

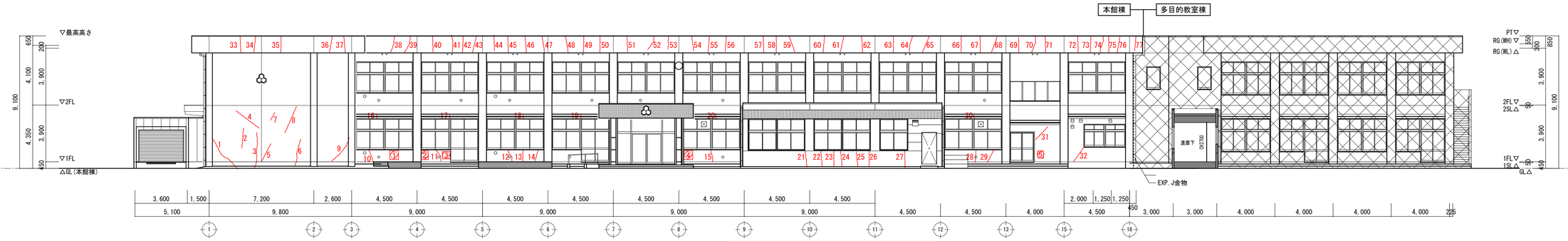
FILE No.　－　－　－

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE

本館棟
改修後　屋根伏図

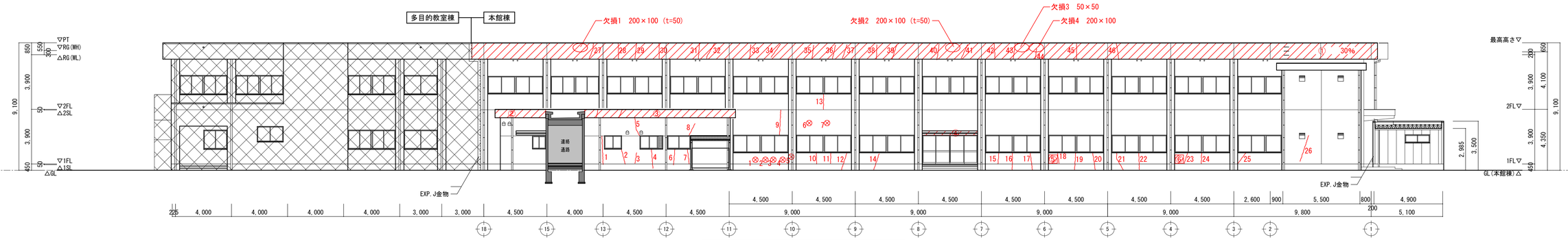
SCALE　A
1:200(A1)　1:400(A3)

No. 21 / 123



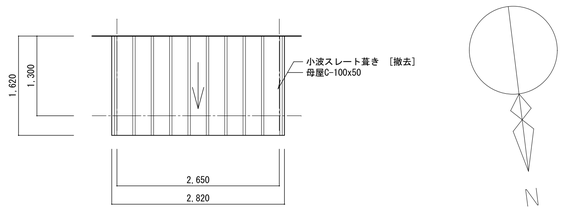
本館棟・多目的教室棟　南立面図　1/150

本工事　範囲外を示す　【多目的教室棟・廊下棟】

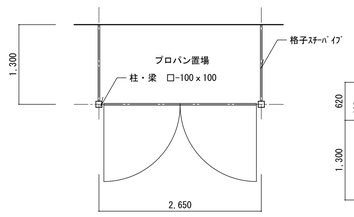


本館棟・多目的教室棟　北立面図　1/150

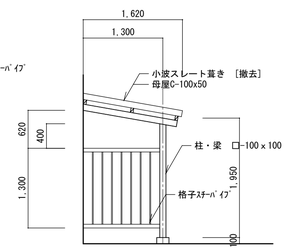
本工事　範囲外を示す　【多目的教室棟・廊下棟】　　本工事（特別教室棟）　既存のまま（内部のみ）を示す



プロパン上屋　屋根伏図　1/50



プロパン上屋　平面図　1/50



プロパン上屋　側面図　1/50

（参考）表 ― 補修工事

目視クラック部（0.2mm以上1.0mm未満）
本館棟　南立面　巾木

番号	長さ(m)	番号	長さ(m)
1	0.45		
3	0.45		
6	0.45		
21	0.45		
22	0.45		
23	0.45		
24	0.45		
25	0.45		
26	0.45		
27	0.45		
		合計	4.50
		設計数量(合計×1.3)	5.85

目視クラック部（0.2mm以上1.0mm未満）
本館棟　南立面　壁面

番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)
1	2.25	11	0.90	21	0.65	31	1.20
2	1.40	12	0.90	22	0.65	32	1.20
3	2.05	13	0.90	23	0.65	33	54.00
4	2.00	14	0.90	24	0.65	～77	1.20×45ヶ所
5	1.40	15	0.90	25	0.65		
6	1.45	16	0.50	26	0.65		
7	0.60	17	0.50	27	0.65		
8	2.00	18	0.50	28	0.90		
9	2.10	19	0.50	29	0.90		
10	0.90	20	0.50	30	0.50		
						合計	86.40
						設計数量(合計×1.3)	112.32

目視塗膜浮き部
本館棟　南立面

番号	面積(㎡)	
①	0.7*0.7	0.50
②	0.7*0.7	0.50
③	0.7*0.7	0.50
④	0.7*0.7	0.50
⑤	0.7*0.7	0.50
	合計	2.50
設計数量(合計×1.3)		3.25

凡　例

	ひび割れ
	塗膜浮き（30%：状態の割合）
⊗	ｺｰﾝ穴欠損
	欠損

目視クラック部（0.2mm以上1.0mm未満）
本館棟　北立面　巾木

番号	長さ(m)	番号	長さ(m)
4	0.45		
12	0.45		
14	0.45		
16	0.45		
17	0.45		
19	0.45		
20	0.45		
21	0.45		
22	0.45		
		合計	4.05
		設計数量(合計×1.3)	5.27

目視クラック部（0.2mm以上1.0mm未満）
本館棟　北立面　壁面

番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)
1	2.00	11	0.70	21	0.85	46	1.20
2	1.10	12	0.75	22	0.75		
3	0.80	13	1.10	23	0.80		
4	0.95	14	0.75	24	0.80		
5	1.30	15	0.80	25	0.90		
6	1.10	16	0.75	26	1.90		
7	1.00	17	0.75	27	20.40		
8	0.90	18	0.70	～43	1.20×17ヶ所		
9	1.80	19	0.75	44	0.70		
10	0.80	20	0.75	45	1.20		
						合計	49.05
						設計数量(合計×1.3)	63.77

目視塗膜浮き部
本館棟　北立面

番号	面積(㎡)	
①	64.6*1.17*30%	22.70
②	3.6*0.6	2.20
③	10.8*0.6	6.50
④	4.0*0.3	1.20
⑤	0.7*0.7	0.50
⑥	0.7*0.7	0.50
	計	33.60
合計(計×30%)		10.08
設計数量(合計×1.3)		13.11

欠損部
本館棟　北立面

大きさ・深さ(mm)	面積(㎡)
欠損1　200×100（t=50）	0.02
欠損2　200×100（t=50）	0.02
欠損3　50×50	0.0025
欠損4　200×100	0.02
合計	0.063
設計数量(合計×1.3)	0.082

ｺｰﾝ穴欠損部
本館棟　北立面

大きさ(mm)	ヶ所数
100×100	7
合計	7
設計数量(合計×1.3)	10

目視クラック部（0.2mm以上1.0mm未満）
本館棟　軒天補修

番号	長さ(m)	番号	長さ(m)
		合計	26.90
		設計数量(合計×1.3)	35.00

欠損部
本館棟　軒天補修

大きさ・深さ(mm)	面積(㎡)
合計	10.80
設計数量(合計×1.3)	14.00

特記事項
・本図ひび割れ位置・数量については概略を示す参考数量とし、本工事前に外壁調査を行い調査報告書を提出すること
・外壁改修工事に影響する設備機器は配管等を浮かせ、仕上・防水が切れないように施工すること

改修前

訂正	月 日	月 日	月 日

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

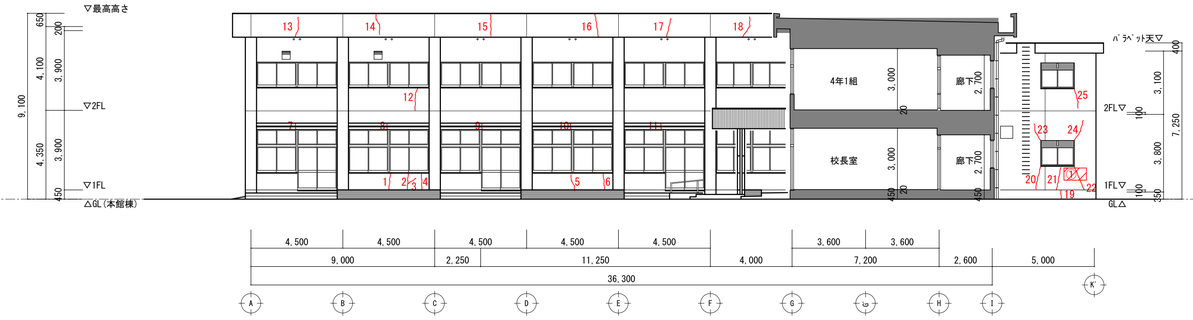
FILE No. － － －

工事名：浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE

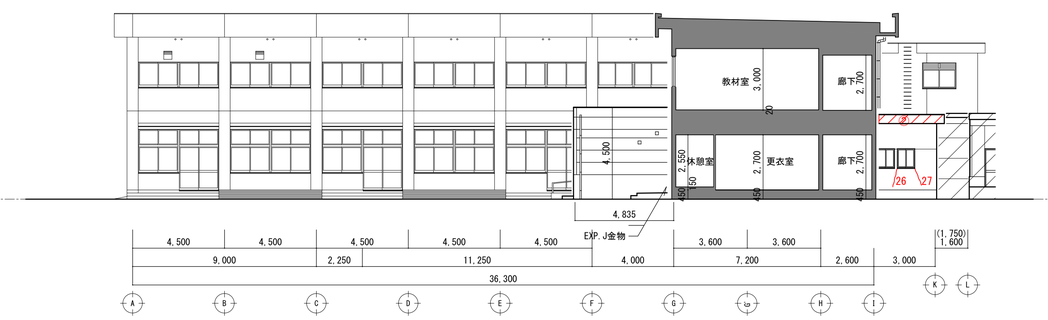
本館棟
改修前　立面図－1

SCALE A
1:150(A1)　1:300(A3)

No. 22 / 123



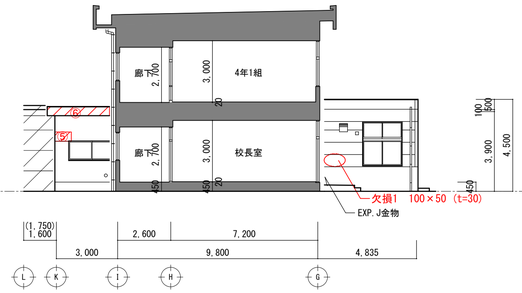
本館棟　東立面図、Ａ－Ａ断面図　1/150



本館棟・特別教室棟　東立面図、Ｂ－Ｂ断面図　1/150

本工事（特別教室棟）別図による

本館棟　西立面図　1/150



本館棟　西立面図、Ｃ－Ｃ断面図　1/150

本工事（特別教室棟）別図による

（参考）表 ― 補修工事

目視クラック部（0.2mm以上1.0mm未満）本館棟　東立面　巾木			
番号	長さ(m)	番号	長さ(m)
19	0.40		
		合計	0.40
		設計数量(合計×1.3)	0.52

目視クラック部（0.2mm以上1.0mm未満）本館棟　東立面　壁面					
番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)
1	0.80	11	0.50	21	1.10
2	0.80	12	1.10	22	1.10
3	0.50	13	1.20	23	0.90
4	0.80	14	1.20	24	1.10
5	0.80	15	1.20	25	1.00
6	0.80	16	1.20	26	0.90
7	0.50	17	1.20	27	0.90
8	0.50	18	1.20		
9	0.50				
10	0.50	20	1.10		
				合計	23.40
				設計数量(合計×1.3)	30.42

目視塗膜浮き部 本館棟　東立面		
番号	面積(㎡)	
①	0.7*0.7	0.50
②	3.6*0.6	2.20
	合計	2.70
	設計数量(合計×1.3)	3.51

凡　　例	
	ひび割れ
	塗膜浮き（30%：状態の割合）
⊗	ｺｰﾝ穴欠損
⬭	欠損

目視クラック部（0.2mm以上1.0mm未満）本館棟　西立面　巾木			
番号	長さ(m)	番号	長さ(m)
4	0.30	14	0.30
5	0.30	15	0.30
6	0.30	16	0.30
7	0.30	17	0.30
8	0.30	18	0.30
9	0.30		
10	0.30		
11	0.30		
12	0.30		
13	0.30		
		合計	4.50
		設計数量(合計×1.3)	5.85

目視クラック部（0.2mm以上1.0mm未満）本館棟　西立面　壁面							
番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)
1	1.40			21	1.70	31	9.60
2	1.60			22	0.50	～38	1.20×8ヶ所
3	1.10			23	0.50		
				24	0.50		
				25	0.50		
				26	0.50		
				27	0.50		
				28	0.50		
		19	1.10	29	1.20		
		20	1.50	30	0.80		
						合計	23.50
						設計数量(合計×1.3)	30.55

目視塗膜浮き部 本館棟　西立面		
番号	面積(㎡)	
①	0.5*0.5	0.30
②	1.7*1.0	1.70
③	5.5*0.4	2.20
④	38.4*1.17	45.00
⑤	0.8*0.5	0.40
⑥	3.6*0.6	2.20
	計	51.80
	合計(計×30%)	15.54
	設計数量(合計×1.3)	20.21

欠損部 本館棟　西立面(ALC)	
大きさ・深さ(mm)	面積(㎡)
欠損1　100×50（t=30）	0.005
	合計 0.005
	設計数量(合計×1.3) 0.007

目視クラック部（0.2mm以上1.0mm未満）本館棟　軒天補修			
番号	長さ(m)	番号	長さ(m)
		合計	17.30
		設計数量(合計×1.3)	22.50

欠損部 本館棟　軒天補修	
大きさ・深さ(mm)	面積(㎡)
	合計 6.90
	設計数量(合計×1.3) 9.00

特記事項
・本図ひび割れ位置・数量については概略を示す参考数量とし、本工事前に外壁調査を行い調査報告書を提出すること
・外壁改修工事に影響する設備機器は配管等を浮かせ、仕上・防水が切れないように施工すること

改修前

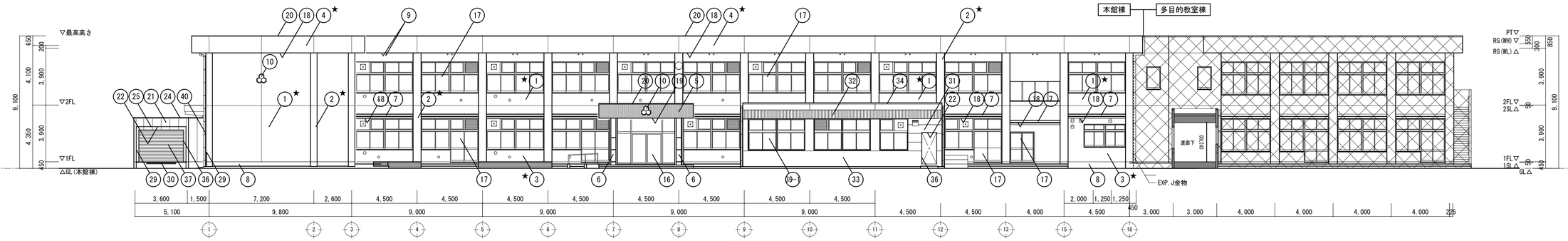
訂正	月 日	月 日	月 日
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No. － － －

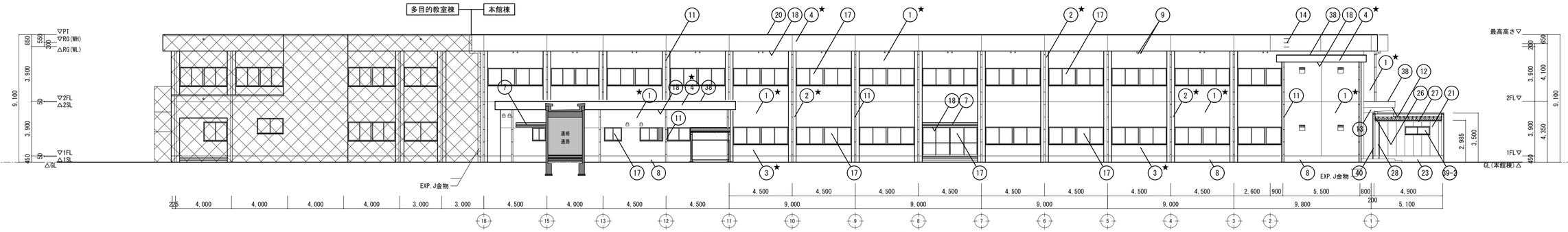
工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE . .

本館棟 改修前 立面図－2
SCALE 1:150(A1) 1:300(A3)
A
No. 23/123



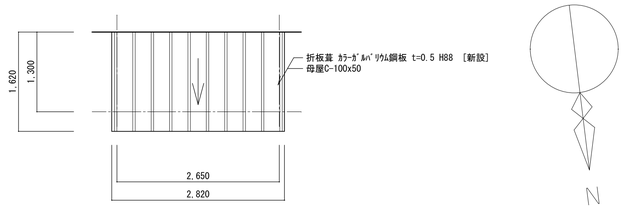
本館棟・多目的教室棟　南立面図　1/150

本工事　範囲外を示す　【多目的教室棟・廊下棟】



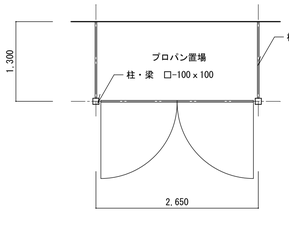
本館棟・多目的教室棟　北立面図　1/150

本工事　範囲外を示す　【多目的教室棟・廊下棟】　　本工事（特別教室棟）　既存のまま（内部のみ）を示す

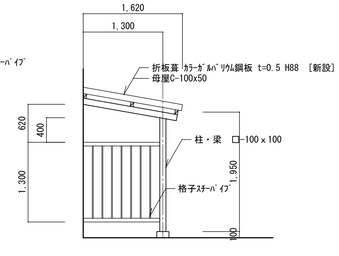


プロパン上屋　屋根伏図　1/50

部位	改修内容
屋根：小波スレート葺き[撤去]	屋根：ガルバリウム鋼板t0.5葺[新設]
柱・梁・母屋・格子：スチール製	既設のまま　下地処理の上DP塗



プロパン上屋　平面図　1/50



プロパン上屋　側面図　1/50

外部改修工事　凡例　　※改修に先立ち、改修範囲の全面高圧洗浄を行い、クラック及び浮き部分の補修を行う。　　★：アスベスト含有建材を示す　　※アスベスト除去方法は、集塵機付きグラインダーを使用して除去をする。

符号		外部仕上　現況	外部仕上　改修
1	外壁	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付の上、★ ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗
2	外壁(柱)	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付の上、★ ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗
3	外壁(腰壁)	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付の上、★ ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗
4	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付の上、★ ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗
5	玄関ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ	ｶﾗｰｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ　t=1.1	撤去　新設　ｶﾗｰｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ　t=1.1（LGS下地共）
6	玄関外壁・柱	大理石貼	既設のまま　清掃
7	小庇天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-3）	既設のまま　下地処理の上　ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-3）
8	巾木	撥水材塗布	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　撥水剤塗布
9	換気ﾊﾟｲﾌﾟ	塩ビ　50φ　VP塗	既設のまま　下地処理の上　VP塗
10	校章	真鍮製	撤去　新設　ｽﾃﾝﾚｽ製
11	竪樋	塩ビ　100φ　VP塗	撤去　新設　塩ビ　100φ　VP塗
12	西面庇軒天	ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
13	西面庇梁型	ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
14	ﾀﾗｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ製　φ22　W300　@300	既設のまま　清掃
15	西面足洗い	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	撤去　新設　ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼　50角（ﾓﾙﾀﾙ下地共）
16	玄関ｻｯｼ	ｽﾃﾝﾚｽ製	撤去　新設　ｽﾃﾝﾚｽ製
17	ｱﾙﾐｻｯｼ	ｱﾙﾐ製　ｶﾗｰ　一部ｶﾊﾞｰ工法	撤去　新設　ｱﾙﾐ製　ｶﾗｰ　一部ｶﾊﾞｰ工法
18	軒天・庇裏	ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
19	玄関軒天	ｶﾗｰｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙﾘﾌﾞ付　t=1.1	撤去　新設　ｶﾗｰｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙﾘﾌﾞ付　t=1.1（LGS下地共）
20	笠木	ｽﾃﾝﾚｽ製　t=1.5 ﾍﾏﾗｲﾝ仕上	撤去　新設　ｽﾃﾝﾚｽ製　t=1.5 ﾍﾏﾗｲﾝ仕上（補強下地共）

符号		外部仕上　現況	外部仕上　改修
21	外壁	吹付ﾀｲﾙ（ALC版　t=100）	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗
22	軒天	ｹｲｶﾙ板　t=6　底目地張 EP塗	撤去　新設　ｹｲｶﾙ板　t=6　底目地張 EP塗（LGS下地共）
23	巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　撥水剤塗布
24	笠木	ｱﾙﾐ製　W150	撤去　新設　ｱﾙﾐ製　W150
25	下端見切	ｱﾙﾐ製　既製品	撤去　新設　ｱﾙﾐ製　既製品
26	立上り	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t=0.5	既設のまま　新設　既設の上、ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t=0.5 【ｶﾊﾞｰ工法】
27	軒樋	塩ビ　105×105　既製品	撤去　新設　塩ビ　105×105　既製品（受金物共）
28	竪樋	塩ビ　60A　既製品	撤去　新設　塩ビ　60A　既製品（受金物共）
29	ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ	硬質塩ビ製　65×65　L1000	撤去　新設　硬質塩ビ製　65×65　L1000
30	ｶｰｽﾄｯﾊﾟｰ	ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞｺﾞﾑ　W100　H100	撤去　新設　ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞｺﾞﾑ　W100　H100
31	外壁	吹付ﾀｲﾙ（ALC版　t=120）	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗
32	外壁	吹付ﾀｲﾙ（ALC版　t=150　ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ）	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗
33	巾木	吹付ﾀｲﾙ（ｺﾝｸﾘｰﾄ）	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　撥水剤塗布
34	笠木	ｱﾙﾐ製　W225　既製品	撤去　新設　ｱﾙﾐ製　W225　既製品
35	竪樋	ｶﾗｰVP　100φ	撤去　新設　ｶﾗｰVP　100φ
36	三方枠	ｱﾙﾐ製	既設のまま　清掃
37	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ	電動ｽﾁｰﾙ製軽量ｽﾀﾞﾘﾝｸﾞｼｬｯﾀｰ	既設のまま　清掃
38	笠木	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）	撤去　新設　ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）
39-1	ｱﾙﾐｻｯｼ	ｱﾙﾐ製　ｶﾗｰ	39-1　撤去　新設　ｱﾙﾐ製　ｶﾗｰ　ｶﾊﾞｰ工法 39-2　既設のまま　清掃
39-2			
40	EXP.J	ｽﾃﾝﾚｽ製	撤去　新設　ｽﾃﾝﾚｽ製

改修後

訂	月　.日	月　.日	月　.日		
正	.	.	.		

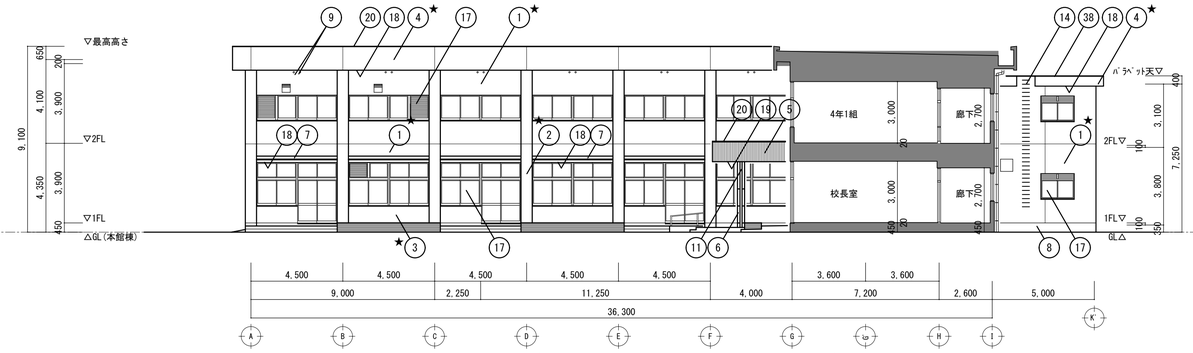
建築事務所 BCY'S
株式会社　ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

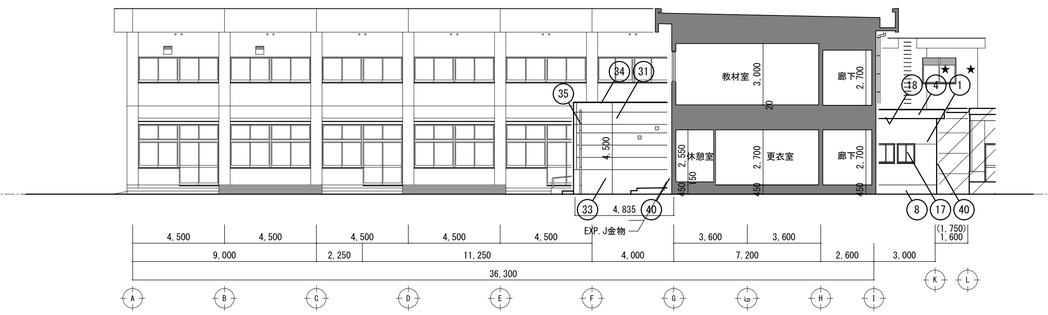
FILE No.　－　－　－

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE

本館棟	SCALE	A
改修後　立面図－1	1:150(A1)　1:300(A3)	No. 24/123
外部仕上表	1:---(A1)　1:---(A3)	

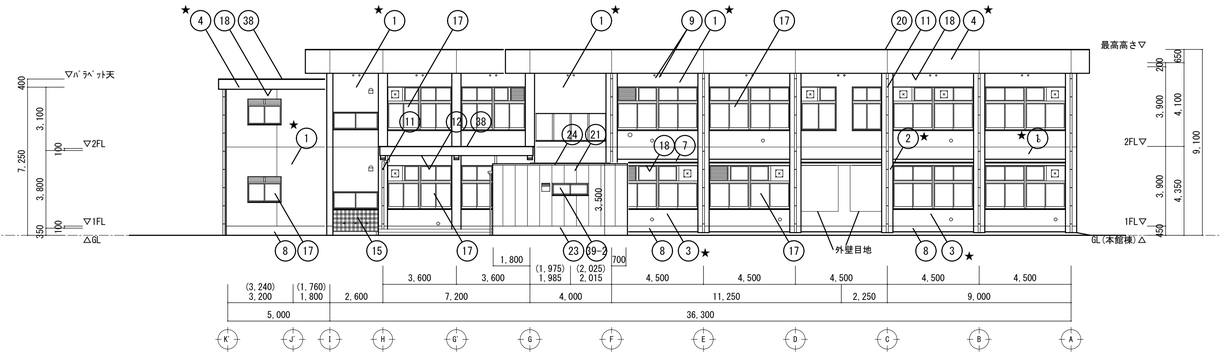


本館棟　東立面図、Ａ－Ａ断面図　1/150

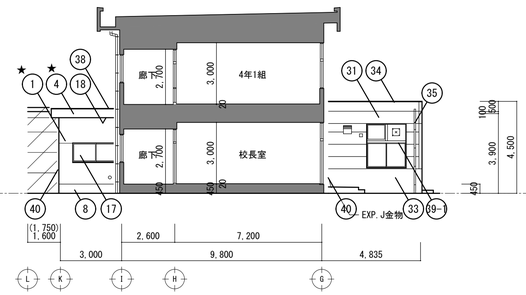


本館棟・特別教室棟　東立面図、Ｂ－Ｂ断面図　1/150

本工事（特別教室棟）別図による



本館棟　西立面図　1/150



本館棟　西立面図、Ｃ－Ｃ断面図　1/150

本工事（特別教室棟）別図による

外部改修工事　凡例　　※改修に先立ち、改修範囲の全面高圧洗浄を行い、クラック及び浮き部分の補修を行う。　　★：アスベスト含有建材を示す　　※アスベスト除去方法は、集塵機付きグラインダーを使用して除去をする。

符　号		外部仕上　現況	外部仕上　改修	符　号		外部仕上　現況	外部仕上　改修
1	外壁	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付の上、★ ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗	21	外壁	吹付ﾀｲﾙ（ALC版　t=100）	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗
2	外壁(柱)	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付の上、★ ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗	22	軒天	ｹｲｶﾙ板　t=6　底目地張　EP塗	撤去　新設　ｹｲｶﾙ板　t=6　底目地張　EP塗（LGS下地共）
3	外壁(腰壁)	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付の上、★ ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗	23	巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　撥水剤塗布
4	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引きｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付の上、★ ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗	24	笠木	ｱﾙﾐ製　W150	撤去　新設　ｱﾙﾐ製　W150
5	玄関ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ	ｶﾗｰｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ　t=1.1	撤去　新設　ｶﾗｰｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ　t=1.1（LGS下地共）	25	下端見切	ｱﾙﾐ製　既製品	撤去　新設　ｱﾙﾐ製　既製品
6	玄関外壁･柱	大理石貼	既設のまま　清掃	26	立上り	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t=0.5	既設のまま　新設　既設の上、ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t=0.5 【ｶﾊﾞｰ工法】
7	小庇天端	防水ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-3）	既設のまま　下地処理の上　ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-3）	27	軒樋	塩ビ　105×105　既製品	撤去　新設　塩ビ　105×105　既製品（受金物共）
8	巾木	撥水材塗布	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　撥水剤塗布	28	竪樋	塩ビ　60A　既製品	撤去　新設　塩ビ　60A　既製品（受金物共）
9	換気ﾊﾟｲﾌﾟ	塩ビ　50φ　VP塗	既設のまま　下地処理の上　VP塗	29	ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ	硬質塩ビ製　65×65　L1000	撤去　新設　硬質塩ビ製　65×65　L1000
10	校章	真鍮製	撤去　新設　ｽﾃﾝﾚｽ製	30	ｶｰｽﾄｯﾊﾟｰ	ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞｺﾞﾑ　W100　H100	撤去　新設　ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞｺﾞﾑ　W100　H100
11	竪樋	塩ビ　100φ　VP塗	撤去　新設　塩ビ　100φ　VP塗	31	外壁	吹付ﾀｲﾙ（ALC版　t=120）	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗
12	西面庇軒天	ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	32	外壁	吹付ﾀｲﾙ（ALC版　t=150　ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ）	既設のまま　既設劣化部下地処理の上 ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材ﾛｰﾗｰ塗
13	西面庇梁型	ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	33	巾木	吹付ﾀｲﾙ（ｺﾝｸﾘｰﾄ）	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　撥水剤塗布
14	ﾀﾗｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ製　φ22　W300　@300	既設のまま　清掃	34	笠木	ｱﾙﾐ製　W225　既製品	撤去　新設　ｱﾙﾐ製　W225　既製品
15	西面足洗い	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	撤去　新設　ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼　50角（ﾓﾙﾀﾙ下地共）	35	竪樋	ｶﾗｰVP　100φ	撤去　新設　ｶﾗｰVP　100φ
16	玄関ｻｯｼ	ｽﾃﾝﾚｽ製	撤去　新設　ｽﾃﾝﾚｽ製	36	三方枠	ｱﾙﾐ製	既設のまま　清掃
17	ｱﾙﾐｻｯｼ	ｱﾙﾐ製　ｶﾗｰ　一部ｶﾊﾞｰ工法	撤去　新設　ｱﾙﾐ製　ｶﾗｰ　一部ｶﾊﾞｰ工法	37	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ	電動ｽﾁｰﾙ製軽量ｽﾗﾘﾝｸﾞｼｬｯﾀｰ	既設のまま　清掃
18	軒天・庇裏	ｶﾁｵﾝ系樹脂ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	既設のまま　既設劣化部下地処理の上　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	38	笠木	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）	撤去　新設　ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）
19	玄関軒天	ｶﾗｰｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙﾘﾌﾞ付　t=1.1	撤去　新設　ｶﾗｰｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙﾘﾌﾞ付　t=1.1（LGS下地共）	39-1 39-2	ｱﾙﾐｻｯｼ	ｱﾙﾐ製　ｶﾗｰ	39-1　撤去　新設　ｱﾙﾐ製　ｶﾗｰ　ｶﾊﾞｰ工法 39-2　既設のまま　清掃
20	笠木	ｽﾃﾝﾚｽ製　t=1.5 ﾍｱﾗｲﾝ仕上	撤去　新設　ｽﾃﾝﾚｽ製　t=1.5 ﾍｱﾗｲﾝ仕上（補強下地共）	40	EXP.J	ｽﾃﾝﾚｽ製	撤去　新設　ｽﾃﾝﾚｽ製

改修後

DT	月　.日	月　.日	月　.日
	.	.	.
	.	.	.
正	.	.	.

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

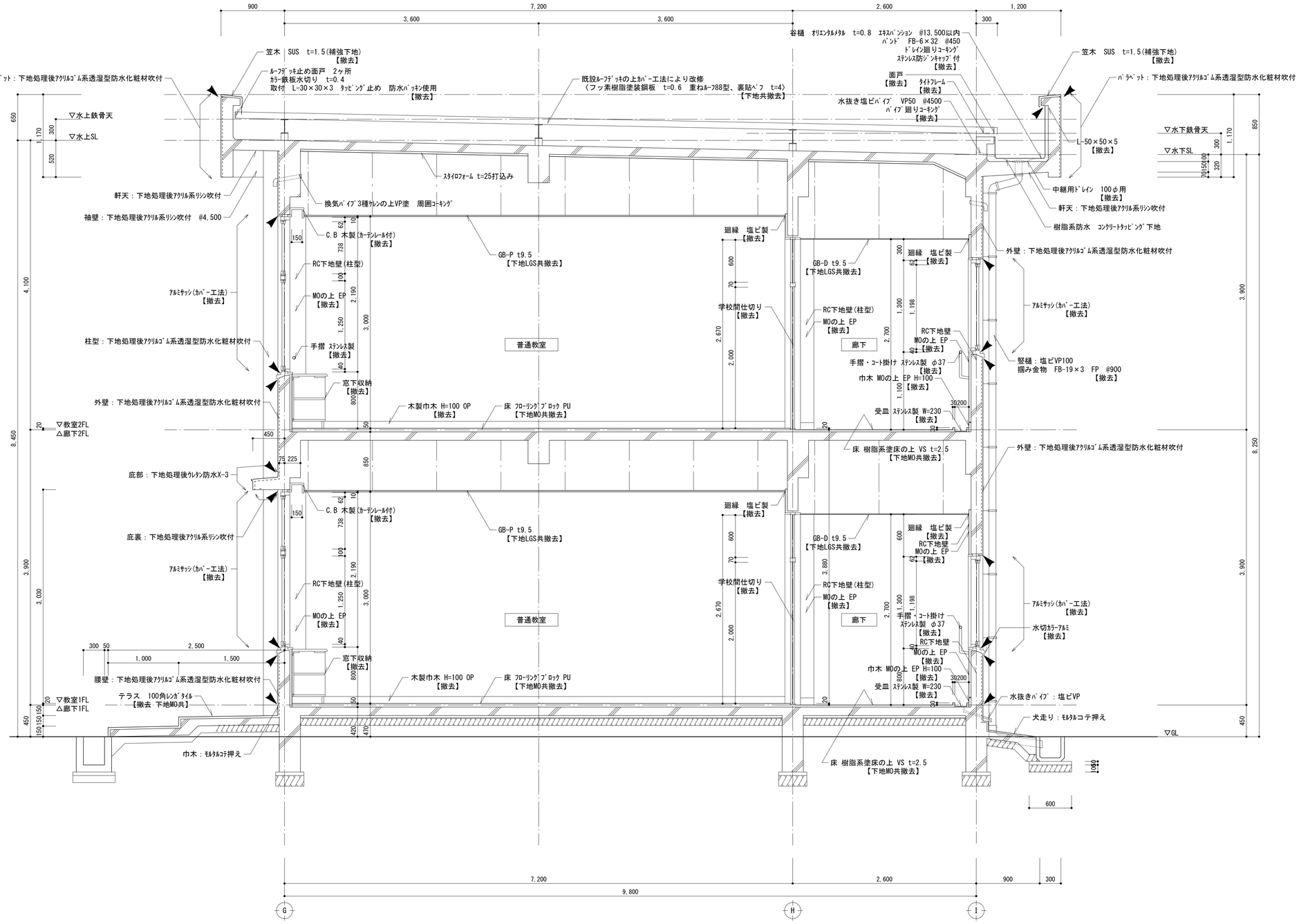
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No.　－　－　－

工事名　浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)

DATE　.　.

本館棟	SCALE	A
改修後　立面図－２	1:150(A1)　1:300(A3)	No. 25/123
外部仕上表	1:---(A1)　1:---(A3)	



矩計図－1 1/30

改修凡例	
◀	シーリング

※特記なき限り既設を示す

改修前

	月 日	月 日	月 日
DT			
正			

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. - - -

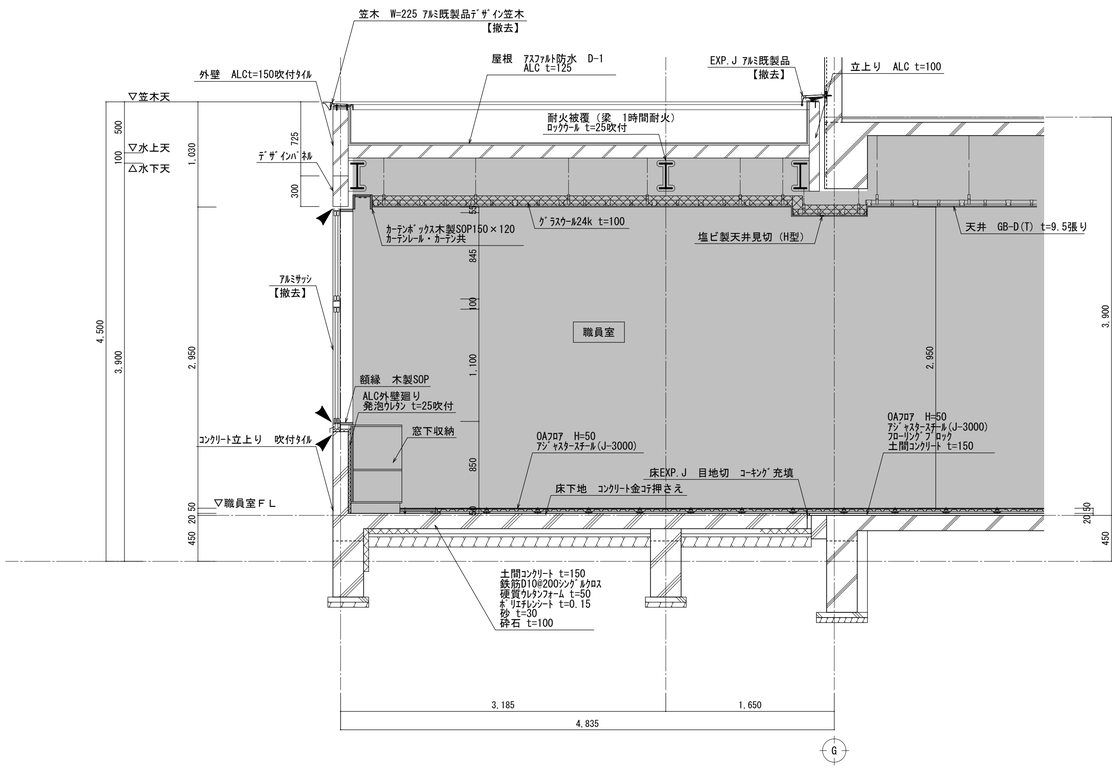
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE . .

本館棟
改修前 矩計図－1

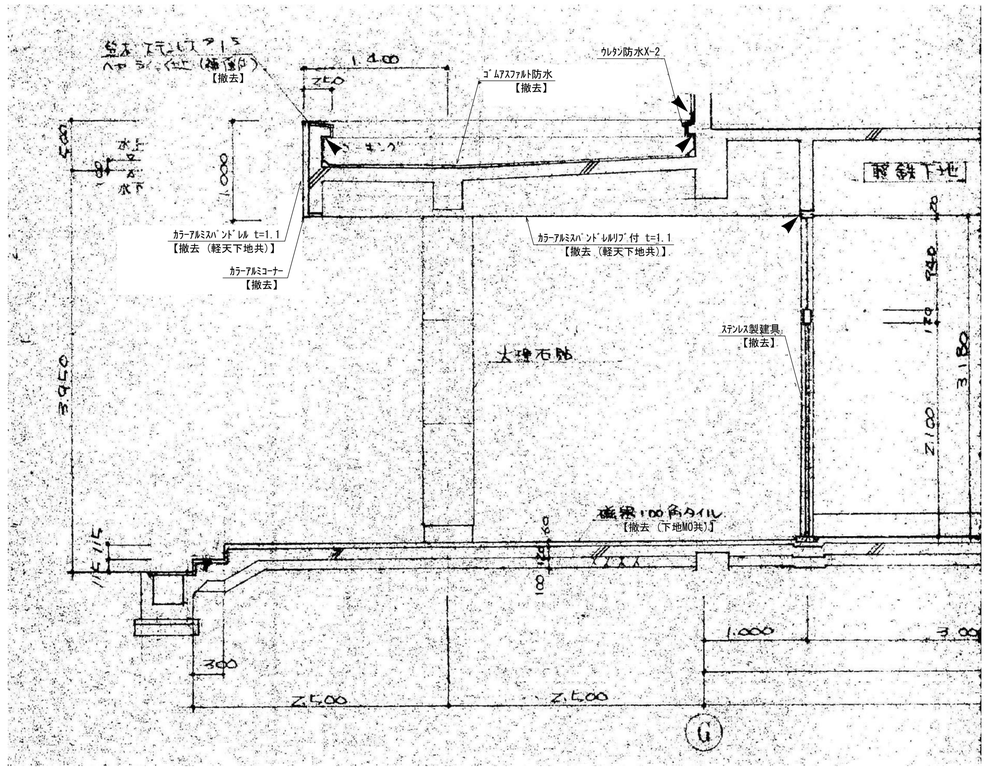
SCALE 1:30(A1) 1:60(A3)

A

No. 26 / 123



矩計図 1/30



矩計図 1/30

改修凡例	
◀	シーリング
▭	本工事（本館棟） 既存のまま（内部のみ）を示す

※特記なき限り既設を示す

改修前

訂	月 .日		月 .日		月 .日	
	.		.		.	
正	.		.		.	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

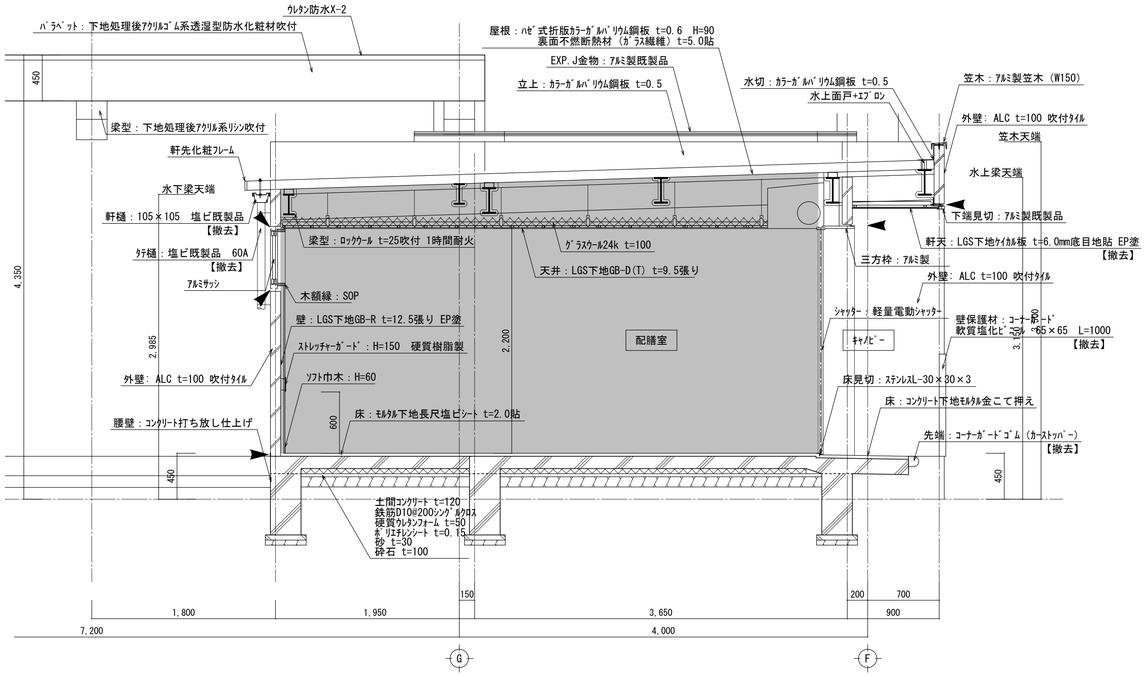
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. - - -

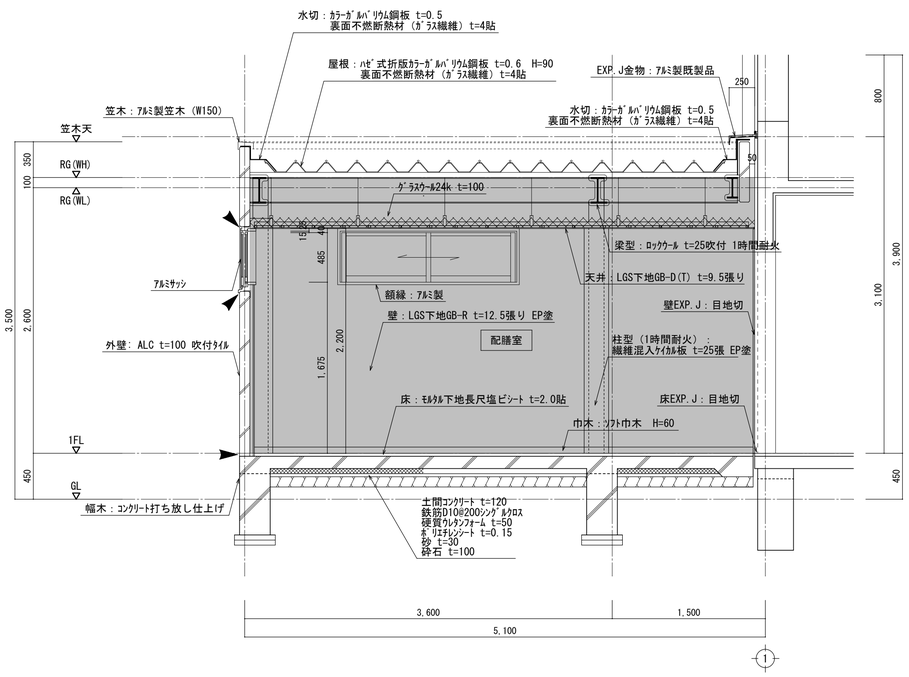
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事（建築）
DATE . .

本館棟
改修前 矩計図－2
（職員室・玄関）

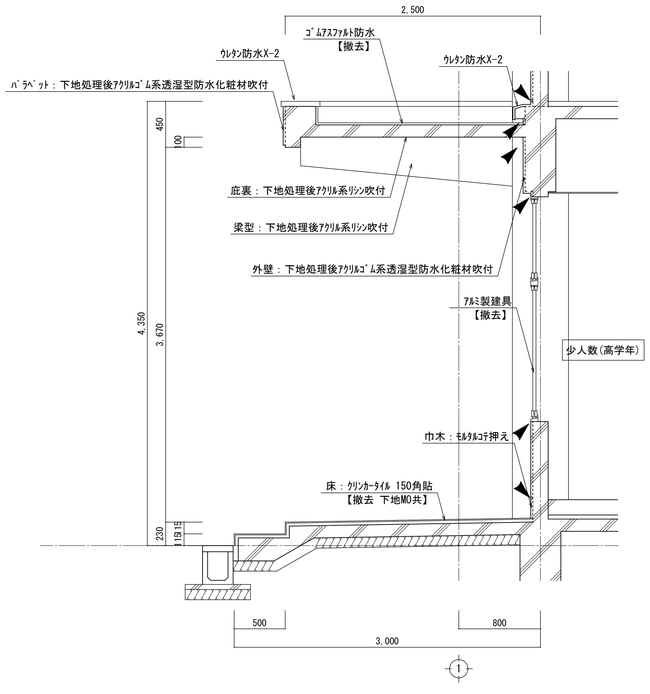
SCALE A
1:30(A1) 1:60(A3)
No. 27/123



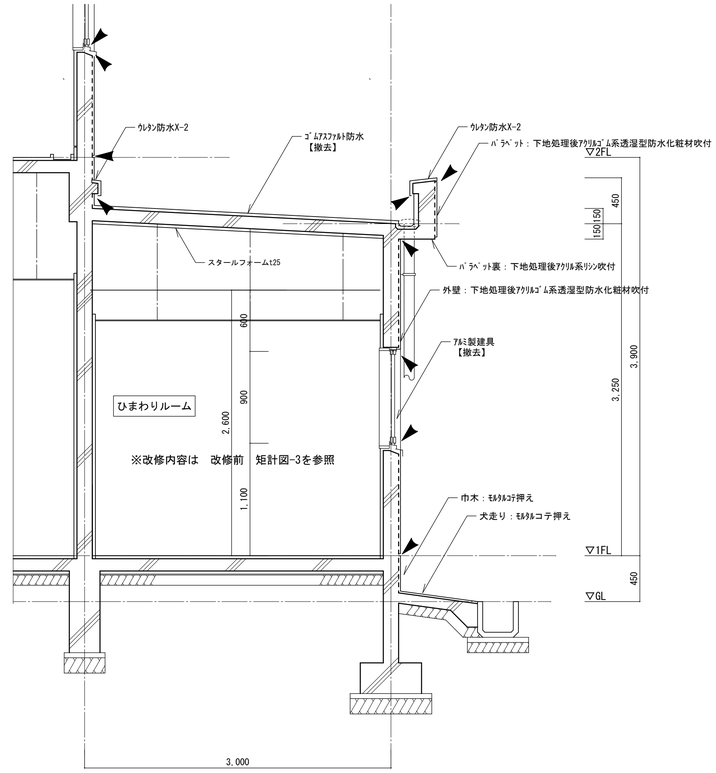
配膳室　矩計図　1/30



配膳室　矩計図　1/30



西面庇　矩計図　1/30



ひまわりルーム　矩計図　1/30

改修凡例	
◄	シーリング
▒	本工事（本館様） 既存のまま（内部のみ）を示す

※特記なき限り既設を示す

改修前

	月	日		月	日		月	日	
DT	.			.			.		
	.			.			.		
正	.			.			.		

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

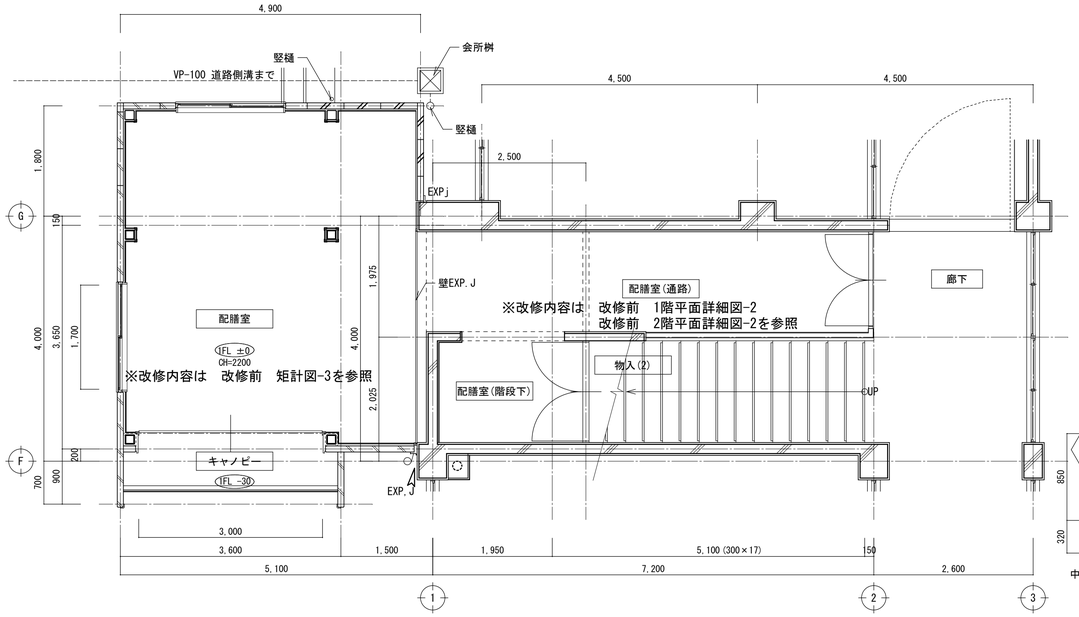
FILE No. - - -

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE

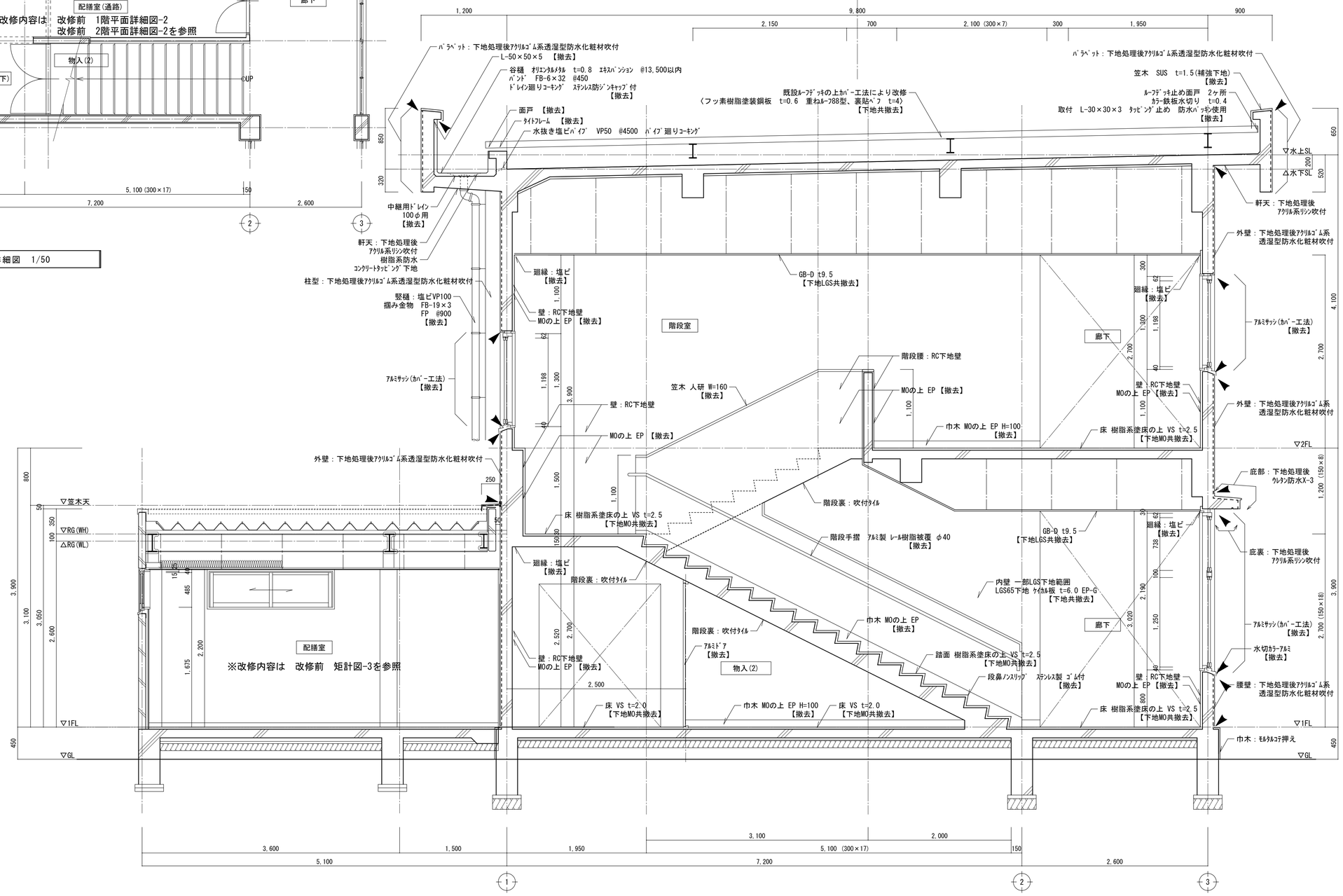
本館様
改修前　矩計図－3
（配膳室・西面庇・ひまわりルーム）

SCALE
1:30(A1)　1:60(A3)

A
No. 28 / 123



階段　平面詳細図　1/50



階段詳細図　1/50

改修凡例	
◄	シーリング

※特記なき限り既設を示す

改修前

BT	月　日	月　日	月　日		
正					

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

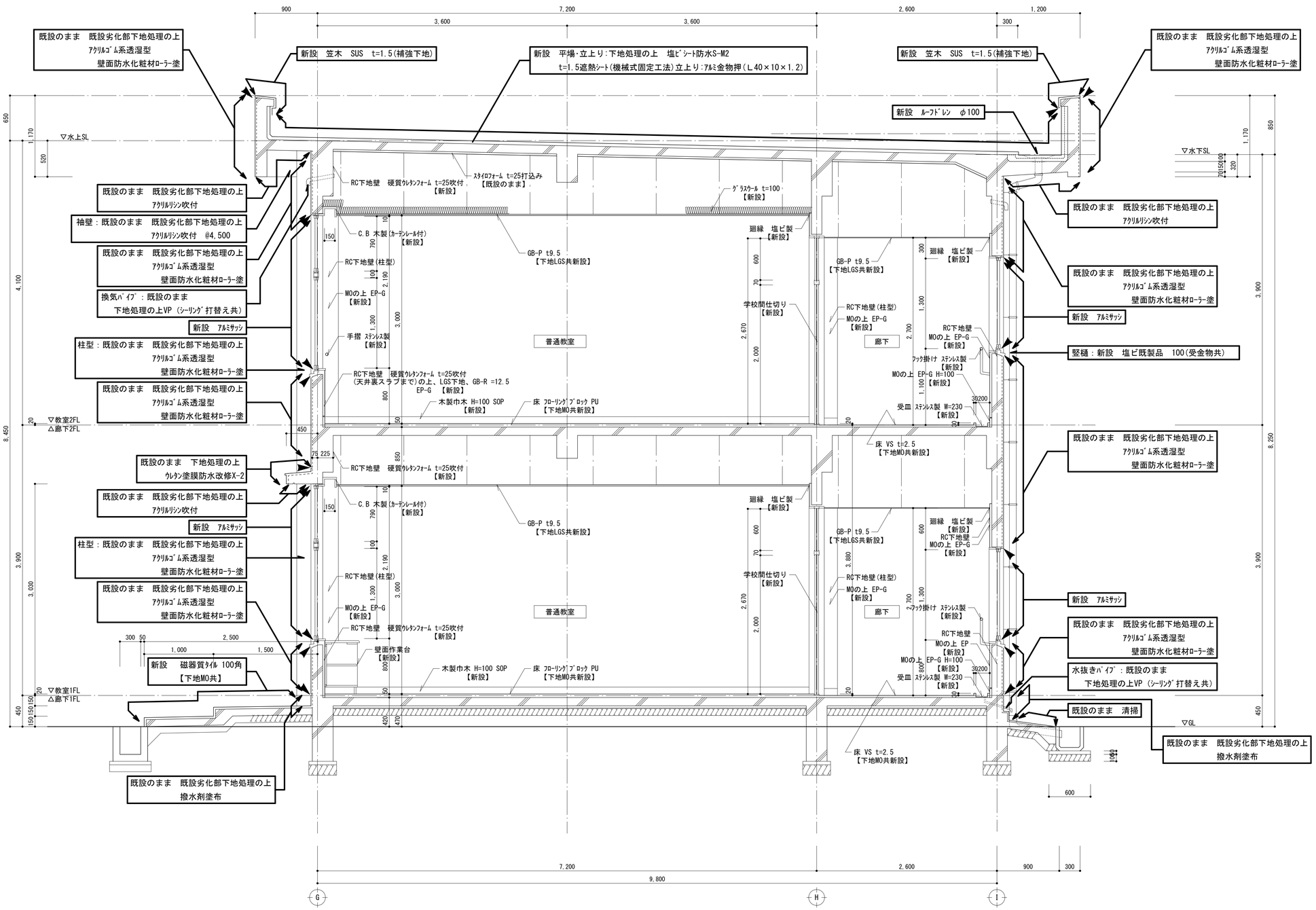
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No.　-　-　-

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)

DATE

本館棟	SCALE	A
改修前　階段詳細図　(平面詳細図)	1:50(A1)　1:100(A3)	No. 29 / 123
(矩計図)	1:30(A1)　1: 60(A3)	



矩計図－1　1/30

改修凡例	
◀	シーリング打替を示す
	外部改修範囲を示す
	外部改修内容を示す

※特記なき限り既設を示す

改修後

訂正	月・日	月・日	月・日
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・

建築事務所 BCY'S
株式会社　ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

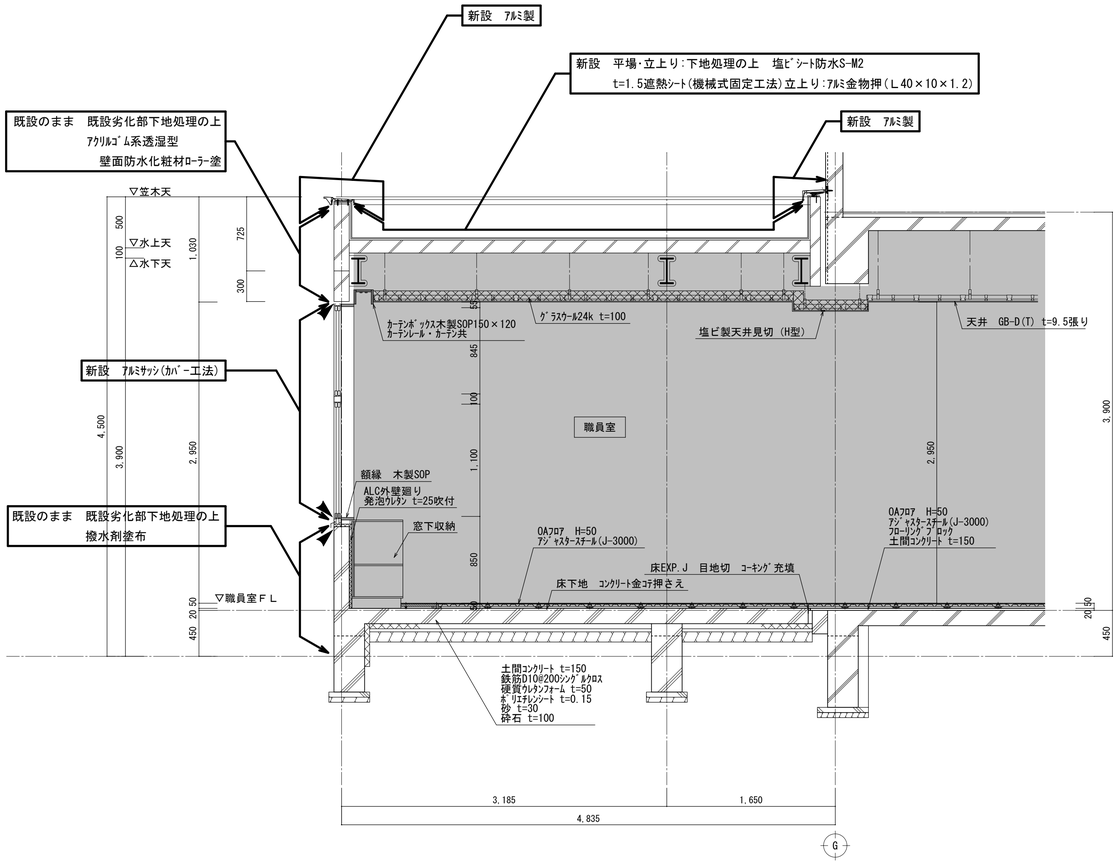
FILE No.　－　－　－

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE

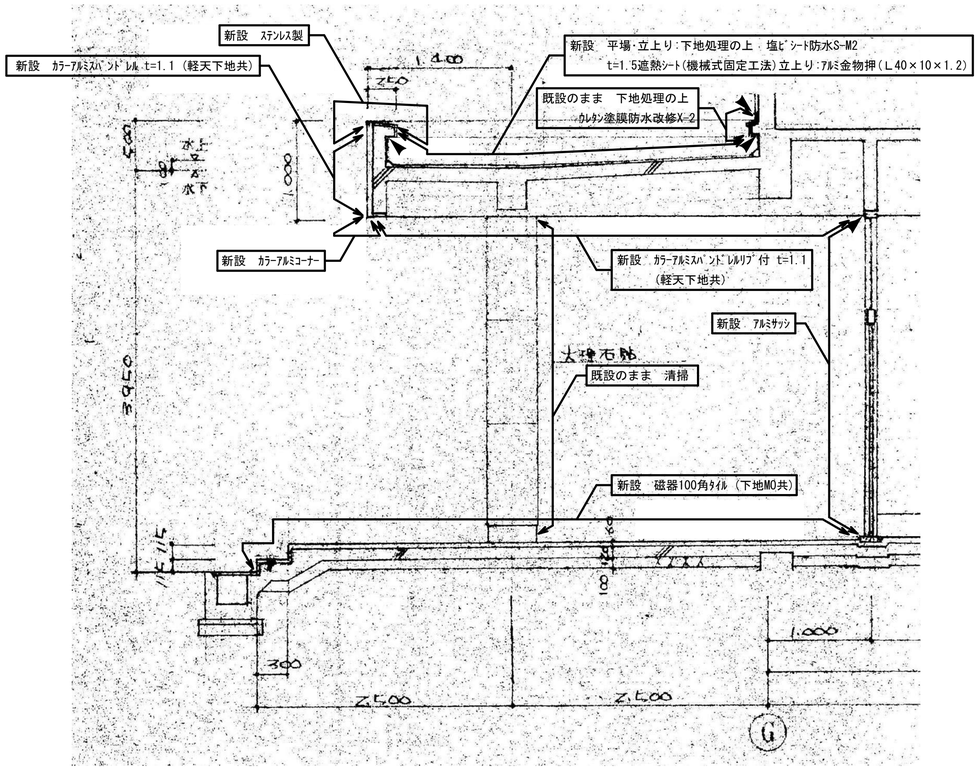
本館棟
改修後　矩計図－1

SCALE　A
1:30(A1)　1:60(A3)

No. 30/123



矩計図　1/30



矩計図　1/30

改修凡例	
◄	シーリング打替を示す
▭	本工事（本館棟）既存のまま（内部のみ）を示す
⌒	改修範囲を示す
⌐	改修内容を示す

※特記なき限り既設を示す

改修後

訂	月 .日		月 .日		月 .日	
正	.		.		.	

建築事務所 BCY'S
株式会社　ビルディング・コンサルタントワイズ

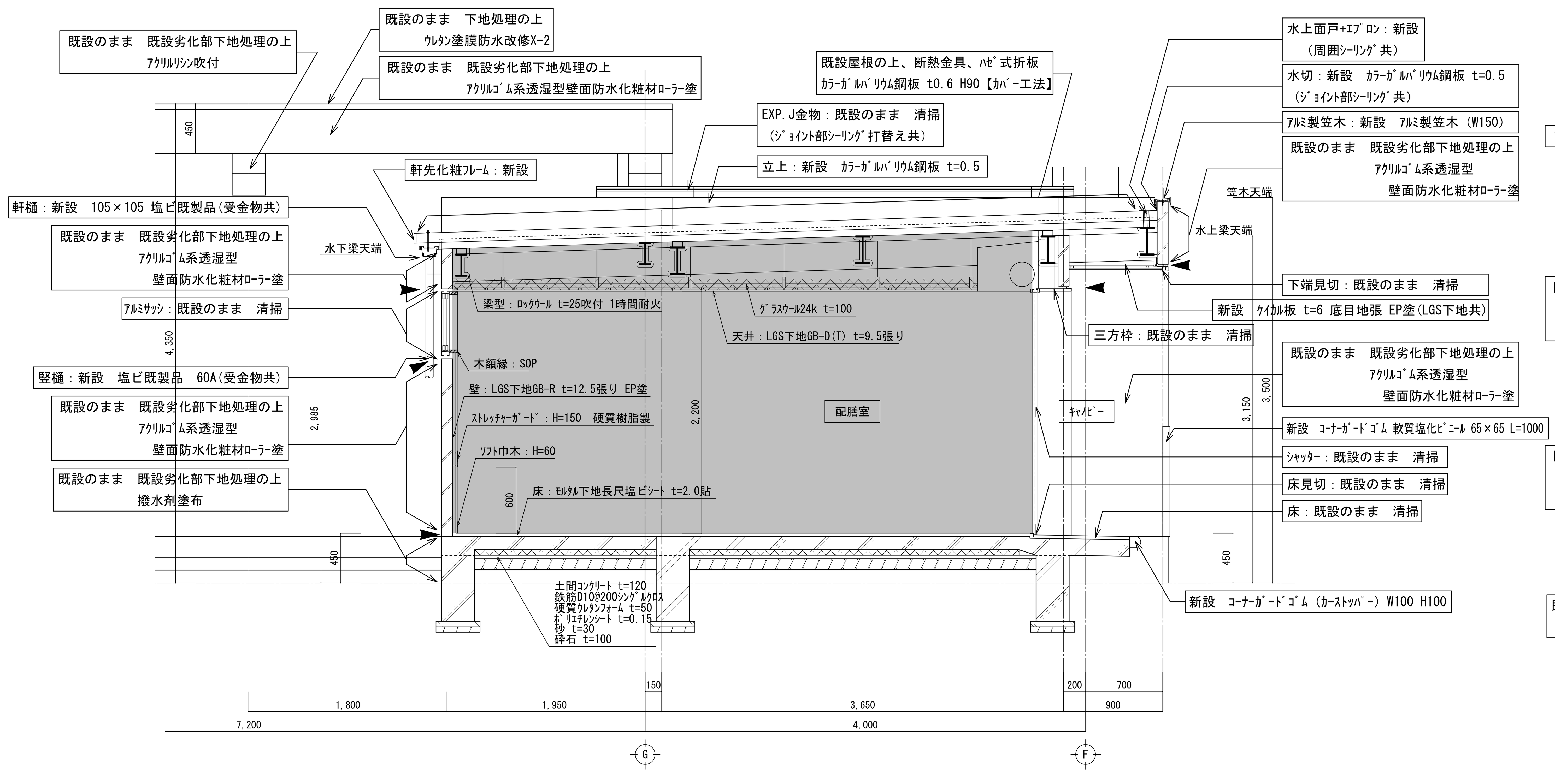
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No.　－　－　－

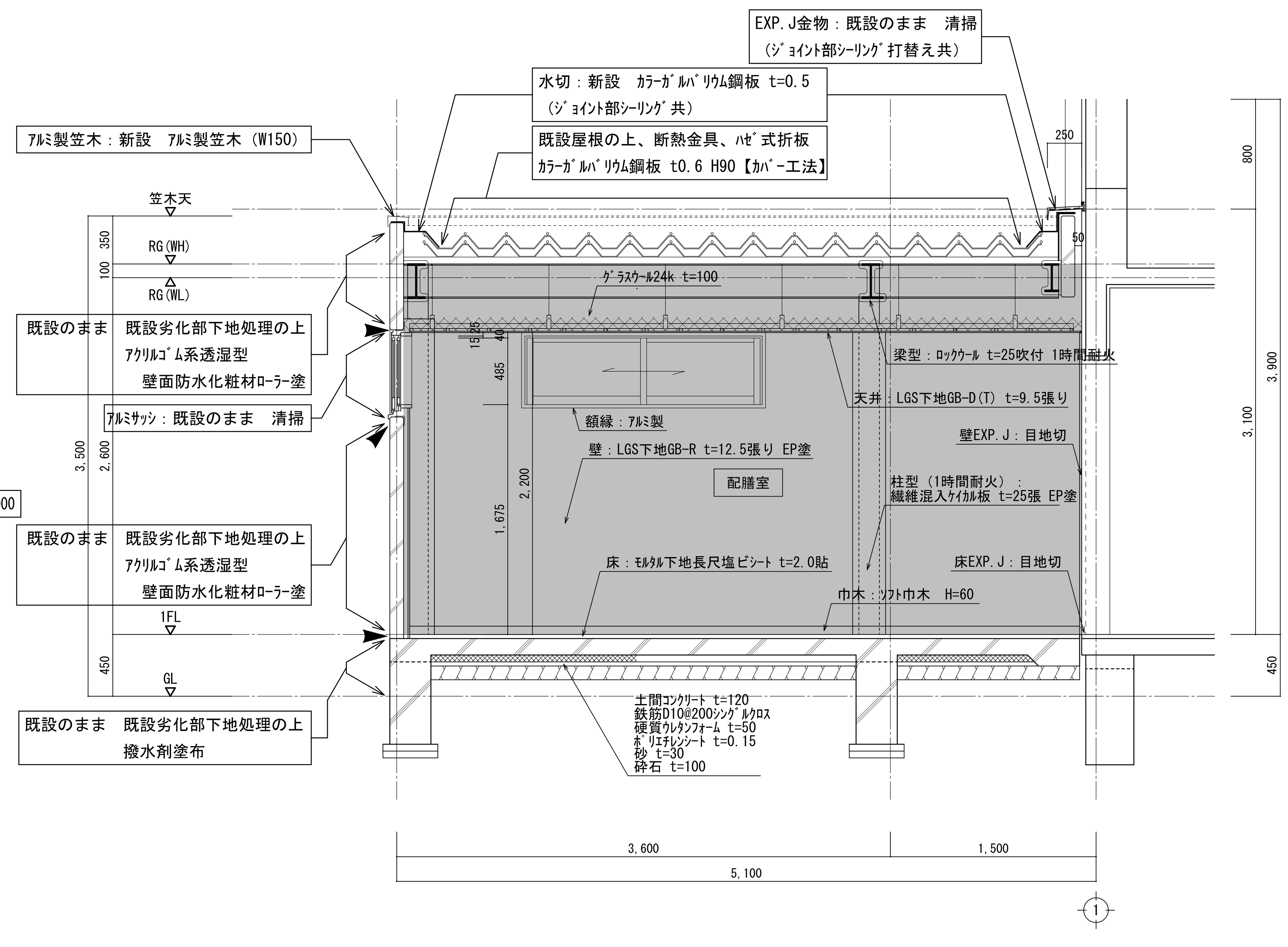
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE . .

本館棟
改修後　矩計図－２
(職員室・玄関)

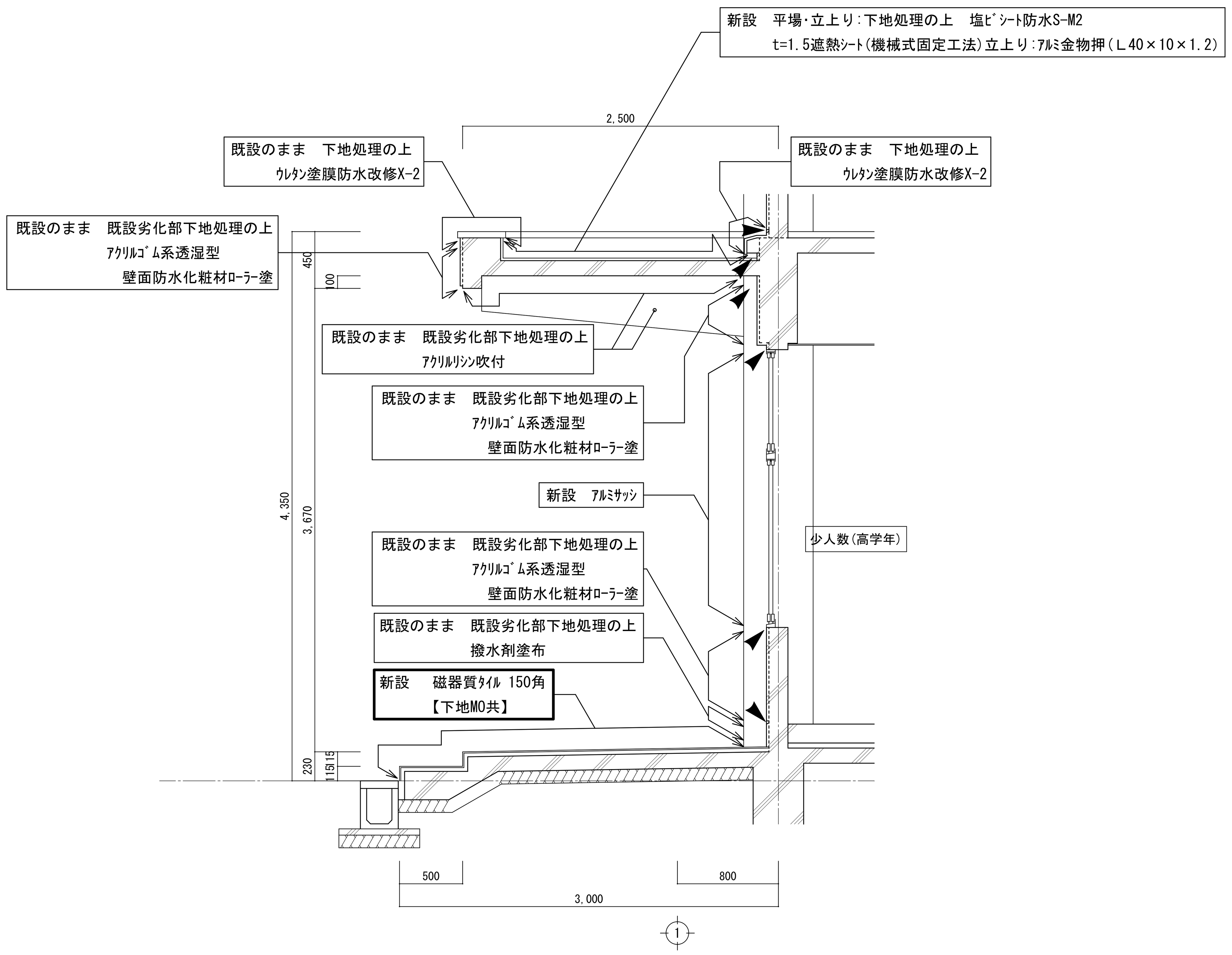
SCALE　A
1:30(A1)　1:60(A3)
No. 31/123



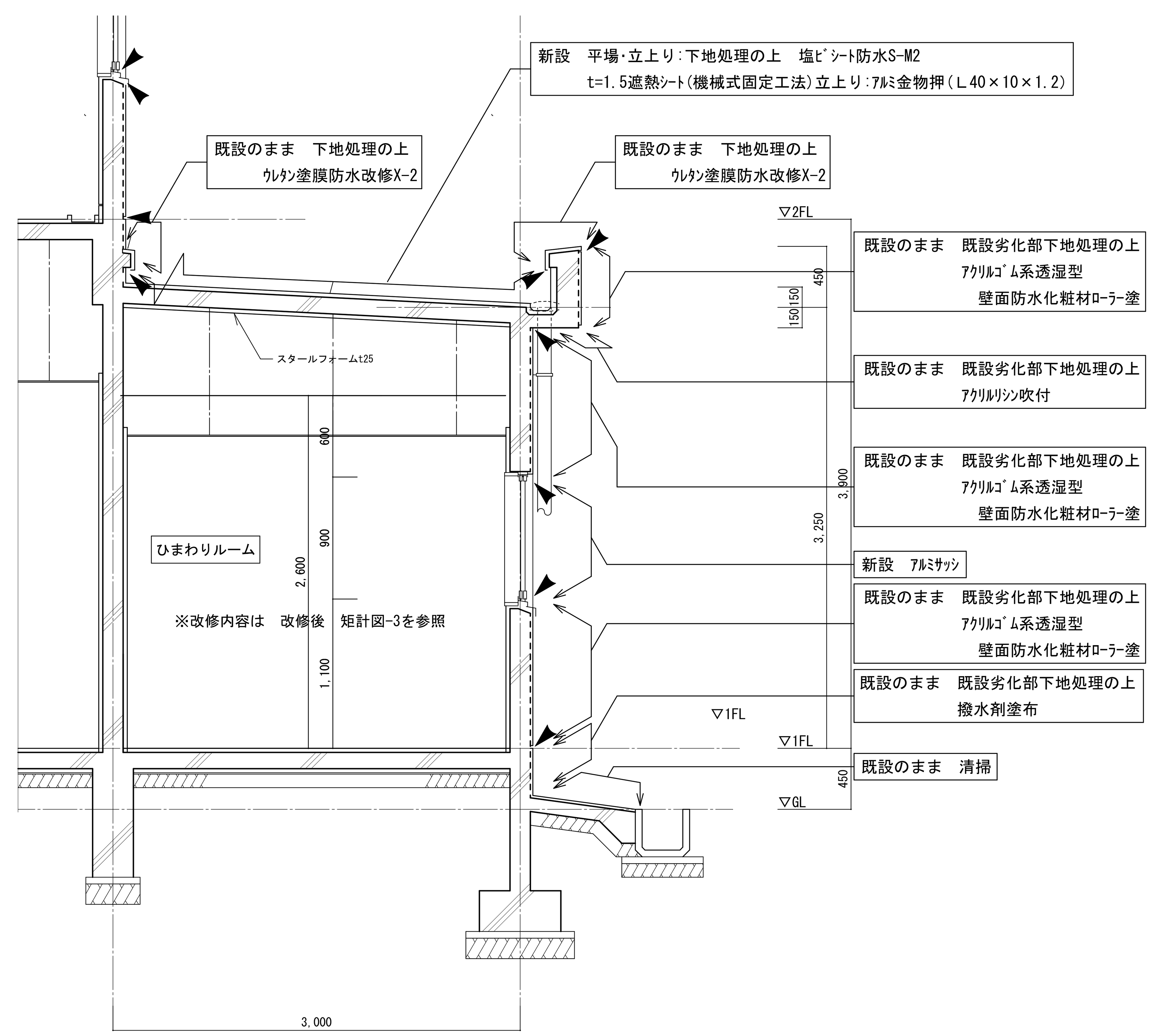
配膳室　矩計図　1/30



配膳室　矩計図　1/30



西面庇　矩計図　1/30



ひまわりルーム　矩計図　1/30

改修凡例	
◀	シーリング打替を示す
(網掛け)	本工事（本館棟） 既存のまま（内部のみ）を示す
(範囲記号)	改修範囲を示す
(引出記号)	改修内容を示す

※特記なき限り既設を示す

改修後

訂正	月 日		月 日		月 日	
	.		.		.	
	.		.		.	
	.		.		.	

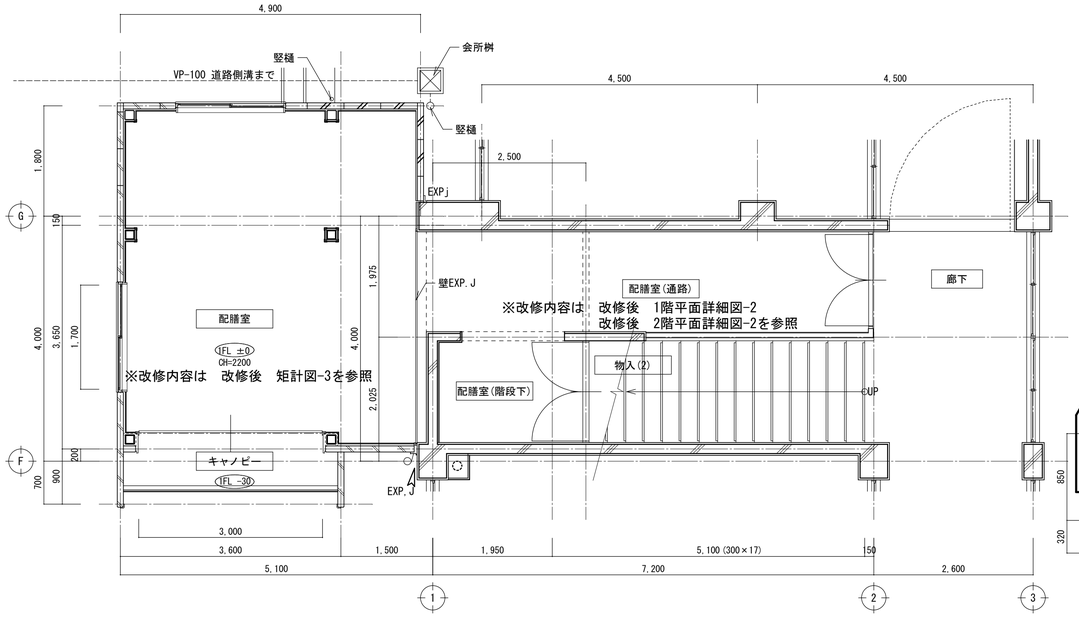
建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No. - - -

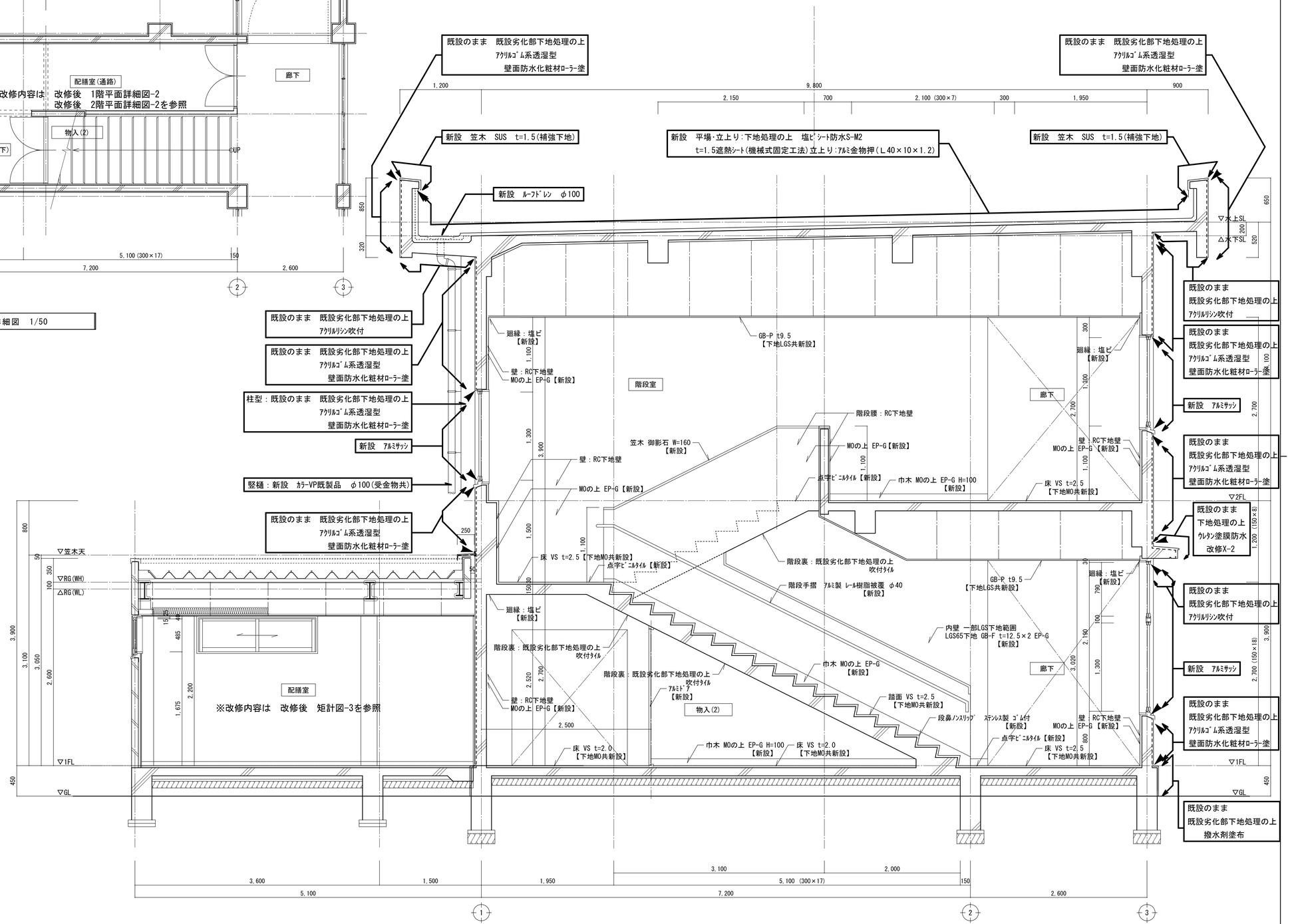
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE . .

本館棟
改修後　矩計図－３
（配膳室・西面庇・ひまわりルーム）

SCALE 1:30(A1)　1:60(A3)
A
No. 32/123



階段　平面詳細図　1/50



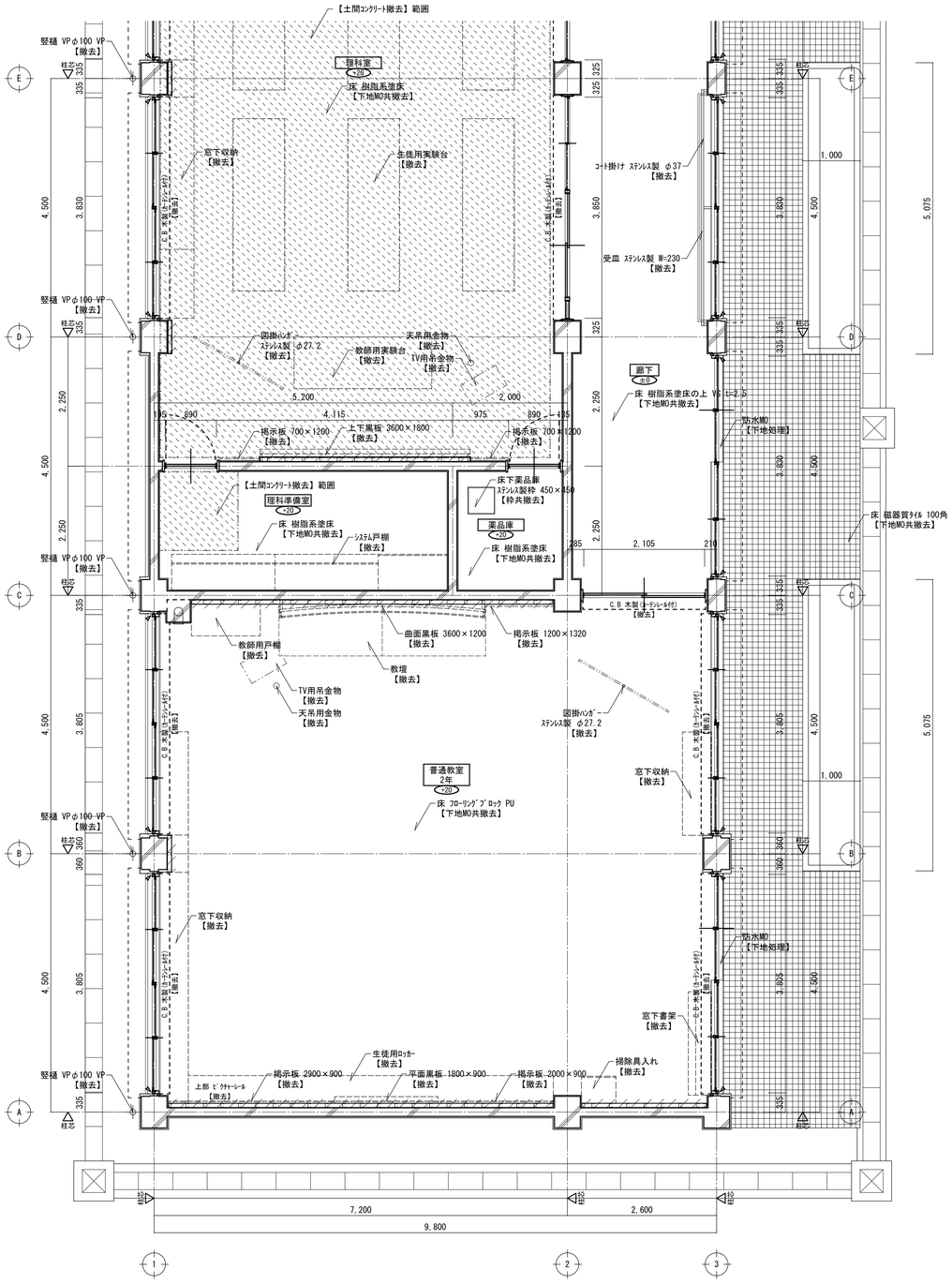
階段詳細図　1/50

改修凡例	
◄	シーリング打替を示す
	外部改修範囲を示す
	外部改修内容を示す

※特記なき限り既設を示す

改修後

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
本館棟	SCALE	A	
改修後　階段詳細図　(平面詳細図)	1:50(A1)　1:100(A3)	No. 33/123	
(矩計図)	1:30(A1)　1: 60(A3)		



凡　例	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 躯体等ｺﾝｸﾘｰﾄ部を示す。
	CB下地 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ部を示す。
	ALC下地 軽量気泡ｺﾝｸﾘｰﾄ部を示す。
	LGS下地 LGS下地壁部を示す。
	ｼｰﾘﾝｸﾞ 既存ｼｰﾘﾝｸﾞは撤去を行う。
	間仕切壁(下地共) 【撤去】範囲を示す。
	土間CON(上部床仕上材共、下部砕石迄) 【部分撤去】(周囲ｶｯﾀｰ切り)範囲を示す。

本館棟　1階平面詳細図－1　1/50

改修前

訂	月　日		月　日		月　日	
	・		・		・	
	・		・		・	
正	・		・		・	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

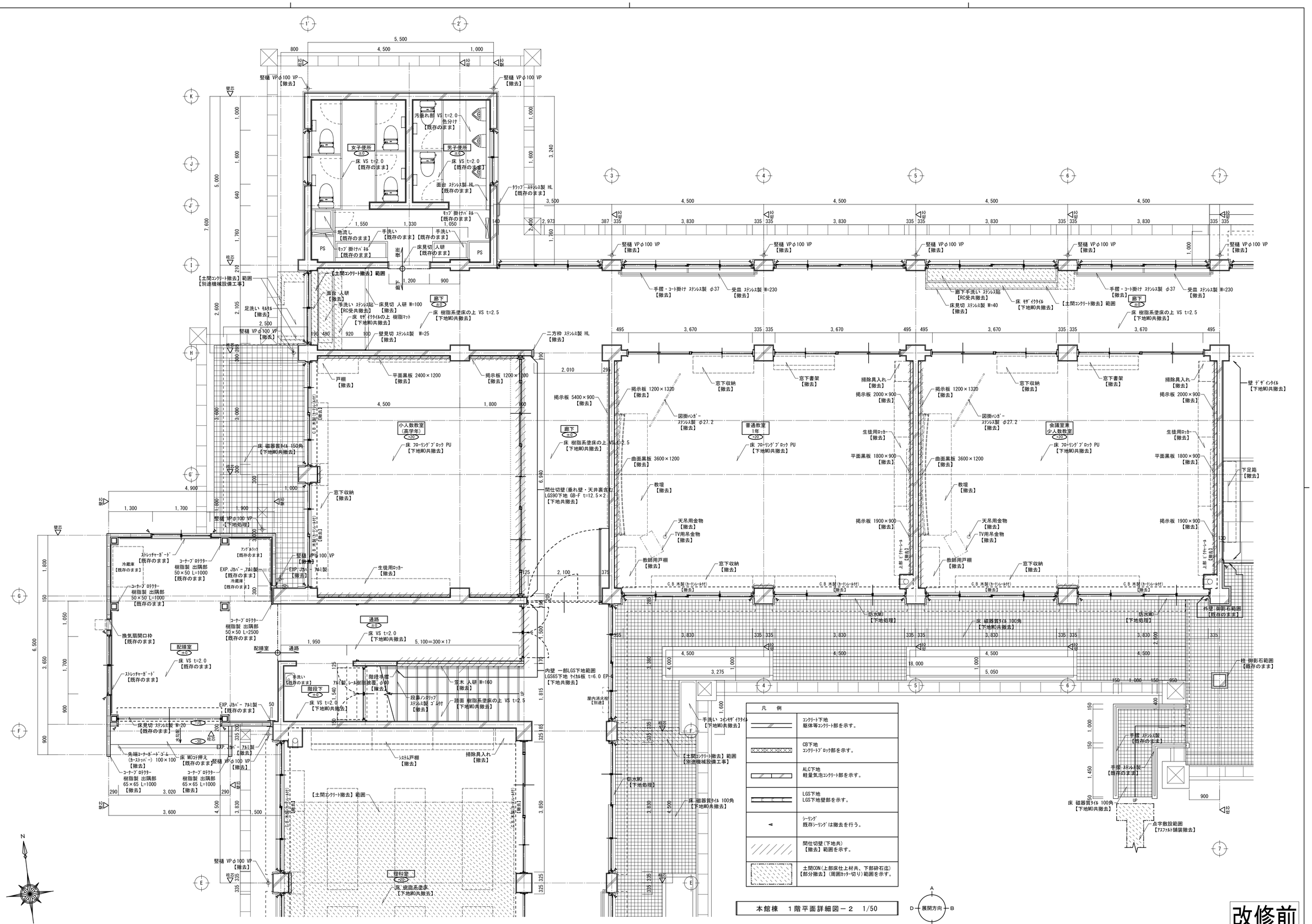
FILE No. － － －

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE . .

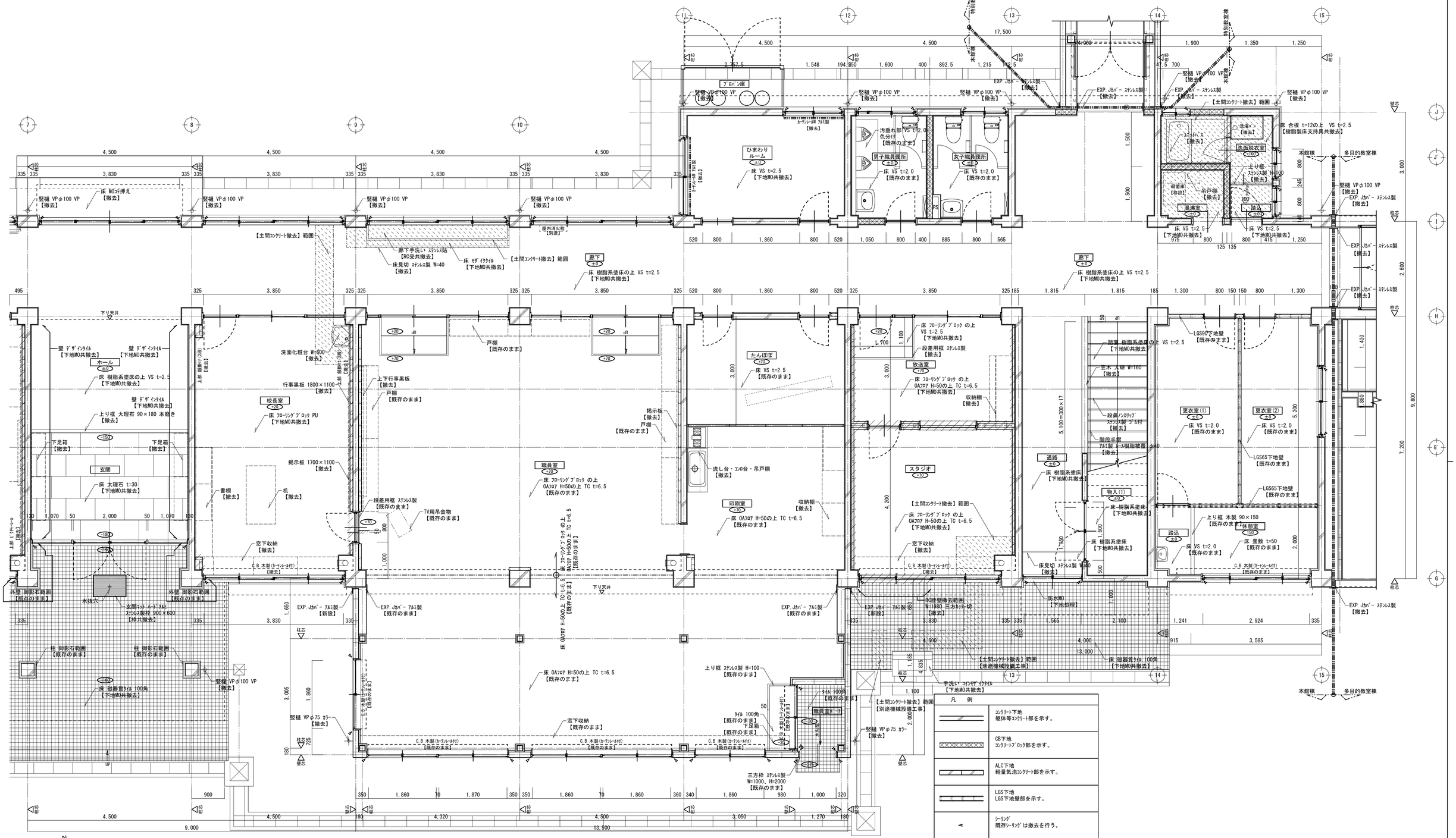
本館棟
改修前　1階平面詳細図－1

SCALE
1:50(A1)　1:100(A3)

A
No. 34 / 123



DT	月	日		月	日		月	日	建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)	本館棟	SCALE	A
正												DATE	改修前　1階平面詳細図－2	1:50(A1)　1:100(A3)	No. 35/123



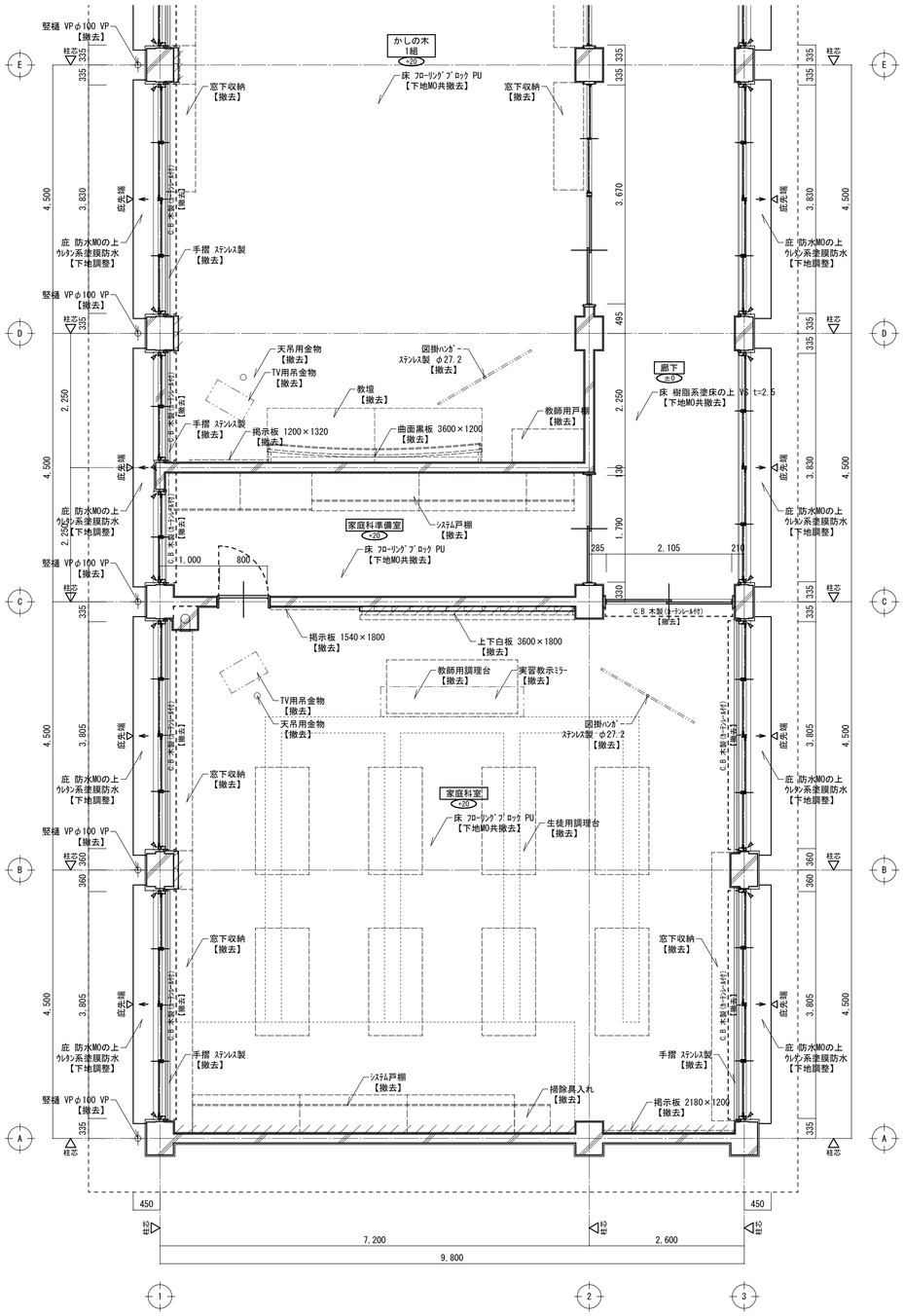
凡例

	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 躯体等ｺﾝｸﾘｰﾄ部を示す。
	CB下地 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ部を示す。
	ALC下地 軽量気泡ｺﾝｸﾘｰﾄ部を示す。
	LGS下地 LGS下地壁部を示す。
	ｼｰﾘﾝｸﾞ 既存ｼｰﾘﾝｸﾞは撤去を行う。
	間仕切壁(下地共) 【撤去】範囲を示す。
	土間CON(上部床仕上材共、下部砕石迄) 【部分撤去】(周囲ｶｯﾀｰ切り)範囲を示す。

本館棟　1階平面詳細図－3　1/50

改修前

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
本館棟 改修前 1階平面詳細図－3	SCALE 1:50(A1) 1:100(A3)	A	No. 36/123

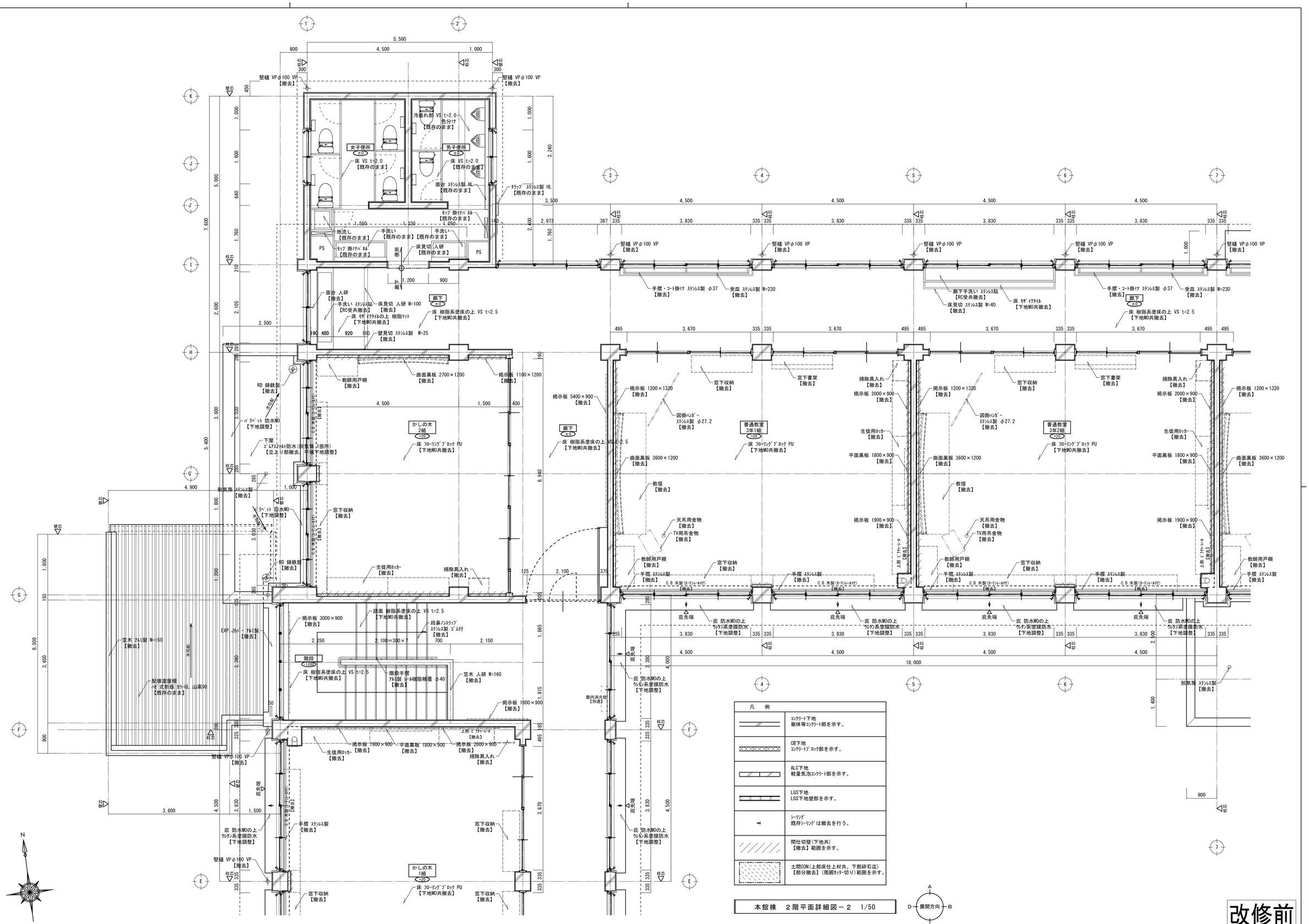


凡　例	
	コンクリート下地 躯体等コンクリート部を示す。
	CB下地 コンクリートブロック部を示す。
	ALC下地 軽量気泡コンクリート部を示す。
	LGS下地 LGS下地壁部を示す。
	シーリング 既存シーリングは撤去を行う。
	間仕切壁(下地共) 【撤去】範囲を示す。
	土間CON(上部床仕上材共、下部砕石迄) 【部分撤去】(周囲カッター切り)範囲を示す。

本館棟　２階平面詳細図－１　1/50

改修前

訂	月　.日	月　.日	月　.日	建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)	本館棟	SCALE A
正							DATE	改修前　２階平面詳細図－１	1:50(A1)　1:100(A3) No. 37/123



訂	月 .日	月 .日	月 .日
	.	.	.
正	.	.	.

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. - - -

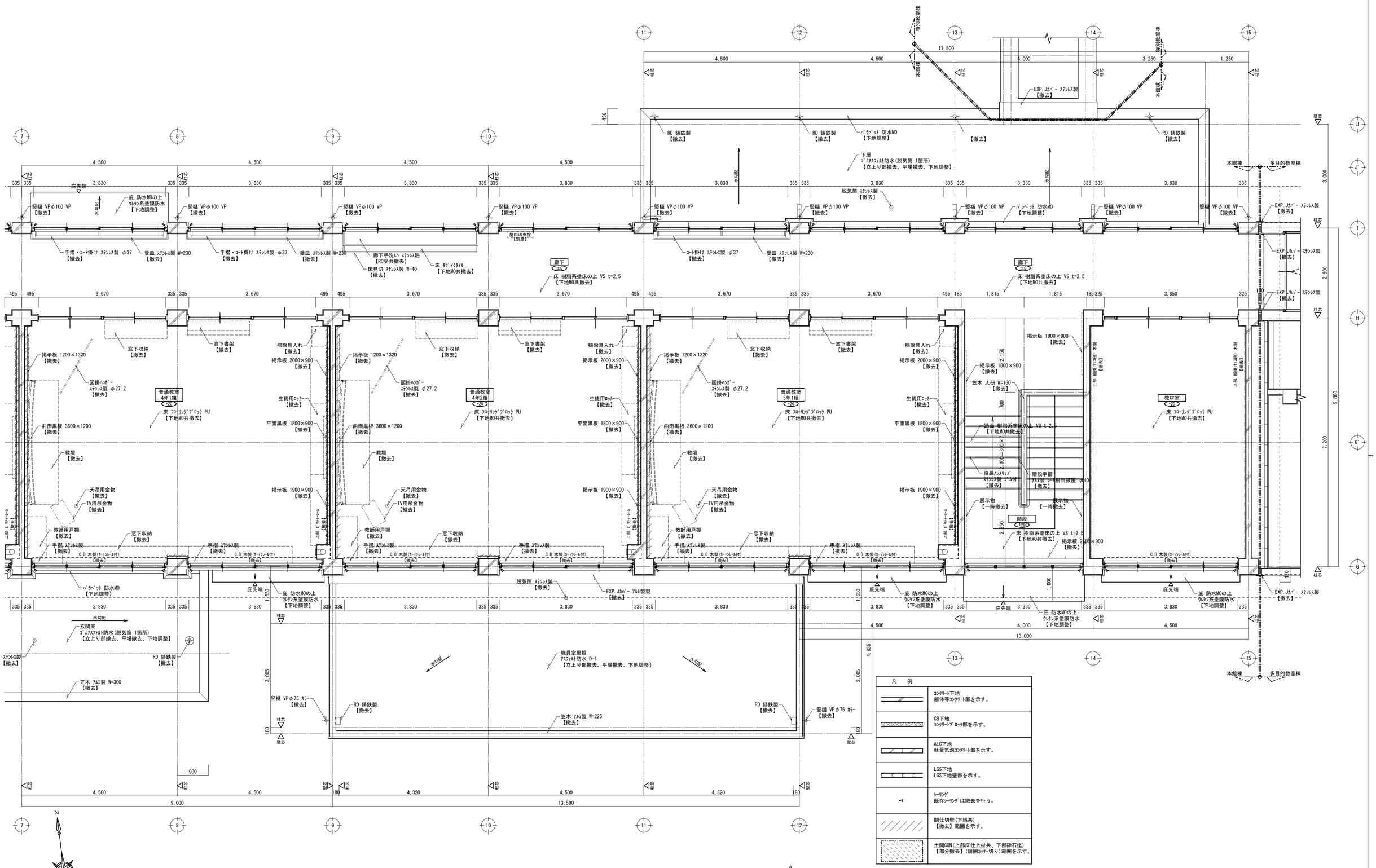
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE

本館棟
改修前　2階平面詳細図－2

SCALE 1:50(A1) 1:100(A3)

A

No. 38 / 123



凡　例	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 躯体等ｺﾝｸﾘｰﾄ部を示す。
	CB下地 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ部を示す。
	ALC下地 軽量気泡ｺﾝｸﾘｰﾄ部を示す。
	LGS下地 LGS下地壁部を示す。
	ｼｰﾘﾝｸﾞ 既存ｼｰﾘﾝｸﾞは撤去を行う。
	間仕切壁(下地共) 【撤去】範囲を示す。
	土間CON(上部床仕上材共、下部砕石迄) 【部分撤去】(周囲ｶｯﾀｰ切り)範囲を示す。

本館棟　２階平面詳細図－３　1/50

改修前

月 日	月 日	月 日
訂		
正		

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No. - - -

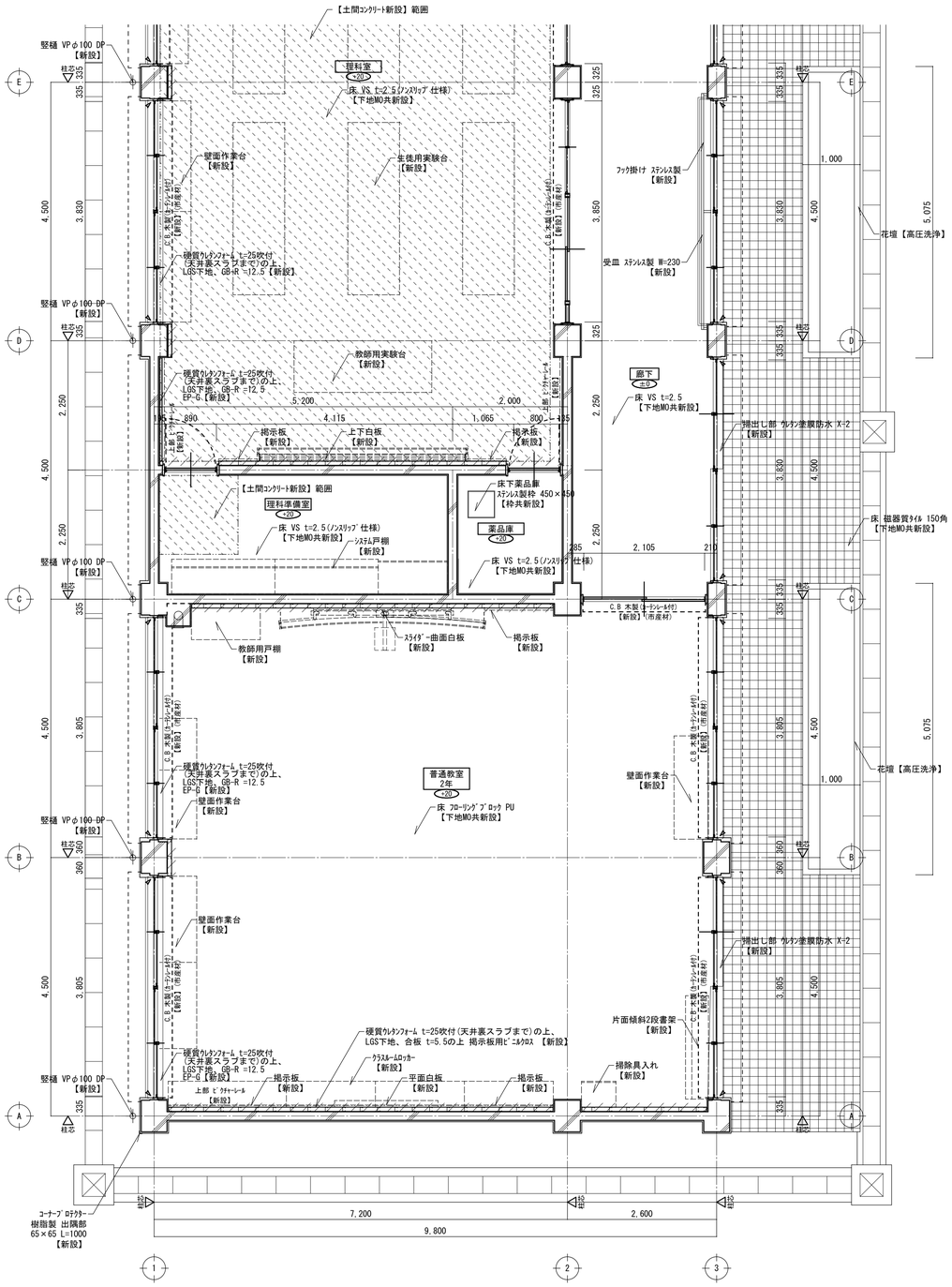
工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)

DATE

本館棟 改修前 ２階平面詳細図－３

SCALE 1:50(A1) 1:100(A3)

No. 39/123



凡　例	
	コンクリート下地 躯体等コンクリート部を示す。
	CB下地 コンクリートブロック部を示す。
	ALC下地 軽量気泡コンクリート部を示す。
	LGS下地 LGS下地壁部を示す。
	シーリング シーリング新設部を示す。
	間仕切壁(下地共) 【新設】範囲を示す。
	土間CON(上部床仕上材共、下部砕石迄) 四周差し筋アンカー D10×450 @200 【新設】範囲を示す。

本館棟　1階平面詳細図－1　1/50

改修後

	月	日		月	日		月	日	
DT	.	.		.	.		.	.	
正	.	.		.	.		.	.	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

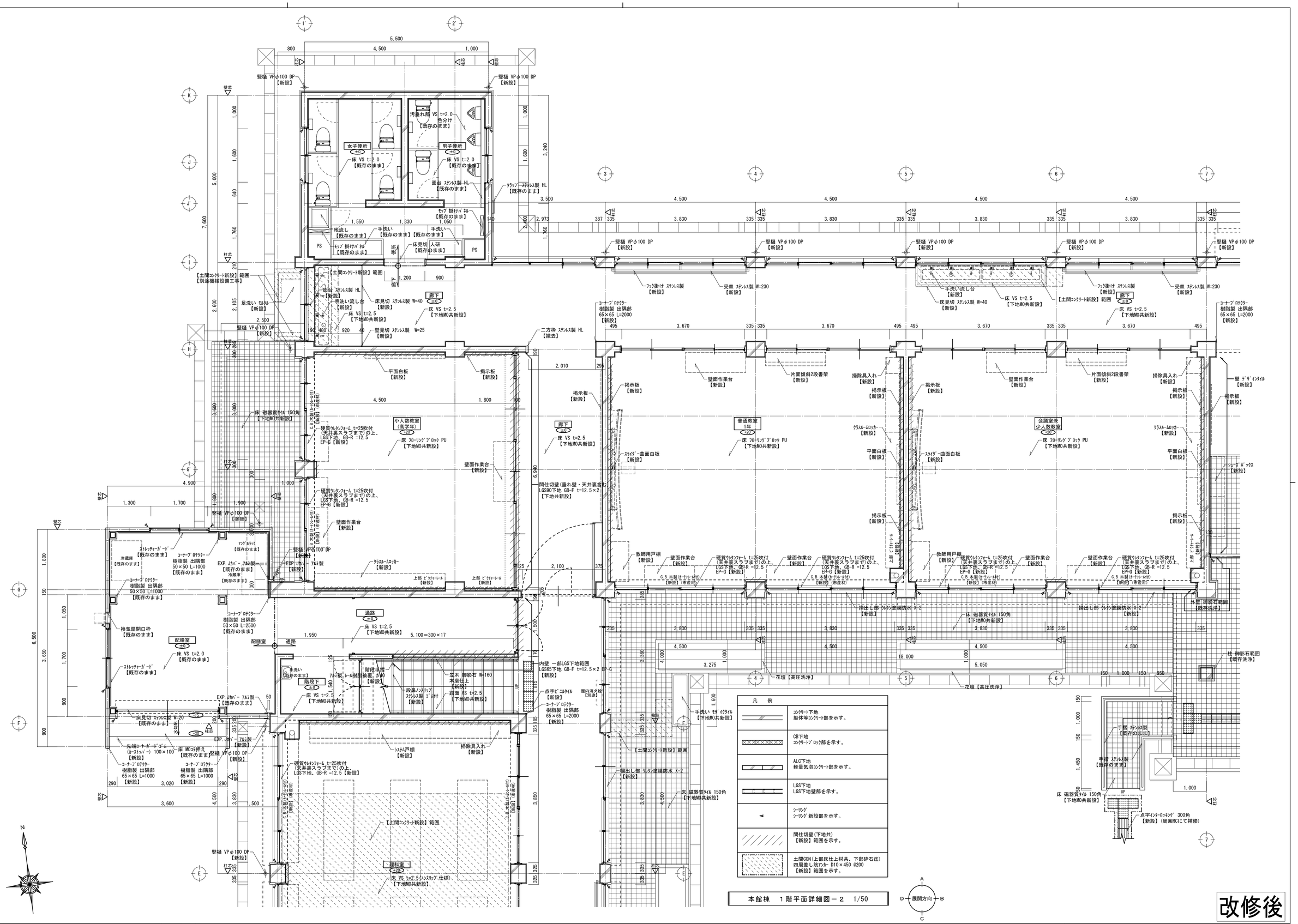
FILE No. － － －

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE . .

本館棟
改修後　1階平面詳細図－1

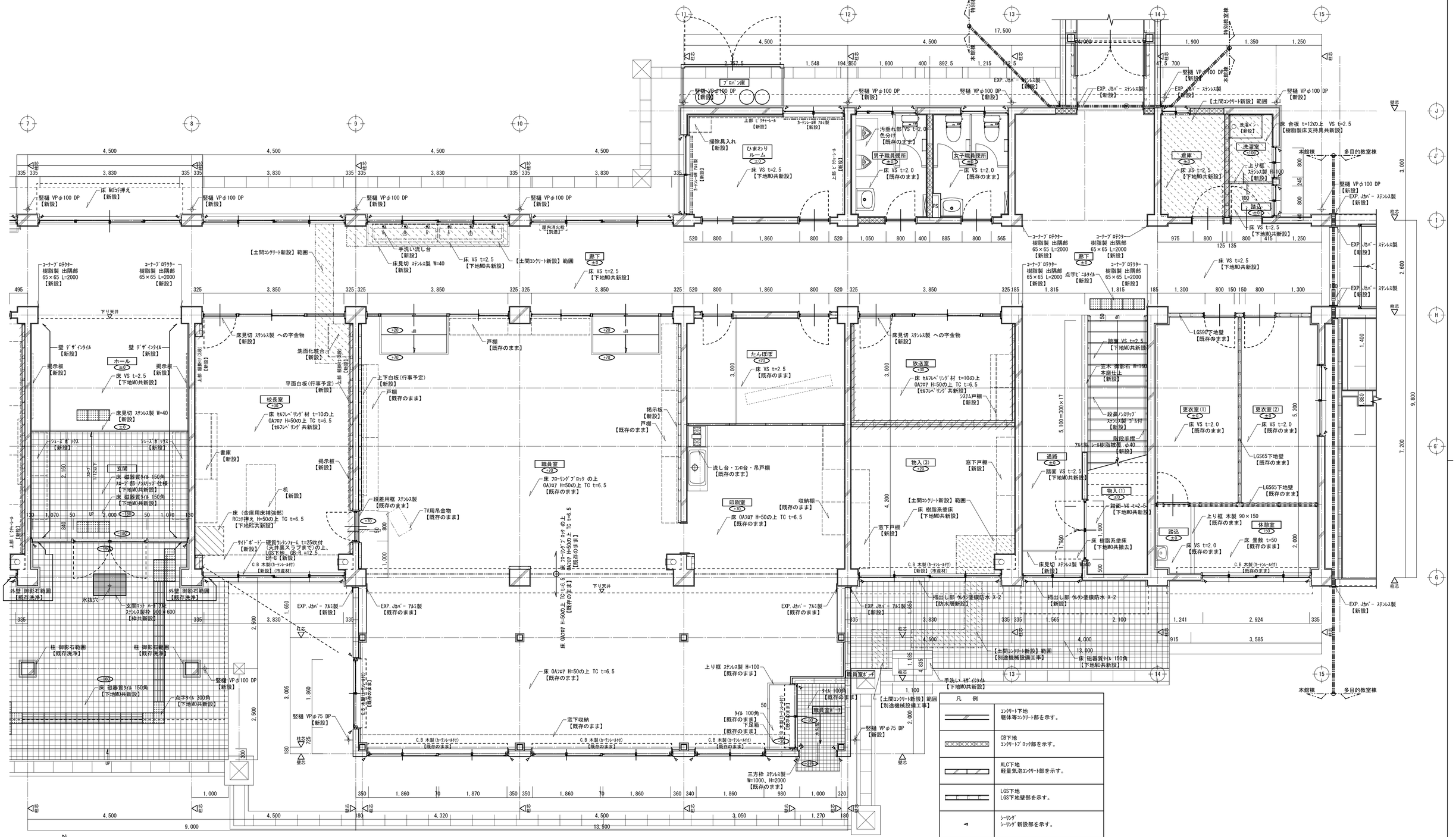
SCALE　1:50(A1)　1:100(A3)　A

No. 40 / 123



建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)	本館棟	SCALE	A
				改修後 1階平面詳細図－2	1:50(A1) 1:100(A3)	No. 41/123

DATE

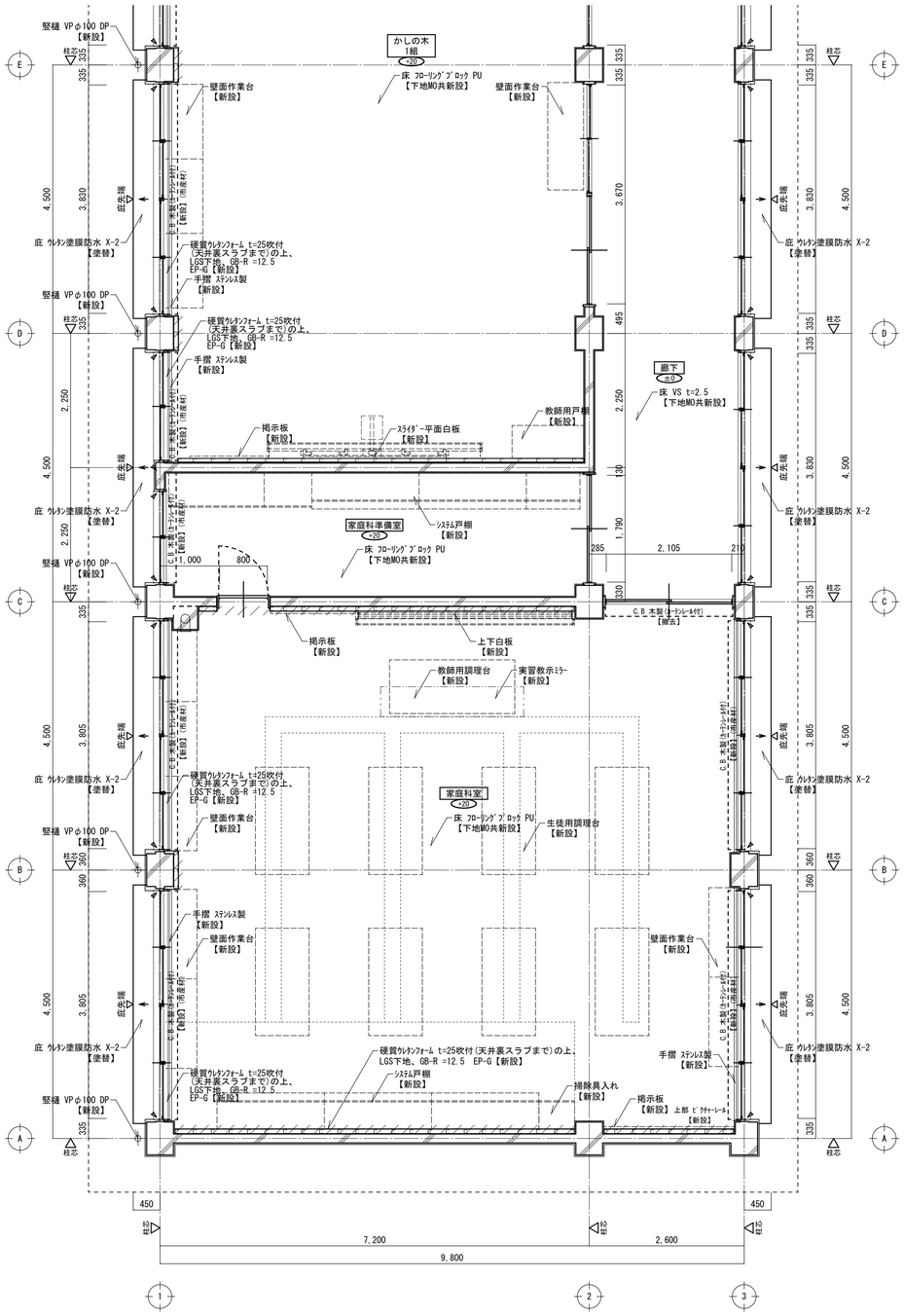


凡　例	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 躯体等ｺﾝｸﾘｰﾄ部を示す。
	CB下地 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ部を示す。
	ALC下地 軽量気泡ｺﾝｸﾘｰﾄ部を示す。
	LGS下地 LGS下地壁部を示す。
A	ｼｰﾘﾝｸﾞ ｼｰﾘﾝｸﾞ新設部を示す。
	間仕切壁(下地共) 【新設】範囲を示す。
	土間CON(上部床仕上材共、下部砕石迄) 四周差し筋ｱﾝｶｰ D10×450 @200 【新設】範囲を示す。

本館棟　1階平面詳細図－3　1/50

改修後

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
本館棟 改修後 1階平面詳細図－3	SCALE 1:50(A1) 1:100(A3)	A	No. 42/123



凡　例	
	コンクリート下地 躯体等コンクリート部を示す。
	CB下地 コンクリートブロック部を示す。
	ALC下地 軽量気泡コンクリート部を示す。
	LGS下地 LGS下地壁部を示す。
	シーリング シーリング新設部を示す。
	間仕切壁(下地共) 【新設】範囲を示す。
	土間CON(上部床仕上材共、下部砕石迄) 四周差し筋アンカー D10×450 @200 【新設】範囲を示す。

本館棟　2階平面詳細図－1　1/50

改修後

訂	月	.日		月	.日		月	.日	
	.			.			.		
正	.			.			.		

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. － － －

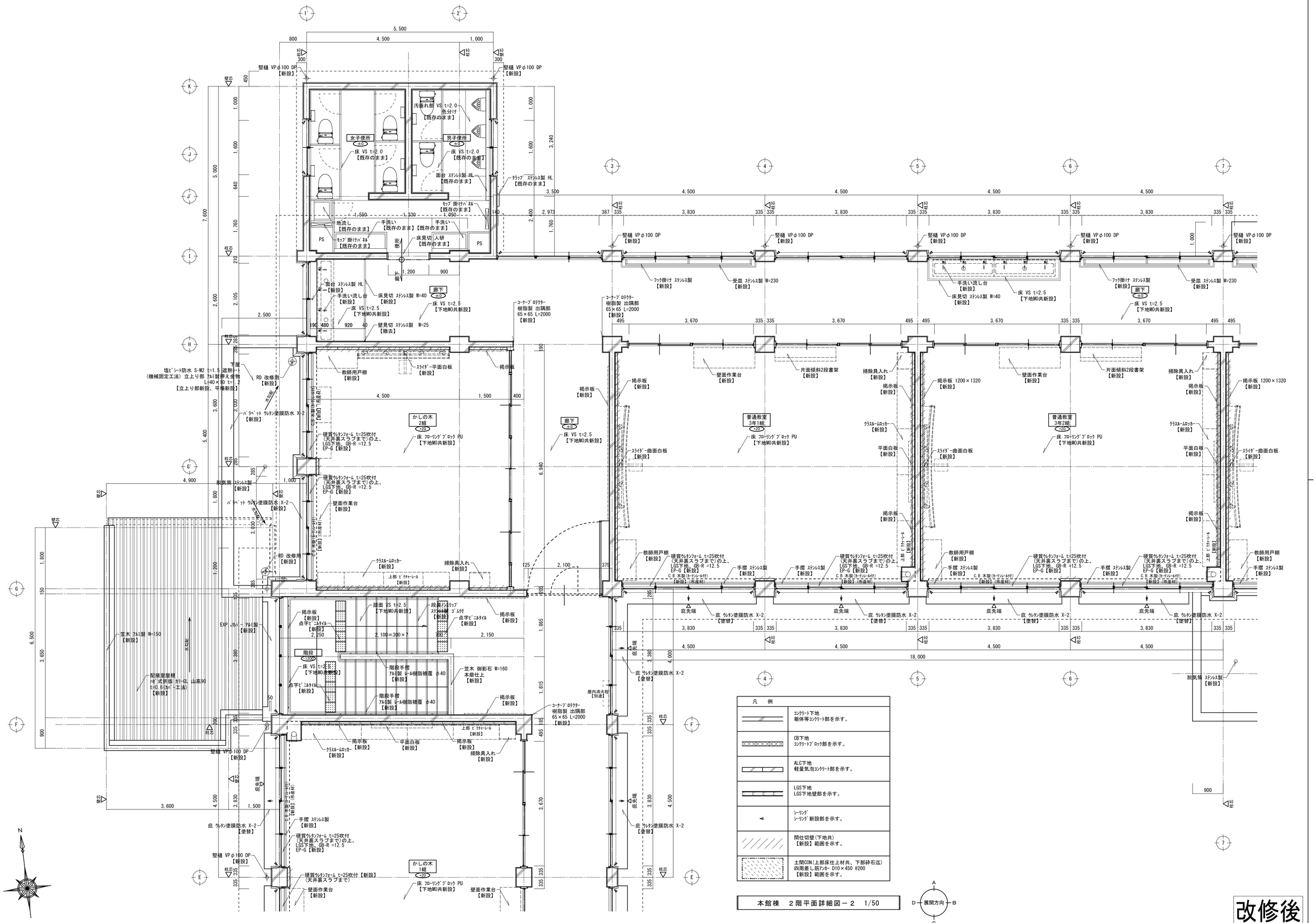
工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)
DATE . .

本館棟
改修後　2階平面詳細図－1

SCALE
1:50(A1)　1:100(A3)

A

No. 43 / 123



本館棟　２階平面詳細図－２　1/50

改修後

訂	月	日		月	日		月	日	
	.			.			.		
	.			.			.		
正	.			.			.		

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No. － － －

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)

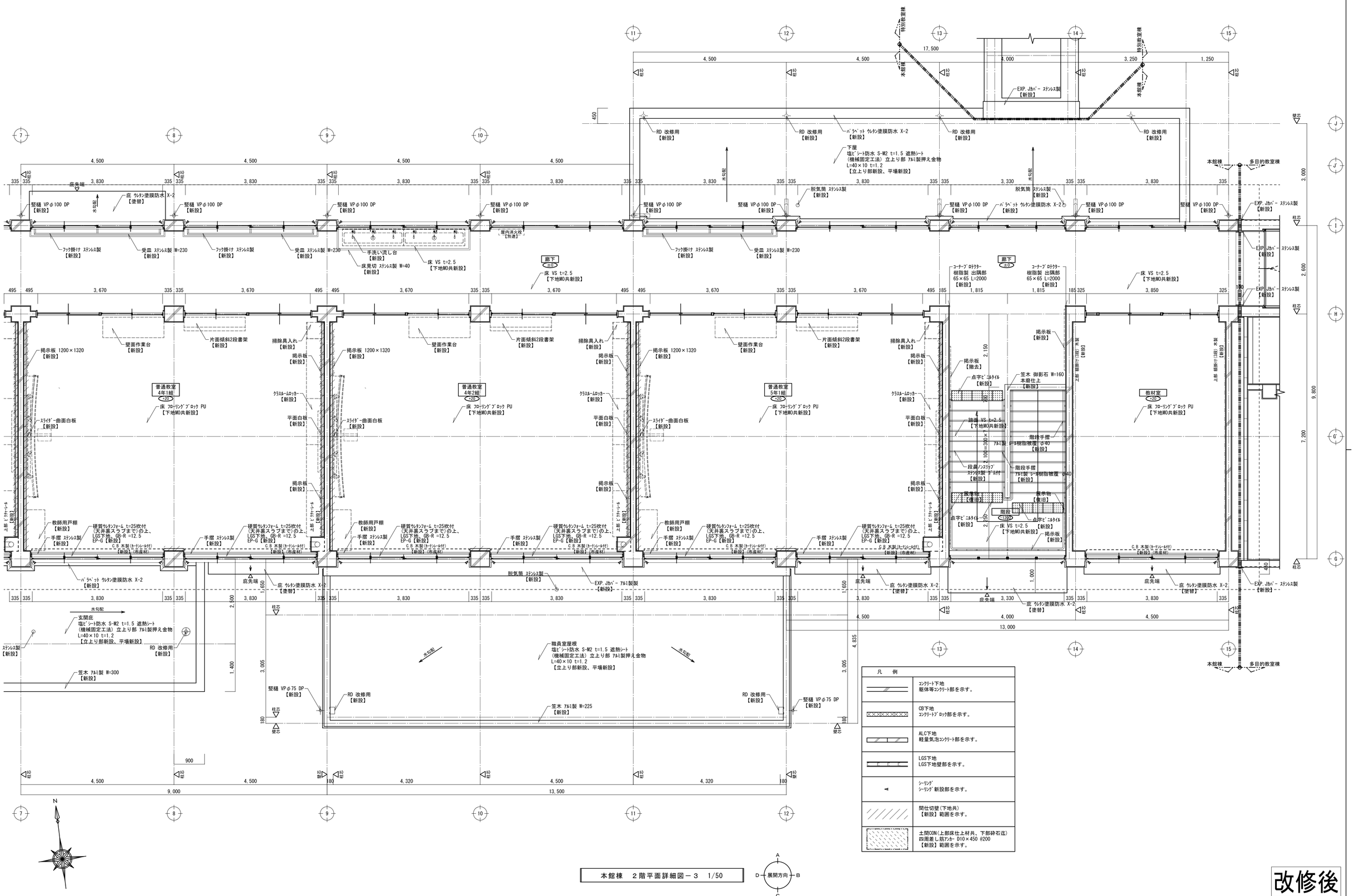
DATE . .

本館棟
改修後　２階平面詳細図－２

SCALE 1:50(A1)　1:100(A3)

A

No. 44 / 123



本館棟　２階平面詳細図－３　1/50

改修後

訂	月	日		月	日		月	日	
正									

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. － － －

工事名
浅井小学校本館等長寿命化改修工事(建築)

DATE

本館棟
改修後　２階平面詳細図－３

SCALE 1:50(A1) 1:100(A3)

A

No. 45 / 123